

II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)	◎	＊	＊
	○	一般小売店〔土産〕 (経営者)	・10月の売上は当店始まって以来の最高額だった。当地においても、予想以上の賃上げが行われていること、中国や米国で観光地としての日本の人気が高いこと、東南アジアの経済成長が引き続き安定して推移していることなどがプラスとなっている。国内の経済状況を見ると、ようやく失われた30年の低迷から抜け出したとみられる。また、今回の衆議院選挙の結果を受けて、政治が良くなることも期待できる。とにかく景気が悪くなる理由が思い付かない状況にある。
	○	一般小売店〔酒〕(経営者)	・受注量の増加傾向はしばらく続くことになる。
	○	高級レストラン(スタッフ)	・今後は年末商戦が本格化する時期であり、新規の企画を行うことで、来客数及び売上が伸びると見込んでいる。
	○	観光型ホテル(スタッフ)	・今後も現在の好調な動向が続くと見込まれる。
	○	旅行代理店(従業員)	・これから旅行のオフシーズンに突入するが、個人旅行の予約が年々早まっていることから、春の旅行需要で販売量が増加すると期待している。
	□	商店街(代表者)	・今後も景気は変わらない。ただし、国の方針が減税ではなく増税の方向に進むことになれば、景気がかなり悪くなることも懸念される。
	□	商店街(代表者)	・燃料価格が高騰しているため、今後、客の外出控えが顕著になることが懸念される。区域内の百貨店が閉店して、商店街でのついで買いもなくなっているため、例年より多くの業種で売上が落ち込むことが懸念される。
	□	百貨店(販売促進担当)	・アジア圏との就航本数がコロナ禍前の水準に戻りつつあることから、年末にかけてインバウンドの増加が見込まれる。一方で、国内客の消費動向は物価高の影響で鈍くなっており、年末を迎えても余り回復しないとみられる。
	□	スーパー(店長)	・先行き不透明感はぬぐえないことから、景気回復にはもう少し時間が掛かることになる。
	□	コンビニ(エリア担当)	・今後も近隣の客にアピールする企画を継続することで集客を維持したいが、これから家計がますますひっ迫することになれば、年末の消費が落ち込むことが懸念される。
	□	コンビニ(エリア担当)	・商品の値上げが続いていることで、客が消費を控える動きが続いているため、今後も景気は変わらない。
	□	衣料品専門店(経営者)	・新しい経済対策が行われない限り、景気は変わらない。
	□	乗用車販売店(経営者)	・一部の業種は堅調に推移しているものの、物価の高止まり傾向により、個人消費は弱めの動きで推移している。工場在庫数、新車販売の受注残の減少が続いていることも懸念材料となっており、今後の動向を注視している。
	□	乗用車販売店(従業員)	・年末に近づくにつれて、客の消費が日用品や食品に向かうことになるため、車に金を回すことは考えにくい。年末にかけて、新型車が販売される予定もないため、今後の販売量が大きく伸びることはなく、春先需要まで我慢の時期となる。
	□	乗用車販売店(従業員)	・年末にかけて、一部改良の新型車が数台出る予定であるが、受注枠が限られているため、売上や社員のモチベーションアップにはつながらない。新型車を欲しいと考える客に十分に供給できないことから、今後も景気の足踏み状態が続く。
	□	乗用車販売店(従業員)	・7月頃から新車の販売台数が若干落ち込んでいる状態が続いている。販売台数が増加するような好材料も見当たらないことから、今後も景気は変わらない。
	□	自動車備品販売店(店長)	・季節商材の動きは良いが、それ以外の商材の動きは変わらない。今後の景気がどうなるか判断が難しい状況にある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	住関連専門店（役員）	・客の購買動向や消費意欲が上向きような環境の変化がないことから、先行きの景気も変わらない。ただし、米の価格が大幅に上がっていることが、今後に影響してくると懸念している。
	□	その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・客の購買動向がそのまま上向いてくれば心配いらぬが、高齢の客が多いことを考えると判断が難しい。
	□	その他専門店〔造花〕（店長）	・業種的に、年末は販売量が落ち着いている時期であるため、今後の景気は横ばいでの推移となる。
	□	高級レストラン（スタッフ）	・年内の地元客の消費行動は衆議院選挙の結果次第となる。現政権が継続することになれば、政策によっては客の生活に余裕が出てくることも考えられる。一方、新内閣が発足することになれば、外食産業の景気にマイナスの影響が生じることが懸念される。
	□	スナック（経営者）	・今後も当店を取り巻く状況は変わらない。
	□	旅行代理店（従業員）	・今後についても、現状と同様に景気の悪い状態が続くことになる。衆議院選挙後に多少景気が回復したとしても、北海道に効果が出てくるまでは時間が掛かるため、しばらく変化はないとみられる。
	□	旅行代理店（従業員）	・企業からの問合せ件数について、一時の勢いがなくなっていること、下期に予定していた旅行を翌年度にスライドして再検討する動きが増えていることから、今後も景気は変わらない。
	□	タクシー運転手	・乗務員が増えていることから、会社の売上は前年を大きく上回ると見込んでいる。ただし、採用コストの負担が大きくなっていることから、利益は前年並みで推移するとみられる。
	□	タクシー運転手	・予約状況は前年を下回っているものの、年末に向けてのイベントによる効果を期待している。ただし、来客数が大幅に増えるような要素は見当たらないことから、全体的な景気は変わらない。
	□	通信会社（企画担当）	・現状の景気が一層上向きような要因がないことから、今後も景気は変わらない。通信端末の新機種種の価格上昇が続いていることが気掛かりであるが、客は現行端末や旧端末の購入により辛うじて購入費用を抑えることができている。
	□	美容室（経営者）	・今後については、衆議院選挙の結果次第で良くも悪くもなるため、予測しにくい面がある。現状と同様の傾向が続くことを期待している。
	□	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・インパウンドの利用はある程度見込めるものの、天候不良による欠航も予測されるため、今後も景気は変わらない。
	□	住宅販売会社（従業員）	・衆議院選挙の結果を受けて、物価高騰対策などの経済対策がどのように行われ、それにより消費者マインドが上向きか動向を見守りたい。
	▲	商店街（代表者）	・今回の衆議院選挙の結果を受けて、政治が混乱することが懸念される。
	▲	百貨店（売場主任）	・新内閣発足の可能性も見え隠れするなど、今後の情勢が不安定ななか、一般客を中心に消費を抑える傾向がみられることから、今後の景気は悪くなる。ただし、冬のボーナスが過去最高額になると見込む報道が一部でみられることから、富裕層を中心に今後の消費が伸びる可能性もある。
	▲	スーパー（店長）	・物価高の影響でより安い商品を客が選ぶ傾向が強まっていることから、今後の景気はやや悪くなる。
	▲	スーパー（店長）	・北海道はこれから段々と寒くなるため、灯油などに金が掛かるようになる。今年は灯油の価格が上がっているため、必要のない物は買わない動きが強まるとみられる。
	▲	スーパー（企画担当）	・10月は品目数で今年最多となる値上げが行われたこと、今後も物価高が続くとみられることから、客の価格に対する反応がますます厳しくなり、買物の頻度が低下することが懸念される。
	▲	スーパー（企画担当）	・来客数の減少が止まらないことに加えて、買上点数が伸びてこないことから、今後の売上減少が見込まれるため、景気の先行きは暗い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	スーパー（役員）	・米の値上がりの影響が大きい。弁当類や製菓類など、これから広範囲の商品に値上げが発生してくると見込まれるため、今後の景気はやや悪くなる。
	▲	コンビニ（エリア担当）	・今年はおホーツク方面の秋サケ漁の漁獲量が少なかったことから、漁師の所得が減少するとみられるため、今後の景気はやや悪くなる。
	▲	コンビニ（エリア担当）	・これから北海道は寒い時期に入るため、光熱費の負担が大きくなる。必要な物をなるべく安く購入する動きがますます強まることになる。
	▲	衣料品専門店（エリア担当）	・食品の値上げが続いていることに加えて、これから暖房費の掛かる時期になることから、衣料品への支出が抑えられると見込まれる。
	▲	家電量販店（店員）	・大型暖房機の動きが悪い。来客数も減っているため、今後の景気はやや悪くなる。
	▲	乗用車販売店（経営者）	・物価が急激に下がることなどは期待できないため、今後の景気回復は見込めない。
	▲	高級レストラン（スタッフ）	・今後は、ビジネス客が中心の時期となるが、ビジネス客も減少傾向にあることから、景気はやや悪くなる。
	▲	観光型ホテル（経営者）	・例年、閑散期となる時期であることに加えて、台湾、韓国などからの団体客の動きが良くないことが気掛かりである。国内団体客の動きも相変わらず鈍いため、年末にかけて厳しい状況となることが見込まれる。
	▲	旅行代理店（従業員）	・晩秋から初冬にかけては観光需要の少ない時期となるため、国内線も国際線も航空需要が伸びる要素は少ない。1月末から2月にかけての冬季観光繁忙期に国際線の利用が増えることを期待している。
	▲	タクシー運転手	・衆議院選挙の影響で人の動きが鈍っていることから、今後も厳しい状態になる。
	▲	タクシー運転手	・政治の動きが落ち着くまで、今後の見通しは立たない。
	▲	観光名所（従業員）	・2024年上半年期の当地は、様々なプラス要因に恵まれたことで、好調過ぎた面がある。下半期は例年よりも景気が上向くような要因が見当たらず、上半期の反動で心理的に停滞感が強まりそうな雰囲気がある。
	▲	美容室（経営者）	・最低賃金について、1500円を目指す方針が示されているため、今後の景気はやや悪くなる。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・住宅の建築コストが下がらないことから、今後も住宅建築業界を取り巻く環境は厳しいまま推移する。また、衆議院選挙が行われ、政局や政策がこれからどのように変わっていくのか分からないことも気掛かりである。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・依然として所得の増加を上回る物価上昇が続いていることから、客の購買力が相対的に低下している。このことが分譲マンション市場に対して悪影響を及ぼしている。
	×	商店街（代表者）	・衆議院選挙で政権政党が過半数割れとなったことで、一気に政局が不安定になった。消費は政治や経済が安定しているときに伸びるため、政局不安は消費者のマインド低下を招き、消費低迷につながるようになる。これからの年末商戦に向けて大きな不安である。
	×	一般小売店（経営者）	・明るい兆しが全くない。
×	スーパー（店長）	・値上げの動きが止まらず、給料の伸びが物価の上昇に追いついていないことから、今後の景気は悪くなる。	
×	タクシー運転手	・物価高により一般家庭の節約意識はますます強まっており、生活必需品の節約にまで及んでいる。今後については、より安価な代替商品や代替サービスを求めたり、又は消費活動自体を思いとどまることになり、景気は一段と冷え込むことになる。	
企業 動向 関連 (北海道)	◎	—	—
	○	金融業（従業員）	・輸入物価の低下が企業物価、消費者物価にも波及することで、実質賃金の改善につながり、消費者マインドが持ち直すことが見込まれる。
	○	その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・公共投資が底堅いこと、半導体関連や再生可能エネルギー関連などの民間投資が継続していることから、今後の景気はやや良くなる。
	□	食料品製造業（従業員）	・新しい案件が特に見当たらないことから、今後も景気は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	食料品製造業（従業員）	・営業担当者の変更など、営業体制の見直しに伴って、販売量が伸びていることから、今後も同様の伸びが期待できる。
	□	建設業（従業員）	・施工者不足による建設費高騰の流れは今後も変わらない。施工者不足は年を追うごとに深刻になるとみられるため、早急に対策を施さないと建設業界の今後の動向に大きく影響することになる。
	□	広告代理店（従業員）	・政局が不安定なことから、先行きがどのようになるかわからない。
	□	司法書士	・物価高騰の影響が大きい、受注量が横ばいということもあって、すぐに受注価格に反映させることが難しい状況にある。単純な価格競争になってしまうと、大規模な事業所しか生き残っていくことができず、業界が衰退する恐れがある。
	▲	農林水産業（経営者）	・今年も果物の育成状況が余り良くない。国や農業団体による早めの対策が望まれる。
	▲	金属製品製造業（従業員）	・衆議院選挙で政権政党の議席数が大きく減り、これまでと同様の政権運営が難しい状況となっているため、今後の動向が不透明である。
	▲	建設業（経営者）	・完成工事については、年内の新規受注はまず見込めない。工事の追い込み期を迎えるなか、これから積雪寒冷期となるため、工事の生産性、採算性は落ちることになる。また、土木工事においては設計変更への対応が重要になってくる。
	▲	建設業（役員）	・衆議院選挙で政権政党が議席数を減らしたことで、政権運営が不安定になり、景気悪化を招くことが懸念される。今後の公共投資の行方を左右しかねない事態であり、インフラ整備に関わる来年度の予算編成に悪影響を及ぼすことも覚悟せざるを得ない。
	▲	輸送業（支店長）	・冬を迎えて、建材関係の輸送量の落ち込みが懸念される。受注価格の見直しが新年度以降にずれ込む可能性も生じているため、現状よりも収支が落ち込むことになる。
	▲	通信業（営業担当）	・衆議院選挙において、どの政党も景気対策よりも増税寄りの政策を主張する傾向がみられた。物価が高騰しているなか、増税ムードが高まっていること、社会保障が高齢者重視となっていることから、中堅層や若年層の貯蓄志向が強まり、消費意欲が落ち込むことになる。そのため、今後の景況感はやや悪くなる。
	▲	司法書士	・現在の景気悪化は海外情勢などが影響している面があるが、今回の衆議院選挙の結果を受けて、国が景気回復に向けて、必要な措置を積極的に行うことを期待したい。そうならなければ、今後も景気の悪化が続くことになる。
	▲	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・最近の情報で、鉄骨業界の仕事量がますます減るとの予想がみられている。それなりの仕事量が出てくるのは来年度後半という話もあることから、年度内の景気はやや悪くなることが懸念される。
	×	—	—
雇用 関連	◎	—	—
	○	*	*
(北海道)	□	人材派遣会社（社員）	・企業において、業績拡大に向けた人材確保の動きが続くと見込まれること、求職者が待遇の良い企業への転職活動を活性化させていることから、労働市場の活性化が進むことになる。ただし、景気が上向くかは不透明な部分がある。企業の欠員は業務の停滞につながるため、採用意欲は高まるとみられるものの、企業が求めるスキルの人材を採用できない場合は、AIの活用など、DX化が進むことが考えられるため、予断を許さない状況にある。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	・地方都市では中小企業や零細企業が多いため、仕入価格上昇分の価格転嫁が十分に進んでおらず、経費削減に苦勞している企業が多い。特に人件費のウエイトが高い業種の経営環境は厳しく、企業間格差が拡大しつつある。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	・衆議院選挙の結果を受けて、今後の不透明感が増している。求人件数の減少はしばらく続くことになる。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	・秋の短さから、秋のイベントや季節商材に対する客の興味が今一つとの声が聞こえてくる。また、米の価格上昇、食料品の値上げなど、物価高が客の購買意欲の低下に拍車をかけている。そのため、この先も厳しい状況が続くことになる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	職業安定所（職員）	・当地における月間有効求人数は18か月連続で前年を下回っている。産業や業種によってその度合いは異なっているものの、今後の物価上昇の状況によっては、経済活動、消費行動が先を見通せない状態となることも懸念される。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数の落ち込みは継続しているが、特殊要因によるものである。一方、新規求人数と新規求職申込件数の最近の動きをみると、どちらも僅かな増減にとどまっている。求人数の落ち込みが景気の悪化に直結しているとはいえない状況にあるため、今後も景気は変わらない。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・人手不足の状況に変化はなく、今後も変わるような要因が見当たらない。
	▲	求人情報誌製作会社（編集者）	・円安、物価高の傾向は変わらず、経済が動いていても地場企業の景気は良くなっていない。景気が上向き材料が見当たらない。
	×	*	*

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (東北)	◎	－	－
	○	百貨店（催事担当）	・食品や日用品は生活防衛意識の高まりにより客単価が低下しているものの、今秋のリニューアルオープンにより、化粧品や衣料品を中心に来客数の増加とギフト需要の拡大が期待できる。
	○	スーパー（店長）	・来客数は前年並みをキープし単価も上がっている。売上は上向き傾向にある。
	○	スーパー（店長）	・賃上げや米の買取価格の前年比増加など可処分所得が増える要因が多いため、客単価の上昇傾向は続くともみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・クリスマスや年末年始は消費活動が活発化する。今年のクリスマスは平日のため、例年より売上が伸びると予想している。
	○	衣料品専門店（店長）	・客単価は物価の上昇に合わせて上がっているが、来客数は回復していない。景気が大きく悪化することはないとみられ、来客数が戻れば売上も上がるとみている。
	○	家電量販店（従業員）	・これからボーナス商戦やクリスマス商戦、初売り商戦などがあるため、若干売上が増えるともみている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・年末年始商戦が始まるため、販売数や来客数が増える。
	○	乗用車販売店（店長）	・これから冬支度が始まるが、値上がり傾向にあるスタッドレスタイヤの予約が好調である。前年と比べて顧客の値上げに対する抵抗感が薄れてきたのかもしれない。
	○	住関連専門店（経営者）	・受注生産をしているが、受注量が増えている。この先、その分を生産して納品することになる。
	○	一般レストラン（経営者）	・鍋のシーズンが始まり、更に忘年会のシーズンにもなるため、忙しくなることを期待している。
	○	旅行代理店（従業員）	・インバウンド需要は大都市圏から徐々に地方へ分散しており、東北にもインバウンドの波が来ている。大都市圏ではインバウンド需要が飽和状態となっていることから、この先ますますインバウンドに期待が持てる。
	○	旅行代理店（従業員）	・選挙が終了し為替も落ち着けば、今年の年末年始における人の動きはある程度良くなるとみている。大雪などの天候リスクはあるが、日並びの良さはポジティブに影響するとみている。
	○	タクシー運転手	・年末が近くなるとタクシーの利用者数は増加するとみている。
○	タクシー運転手	・風雪など荒天の日が多くなることに加え、忘年会や新年会などの行事やイベントの開催により、タクシー利用者が増えるともみている。	
○	通信会社（経営者）	・テレビをインターネットに接続する人が増えており、通信サービスの加入者数が増加している。特に工事が不要な無線のインターネットサービスの利用者は若者から中高年まで幅広い。放送サービスは年末年始のコンテンツの充実が見込まれるため、新規の加入者数の増加が期待できる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	○	競艇場（職員）	・年末イベントに向けて来場促進の計画を進める。毎年12月は売上が伸びる傾向にあるため良くなるとみている。
	○	美容室（経営者）	・物価高騰とはいえ冬のボーナスがアップしている企業の社員や公務員の消費行動に期待したい。
	□	商店街（代表者）	・来客数、予約状況のいずれをみても、しばらくは落ち込んだ状態から回復することはないとみている。特に社用関係の客足はほとんど止まっている。
	□	商店街（代表者）	・物価高が消費に影響している。地方では物価上昇分を賃上げでカバーできないため、景気の改善は見込めない。
	□	商店街（代表者）	・良くなる要素は見当たらない。
	□	商店街（代表者）	・年末年始商戦による需要が見込まれる。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・来客数は前年を上回っているが客単価と販売量が減少している状況は、しばらく変わらないとみている。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・販売量は降雪量や天候に大きく左右される。今年は灯油価格が高値になると予想しており、光熱費の負担が大きくなるほど消費者の買い控えが強まることを懸念している。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・物価高に加え、世界情勢も不安定で先行きの見通しは良くない。しかし、価格の上昇前の駆け込み需要かもしれないが、売上に回復の動きが見られる。
	□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・今後も低迷した状態が続くとみている。
	□	一般小売店〔雑貨〕（経営者）	・気温、積雪共に例年並みでないと冬物は動かない。年内は気温が高めになるとの予報が出ており、景気が良くなる見込みはない。
	□	百貨店（企画担当）	・識別顧客を増やす取組を推進しているが苦戦している。
	□	百貨店（従業員）	・食料品は生鮮品中心に来客数が回復しているが、買上点数は減少しているため、売上は伸びていない。米などの値上げもあり、生活防衛を意識した購買動向は継続するとみている。
	□	スーパー（経営者）	・引き続き、消費者の財布のひもは固いとみている。国の補正予算が早く成立することで経済への波及効果を期待したい。各党が掲げた可処分所得増加対策が、経済の好循環につながることを願っている。どの企業においても生産性の改善が進まなければ所得増加による消費喚起には結び付かない。当面、消費環境は変わらないとみている。
	□	スーパー（店長）	・厳しい状況がこのまま続いていくとみている。
	□	スーパー（店長）	・前年に強化した販売促進の反動が出るとみている。
	□	スーパー（企画担当）	・米の価格が上昇していることに加え、買いだめをしている人も多いため、売上が大きく下がっている。他の商品も買い控えが続いている。この状況はこの先も続くとみている。
	□	スーパー（企画担当）	・農業従事者が多い地域にあるため、米価が上がったことにより今後期待できる。
	□	スーパー（商品担当）	・客単価の改善は中期的な課題である。状況は変わらないとみている。
	□	スーパー（業務担当）	・景気が急激に上向く状況にない。
	□	コンビニ（経営者）	・来客数は変わらないとみている。
	□	コンビニ（エリア担当）	・年末に向けて来客数が増加する見込みがない。
	□	コンビニ（店長）	・消費意欲の低下が続くとみている。
	□	コンビニ（店長）	・物価高騰に加え、最低賃金の引上げにより人件費が増加しており、弱小小売業にとっては厳しい状況である。せめて前年と同程度の利益は確保したい。
	□	衣料品専門店（経営者）	・選挙結果による景気動向を注視し、今後の営業活動にどう展開するか検討したい。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今後も物価高騰による節約は続くとみている。
	□	衣料品専門店（店長）	・スポーツ界で明るい話題が多く、前向きの消費マインドになる可能性はあるが、天候が不安定であり先が読みづらい。
	□	衣料品専門店（総務担当）	・買上点数が少なく、客単価も低い。タンス在庫を使用し、新物の購買につながらない。手取収入が増えない限り変わらないとみている。
	□	乗用車販売店（従業員）	・新型車の投入があれば個人客の販売が伸びるが、投入の予定がないため期待できない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	乗用車販売店（従業員）	・雪の影響で活動量が減少する時期になるため、売上が更に落ち込む可能性がある。決算に合わせて施策を講ずる予定であり、現状をばん回する実績が期待できるが、新車の生産・在庫状況が不安定であることが懸念される。
	□	住関連専門店（インテリアコーディネーター）	・円安や株価の低下などがあり、景気が良くなる要素がない。
	□	その他専門店〔食品〕（経営者）	・大規模な景気対策が打てれば年末の客足は伸びるが、難しいとみている。
	□	その他専門店〔靴〕（従業員）	・冬物商材の売行きは気温、降雪に左右される。
	□	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・例年より好天続きで配達灯油の伸びが悪い。気温や天候にもよるが大幅な増益はないとみている。
	□	その他小売〔ショッピングセンター〕（一括）	・冬物の実需品は動いているが、売場では浮かれた消費行動はみられない。光熱費が上昇傾向にあり、実需品の動きは引き続き堅調とみているが、年末に向けては節約志向が続くことが懸念される。
	□	一般レストラン（経営者）	・例年、秋から冬は客が増える傾向にあるが、今のところ予約は少ない。厳しい状況が続くとみている。
	□	一般レストラン（スタッフ）	・景気が良い状況は変わらないとみている。
	□	観光型ホテル（スタッフ）	・今の政権に期待できない。
	□	観光型ホテル（スタッフ）	・忘年会や新年会を開催する企業がまだ少ない。
	□	観光型旅館（経営者）	・物価高で財布のひもも固くなると予想している。好材料が出てこなければ向上くことはない。
	□	旅行代理店（従業員）	・物価高騰による停滞ムードがみられる。また、円安により海外旅費が高騰している。人手不足による販売活動の停滞もみられる。
	□	通信会社（営業担当）	・好転する材料に乏しい。
	□	通信会社（営業担当）	・生活必需品の値上げをカバーできるだけの賃上げは程遠く、消費活動への影響が懸念される。
	□	テーマパーク（職員）	・値上げが続いているため、客が低単価のものを購入する傾向は変わらないとみている。
	□	観光名所（職員）	・団体予約は前年より10%弱減っているが、振り客の増加がそれを補っている。この状況は変わらないとみている。
	□	遊園地（経営者）	・シーズンオフに向かう。物価上昇が家計を圧迫しており、景気は変わらないとみている。
	□	美容室（経営者）	・客との会話から、購買意欲と物価高で消費を抑えようとする意識が混在している様子がうかがえる。この状況は変わらないとみている。
	□	美容室（経営者）	・常連客の定期的な来店がみられる。
	□	住宅販売会社（経営者）	・新築住宅受注工事金額の総額は低いが、住み替え予定の顧客がリフォームに変更した分、工事金額総額は何とか目標値に近いところまできている。
	□	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住宅設備機器は暖房器具の購入や給湯設備の交換が増えることとみている。リフォームは緊急以外の工事を先送りすることで不要な支出を控える傾向が続くとみている。
	▲	商店街（代表者）	・物価高が続くとみている。
	▲	百貨店（経営者）	・日米の選挙結果など政局の不透明さから、年末に向けて消費が停滞する可能性がある。ただし、クリスマス商戦は、冬のボーナスを含めた賃金の上昇効果に期待しており、集客施策を打っていく。
	▲	スーパー（店長）	・物価高騰が続いており、買い控えがみられる。
	▲	コンビニ（経営者）	・客足はあるが、商品価格の上昇にもかかわらず客単価は低い。買上点数は横ばいが続いている。景気は上昇傾向にはないと判断している。
	▲	コンビニ（経営者）	・商品価格の上昇は続くが、中小企業が多い地方では賃金が上がらないため、客の財布のひもは固くなる一方である。
	▲	コンビニ（経営者）	・気温が下がると夕方の来客数が大きく減少する。これから雪が降れば来客数は更に減少し、相当厳しくなるとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	コンビニ（経営者）	・最低賃金の上昇で経費が増加する。
	▲	コンビニ（経営者）	・現状を改善する要素が見当たらない。来客数、客単価共に当面は微減が続くとみている。
	▲	コンビニ（エリア担当）	・物価の上昇に歯止めがかからない状況である。主食の米も価格が前年の約2倍になっている。急激な物価上昇に賃上げが追い付いていない。
	▲	衣料品専門店（店長）	・物価高騰が続いているなか、電気料金とガス料金も値上がりするため、買物に慎重になることが予想される。
	▲	家電量販店（従業員）	・世界情勢も不安定で、ポジティブな要因が見当たらない。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・メーカーから下期より配車量を増やすと案内があったがトーンダウンしており、期待できない。
	▲	自動車備品販売店（経営者）	・米価等の値上がりにより購買力が低下することを懸念している。
	▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・燃料油価格激変緩和対策事業が12月末に終了するか継続するかどちらにしても、様々な混乱が生じる可能性が高く、各種政策の対応に追われることになるとみている。
	▲	高級レストラン（支配人）	・11月以降の予約が鈍化している。
	▲	観光型旅館（スタッフ）	・例年2月は来客数が少ない時期だが、雪が少なかった前年の8割程度の見込みで計画している。
	▲	都市型ホテル（支配人）	・インバウンドの予約が鈍化している。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・雪はまだ降らない時期のため、来客数は減る見込みである。
	▲	通信会社（営業担当）	・給料以上に物価が上がっている。
	▲	その他サービス〔寮管理〕（管理人）	・この夏の猛暑や台風などの影響が農水産業や娯楽需要に出てくることに加え、更なる物価上昇が予想される。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・衆議院選挙の結果、政界が混とんとしている。次のリーダーが決まるまでは不安定な状況が続くため景気は悪くなる。
	×	スーパー（経営者）	・衆議院選挙後に政権の枠組みが変わったとしても、物価対策が十分に行われるとは考えられない。
	×	コンビニ（経営者）	・売上の減少に加え、除雪費用や光熱費、人件費の高騰が重なり、経営は限界にきている。
	×	衣料品専門店（経営者）	・秋冬商材のピークが過ぎて低迷する時期になる。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・現状が長く続けば、更に悪化の方向に向かうとみている。年明けに値上げの要請が多くなる可能性があり、見通しは良くない。
	×	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（経営者）	・同業他社との値段のたたき合いばかりで実利に乏しく、全くと言っていいほど好材料はない。景気が良くなる見込みはない。
×	一般レストラン（経営者）	・客、出入りの業者、同業他社のいずれからも良い話を聞かない。	
×	一般レストラン（経営者）	・忘年会シーズンになると飲食業は忙しくなる傾向にあるが、物価の上昇に収入が追い付かず生活に余裕がない人が多い状況は変わらない。法人客の予約の動きは良いが、個人客は法事や祝い事のみであり、振り客の来店もランチのみで夜は減少傾向にある。景気は悪くなるとみている。	
×	旅行代理店（従業員）	・当社宿泊契約施設の2～3か月先の販売状況が前年比90%となっている。	
×	設計事務所（経営者）	・民間からの問合せが増えているが、官公庁からの発注案件が減少している。今後はその傾向が顕著になるとみている。	
企業 動向 関連 (東北)	◎	—	—
	○	食料品製造業（製造担当）	・店舗に客が戻ってきている一方、通販も伸長している。ただし、米を始めとする食材や資材の値上げ、賃上げ等があることから、収益性を高める戦略を練らないと厳しくなるとみている。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・引き合い件数が増えており、受注も少しずつ増えているが、人手不足のため、受注量や納期の調整を行いながら都度、対応を行っている。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	・客先の案件が徐々に動き出すとの情報もあり、やや回復傾向が見込まれる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	○	建設業（従業員）	・年末から年明けにかけて、受注契約見込みの案件が若干ある。
	○	通信業（営業担当）	・年末や年度末に向けて、オフィスじゅう器などの買換え需要の増加が見込まれる。
	○	経営コンサルタント	・秋の行楽シーズンに期待しているが、人手不足に懸念がある。
	○	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・衆議院選挙、米国大統領選挙も終わり、先行きが不透明な要因の1つが解消されることが景況感に良い影響を及ぼすとみている。
	□	農林水産業（従業者）	・現在の米価はほぼピークにあるとみられ、新米の流通が拡大すれば米価が下降していくとみている。
	□	農林水産業（従業者）	・景気が今以上に良くなることは見込めないが、下がる要因もない。
	□	食料品製造業（経営者）	・来月からはお歳暮商戦が始まるが、かなり厳しくなることが予想される。いかにしてシェアを取るかが鍵となる。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・本来は年度末に向け忙しくなる時期だが、物価高騰による買い控え、デジタル化への移行等で期待できない。
	□	金属製品製造業（経営者）	・業種により業績に差がある状況は今後も続く予想される。全体的に回復ムードにない。
	□	電気機械器具製造業（企画担当）	・半導体関連顧客で行っている開発の難易度が高くなっており、具体的な動きが出るのはまだ先になるとみている。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・取引先では直近の設備投資はなく、当面は現状での運用維持が続くとみている。
	□	建設業（従業員）	・雪が降る前までは工事は順調に進む見込みである。
	□	建設業（従業員）	・物価高や人手不足が続いているため変わらない。
	□	建設業（従業員）	・2～3年先まで現在の好況が続くとみている。
	□	輸送業（経営者）	・製造業の主要取引先で、人手不足のため生産ラインを休止せざるを得なくなり、計画どおりの生産ができない状況になっている。取引先のなかでも売上が上位のため影響は大きい。
	□	通信業（営業担当）	・契約以外の相談に応じるなど顧客との関係性を強めることにより、ビジネスチャンスを探索していく。
	□	通信業（営業担当）	・支出が増えており、変わらないとみている。
	□	金融業（広報担当）	・年末年始、ボーナス時期を迎える高揚感はプラス材料である。一方で、物価上昇に賃上げが追い付いていない状況が長く続いているため消費者の生活防衛意識が高まっているというマイナス材料もある。この2つがきつ抗するとみている。
	□	広告業協会（役員）	・年末年始商戦への期待はあるものの、今後の政治の動向や経済の安定性が不透明な状況にある。企業は大胆な動きを控えることが予想され、広告業界にとっては更に厳しい状況が続く見込みである。
	□	広告代理店（経営者）	・一部客先で、採用など新たな広告活動への意欲の高まりがみられるものの、北東北では経済活動の停滞が顕著になっている。
	□	司法書士	・相続需要は堅調だが、新築建物に関連する業務は減少傾向が続いている。
	□	公認会計士	・小売業、サービス業、建設業等はある程度の業績確保ができるとみているが、製造業の部品不足、人手不足等が解消して売上が上がらないことには、全体としての景気が上向くことは難しい。2～3か月先の景気は現在と変わらないとみている。
	□	その他企業〔企画業〕（経営者）	・今後も農産物の販売会が開催されるため、一次製品の販売量に期待が持てる。また、地場産の食材を使った二次加工製品を販売する土産店や食堂にも経済的な波及効果が期待できる。
	□	その他企業〔協同組合〕（職員）	・価格転嫁の見通しが立っても、それ以上に材料費や人件費等が高騰している。受注量も低迷しているなか、明るい材料は見当たらない。
	▲	食料品製造業（営業担当）	・来春に値上げを控えており、更なる販売量の減少が予想される。また、原材料のコストアップも続いているため、利益面でも厳しい状況が待っている。
	▲	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・業種柄、新しい事業、収益の柱となる事業を見付け、軸足をシフトしていかなければ、将来の見通しは暗いとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	・半導体関連は回復の兆しをみせていたが、一部で年明け以降の注文がキャンセルになったとの情報がある。当社で生産している半導体設備向け部材にも影響が出る可能性がある。
	▲	コピーサービス業（従業員）	・経済政策で景気回復する兆しがみえない。
	×	窯業・土石製品製造業（職員）	・公共事業、民間事業共に受注量が減少しており、冬季に入ると一層厳しくなるとみている。
雇用 関連 (東北)	◎	—	—
	○	アウトソーシング企業（経営者）	・今後も値上げができれば、給与アップが可能になる。
	○	職業安定所（職員）	・物価高の影響は大きいですが、年末年始にかけては個人消費が活発になり、景気は幾らか良くなるとみている。
	○	学校〔専門学校〕	・衆議院選挙の結果で経済状況は変動するとみている。
	□	人材派遣会社（経営者）	・卸売業や小売業、飲食業、建設業、製造業など幅広い業種から求人依頼がきているが、仕入価格や人件費の高騰により採用活動が思うようには進まない企業もみられる。やや良好な状況が続くとみている。
	□	人材派遣会社（社員）	・大手企業は求人の流動性が高いが、地場の中小企業は求人を出してから期間が長期化している傾向は、今後も継続するとみている。
	□	人材派遣会社（社員）	・マイナス要因が見当たらないことから、現在のやや悪い状況から更に悪くなることはないかとみている。
	□	新聞社〔求人広告〕（経営者）	・物価高に伴う節約志向は変わらないとみている。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・好材料に乏しく、現状がしばらく続くとみている。
	□	職業安定所（職員）	・業種によっては人手不足が継続しており、活発な求人活動があるものの、原材料価格の高騰などの影響による中小零細企業の倒産や雇用調整が発生している。この状況は変わらないとみている。
	□	職業安定所（職員）	・大規模な雇用調整の動きもないが、応募者が殺到するような新規求人の動きもない。
	□	職業安定所（職員）	・今後も有効求人数、有効求人倍率は横ばいで推移するとみている。
	□	民間職業紹介機関（職員）	・周辺企業からは増産減産の話が出ていない。
	▲	人材派遣会社（社員）	・人手不足等による地方中小企業の停滞や政治の不確定要素からくる各種施策の遅れ等により、景気はやや減速するとみている。
	×	新聞社〔求人広告〕（経営者）	・景気が上向き要素が全くない。大胆な景気刺激策か、消費税廃止のような消費者に分かりやすい減税策でも実施されない限り、景気の悪化は免れない。

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	商店街（代表者）	・暖冬だとしたら、高齢者は趣味や孫との外出機会が増えるのではないかと期待している。
	○	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・お歳暮用品等の贈答品が動くかとみており、多少良くなるのではないかと期待している。
	○	コンビニ（エリア担当）	・週末の移動客が顕著に多く、客単価も直近数か月に比して上昇傾向にある。加えて高単価のギフト菓子の自家需要もみられるなど、観光客以外の通勤通学客の消費も活発といえる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・年末年始にかけては、来客数が多くなる。
	○	住関連専門店（店長）	・物価は上昇しているが、賃金も上昇しているため、やや良くなる。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・年末の間合せや予約が入ってきているため、何だかんだ言っても、年末年始は動きがあると予想している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	○	一般レストラン（経営者）	・秋の行楽シーズンになるとイベントが増え、人出も増えるため、良くなることが予想される。
	○	都市型ホテル（経営者）	・客は徐々にであるが、新型コロナウイルス感染症発生前の水準に戻ってきている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・前年比104%と相変わらず好調な宿泊予約がけん引する形で、レストランの朝食売上を確保することができ、相乗効果でランチにもぎわいを見せている。これからの忘年会や新年会需要をうまく取り込もうと、小グループ向けの期間限定プランも発売しているが、まだ受注し切れていない。前年と比べても件数は減っているため、何とか件数を増やしていきたい。
	○	美容室（経営者）	・販売促進費を掛けて、大学生向けに来店キャンペーンを仕掛けてみる。
	○	設計事務所（所長）	・衆議院議員選挙後に、景気が良くなることを期待している。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・このところ、ずっと同じ状態が続いている。また、政界に変動があったので、予測は難しい。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・北関東の山間部に位置するため、紅葉の名所であるが、例年がない酷暑だったためか、今年の紅葉は余り美しくない。しかし、観光客の来訪が鈍ることはない。コロナ禍で外出を控えていた高齢の方が、家族に車いすを押されながら来訪する姿を多く見掛ける。有り難いことに街中を往来する観光客や自動車の数は例年と比べて多いようだが、近隣の宿泊施設では、人的資源の集中のため、あえて定休日を設けて運営している施設も多いと聞く。コロナ禍を経て、熟練者が辞めた穴を埋め切れず、人材確保に苦慮する施設は、宿泊業だけではなく様々な業種に広がっている。
	□	百貨店（営業担当）	・お歳暮ギフトや年末商戦が始まるが、依然として物価高など、消費マインドが改善する材料は見当たらない。現状維持か、ややマイナスを予想する。
	□	百貨店（営業担当）	・客は大型セールを実施しても、必要な物のみを購入する堅実な買い方をしていく。年末に向かって様々なモチベーションで買物の機会はあるが、必要な物の価格と内容をよく吟味して購入していく想定である。
	□	スーパー（総務担当）	・衆議院議員選挙が終わり、どのような政策が出されるかによって、景況感が変わるかもしれない。
	□	スーパー（商品部担当）	・現状より良くなる要素が見当たらない。悪い状況のまま推移すると予想する。
	□	家電量販店（営業担当）	・季節商材の立ち上がりが悪く、前年比70%で推移している。エアコンの販売促進を企画しているが厳しい。映像関連も前年比80%、パソコン関連も75%と苦戦している。11月は成約率を高めるよう接客に注力をしていく。
	□	乗用車販売店（経営者）	・最近では新車販売が落ち込んで、比較的低価格の中古車販売が増えている。また、大規模小売店には来客はあるものの、購入品を持っている客は半分程度のものである。
	□	乗用車販売店（従業員）	・受注残の状況に大きな変化はないが、現状は減少傾向にある。
	□	自動車備品販売店（経営者）	・身の回りに景気が良くなるとか上昇するような話はまずない。人口が減少していることもあり、将来に対してどうしても不安が残っている。政治的にインパクトのある前向きな政策を掲げてもらうことが期待される。
	□	住関連専門店（仕入担当）	・冬の天候になれば、多少改善はするとみているが、季節商材の初期のマイナス分はカバーできない。政局も不安定ななか、消費について楽観的な期待はできない。
	□	一般レストラン（経営者）	・良くなる要素がない。
	□	都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルス感染症発生前の2019年を超える月も出てきている。
	□	旅行代理店（従業員）	・災害等で国内需要が増加しない。
	□	旅行代理店（営業担当）	・10月からの価格上昇が、徐々に生活に響いている。今後の動向を注視したい。
	□	タクシー運転手	・これ以上悪くならないでほしい。
	□	タクシー（経営者）	・昼の動きは少し良くなったが、夜の動きが良くないため、この先も変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	通信会社（社員）	・近い将来では変わらないとみているが、政局の動向は注視している。
	□	通信会社（営業担当）	・季節要因として年末の消費は増えるが、基本的な市場環境が変わらないため、変化はない。一部ではインバウンド等の効果による景気回復はあるとみているが、物価高のため節約志向は変わらない。
	□	通信会社（総務担当）	・漸減傾向は変わらないが、12から1月の商戦期にはやや販売が盛り返すと予測する。
	□	テーマパーク（職員）	・このまま天候に恵まれた週末が多ければよいが、3か月後は3連休のない月のため、来園者が増加するとは考えられない。
	□	ゴルフ練習場（経営者）	・手作り品等の商材は製造が間に合わず、入荷がない。
	□	ゴルフ場（従業員）	・年末年始の予約動向は前年より鈍く、旅行需要が高まる予測が出ているため、苦戦しそうである。
	□	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・物価が高騰しているため、節約意識も高まっている。
	▲	百貨店（店長）	・天候の影響に加え、8月後半頃から国内株価の乱高下等の影響もあり、客の財布のひもが固くなっている印象が強い。寒くなり、ファッションに動きが出ればよいが、秋冬商戦には不安がある。
	▲	コンビニ（店長）	・現在発行されている当市のプレミアム付商品券も残りはかなり少なくなるだろうとみているため、先行きはやや悪くなる。
	▲	衣料品専門店（販売担当）	・年末年始に向かう3か月だが、年末に向けての客に対する希望的観測はあるものの、現状だと、客には年末という感覚もなく、雰囲気的にも盛り上がりがない。今までどおり、じりじりと緩い下り坂を駆け落ちていくような感覚は拭い切れない。
	▲	家電量販店（店員）	・買換え促進の施策がなければ厳しい。
	▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・経費の最大項目である人件費が、最低賃金の引上げにスライドする形で給与全般に波及してくる。食材費もまちまちではあるが、値下がりには期待できない。収支確保難は続いていくと考えている。
	▲	旅行代理店（所長）	・オフシーズンに向かい、低下傾向と考えられる。インバウンド次第ではあるものの、これまで順調に伸ばしてきたインバウンド需要もさすがに冬季は冷え込むと想定している。
	▲	通信会社（局長）	・インバウンドや輸出関連は良いかもしれないが、国内の物価高はどこまで上がるのか予想もできず不安が広がっている。買い控えや節約志向が一段と強くなると予想される。
	▲	美容室（経営者）	・厳しい言い方になるが、商業については都会と地方で比較する意味がないと思っている。また、若年層と高齢者では購買意欲も全く違い、行動量も違う。2極化した社会になってしまっている。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・衆議院議員選挙の結果次第ではあるものの、不安定な状況になることが予想され、悪い現状のままとなる。
	▲	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・客の状況は現状と余り変わらないとみているが、当社の人手不足は深刻で、せつかく来た依頼を断るケースが増えてきており、失注が増える見込みがある。
	×	商店街（代表者）	・地元の公共事業で橋の架け替え工事があり、通行止めが発生している。1年以上の景気停滞が見込まれる。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・職業柄、繁忙期は過ぎてしまったため、今後は閑散期に入り、売上の的には落ちてくる。客の動きが鈍いことは確かである。
	×	コンビニ（エリア担当）	・イベントによる来客数の増加は、実際に日を追うごとに増えた実感がある。9月よりも10月の方がかなり増えていたが、今後はイベントも減るため悪くなる。
	×	旅行代理店（経営者）	・繁忙期が終わるため、業界全体で単価を下げて仕事の取り合いを始めると、悪くなる。
	×	通信会社（経営者）	・ハイペースな最低賃金の引上げは、地方の中小企業をますます弱体化させている。円安メリットで利益を内部留保しているのは大企業ばかりで、多くの中小企業は円安が逆風になっているのではないだろうか。地方では既にスタグフレーション状態である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	化学工業（管理担当）	・12月以降は受注量が多く、生産に追われる予定である。
	○	金融業（営業担当）	・金利のある経済への移行や、インフレに進むことが考えられるため、景気は上向くのではないかと。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・需要期を迎えるため、期待している。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車分野では大きなバックオーダーを抱える車種も増産計画は出てこない。ロボット分野も新規導入設備が遊んでいる状況が続く見込みで活況には程遠い。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・製造業全般の様子が上向いていない様子なのが残念である。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・この2～3か月は仕事量が増えてやや良いが、この先は全く不透明でどうなるか分からない。
	□	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・主要取引先の生産が安定せず、計画していた生産数よりも少なくなっている。いまだ先の見えない状況が続いている。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・物価高の状況等もいまだ続いている。
	□	建設業（総務担当）	・年度末に向かうにつれて、仕事量的には現状と余り変化はなさそうな空気感である。
	□	輸送業（営業担当）	・年末に向かい、暖房家電、こたつ、ヒーター、加湿器、エアコン等の物量は前年並みを確保予定である。また、寝具等も例年並みの物量を確保予定である。運賃自体が上がっても、その分燃料費の高騰や協力会社のコスト高もあるため、利益は薄くなりそうである。
	□	経営コンサルタント	・大手企業の賃上げや年末のボーナス支給状況次第だが、年末需要の増加に伴って、それなりの効果が期待できる。しかし、地域企業の受注、売上の動向は不透明で、業績回復が遅れそうな懸念もある。
	□	司法書士	・当業界は皆同じで、相続登記の義務化が大変大きく影響している。
	□	社会保険労務士	・新しい政策や経済対策がなければ、今のままの景気が続く。
	▲	食料品製造業（経営者）	・物価、資材価格や光熱費等の上昇で、景気が悪化していくのではないかと。
	▲	金属製品製造業（経営者）	・取引先の発注予測によると、この先はやや悪くなる。
▲	電気機械器具製造業（経営者）	・材料費が高騰しており、受注が増えたとしても赤字が増えるだけで、仕事を受けても意味がない状態である。	
×	不動産業（管理担当）	・募集を掛けてもなかなか人が採用できなかつたり、賃貸の空室も埋まらない等、売上や利益の増加に結び付かない話が多い。	
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（管理担当）	・食品製造派遣に関しての増員が決定しているため、やや良くなる。
	□	人材派遣会社（経営者）	・建設関連も含めてだが、全体的には人手不足が影響している。外国人労働者が目立つようになっている。需要に対して物価高がどんどん重くのしかかってくるため、かなり買い控えも見受けられる。年末に向けて、各種イベントがあるが、子供の欲求を満たしながら大人の欲求も満たすことはなかなか難しいようである。
	□	人材派遣会社（社員）	・円安の関係で、観光地である当地にはインバウンドが変わらず来てきている。現状が続けば、海外からの観光客の来訪も続くのではないかと。今後はどうなっていくのかということだが、周りの物産店や他の商店等、当社も含めてだが、大分良くなるという見通しは変わらない。
	□	職業安定所（職員）	・主要産業の新規求人動向について、医療、福祉分野は増加傾向で推移している。建設業や製造業は減少傾向である。卸、小売業、サービス業については増減を繰り返している。
	□	学校〔専門学校〕（副校長）	・求人の多さが人材不足を反映しており、年末に向けて消費行動は高まるとみている。ただし、企業の運営には懸念があるため、変わらないのではないかと。
▲	人材派遣会社（社員）	・国内外の情勢が不安定で見通しが立てにくいいため、やや悪くなるのではないかと。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	*	*

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)	◎	衣料品専門店（経営者）	・機会があればどこにでも顔を出し続けることで良くなる。
	◎	家電量販店（店長）	・訪日旅行客数の増加はしばらく継続すると予想している（東京都）。
	○	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・来客数は減っているものの、電話での問合せが増えているため、少しは良くなる。住宅設備関連の問合せが特になっている。
	○	一般小売店〔文房具〕（経営者）	・年賀状印刷やダイアリーなどの売上は減少傾向にあるが、国内外の観光客の来店が増加傾向にあるため、売上は増加する（東京都）。
	○	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・米国大統領選挙の年は株価、景気が良い傾向にある。それにあやかって国内景気の回復に期待したい。
	○	一般小売店〔生花〕（店員）	・クリスマスや正月に向けて花の需要は確かにあるため、やや良くなる。近頃はクリスマス需要もなくなってしまったという話もあるので、今年はどうかとみているものの、ある程度は期待している（東京都）。
	○	一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・外商部では、民間、官公庁どちらも物件数が増えている。今後の予定のなかに大口案件がある程度入っているため、良くなるのではないかと。また、店頭部も天候さえ良ければある程度の来客数を見込めるため、期待している。
	○	百貨店（総務担当）	・来客数増加に伴う買い回りを含めた施策を強化することにより、売上増加を見込める。
	○	百貨店（営業担当）	・国内客の動きは今後も堅調に推移することが予測され、残暑で動きの鈍かったボリュームファッションや食品部門に寄与していく（東京都）。
	○	百貨店（販売促進担当）	・不安定な天候が続くが、寒暖差も激しく、重衣料、防寒雑貨を求める声も多い。年末年始商戦、インバウンド盛況シーズンに期待している（東京都）。
	○	百貨店（販売促進担当）	・食料品売場等は家計の緊縮傾向により現状では低調だが、ハレの日需要は好調が続いているため、年末年始商戦においては回復が期待できる（東京都）。
	○	百貨店（財務担当）	・円安基調が続くと想定するなか、更なるインバウンド販売量の回復に加え、冬のボーナスも含めた賃金上昇が国内客の販売量の増大にも寄与する（東京都）。
	○	百貨店（企画宣伝担当）	・暖冬といわれているが、そうしたなかでも前年とは異なる商材を用意しており、それらの動きが出てくれば、現在よりも上向きになる。
	○	百貨店（管理担当）	・冬は寒くなるような予報が出ており、防寒衣料などが売れてくる可能性がある（東京都）。
	○	スーパー（総務担当）	・衆議院議員選挙があり、期待感がある。
	○	スーパー（食品担当）	・周辺の人流増加から、しばらくは来客数、売上の増加が見込まれる（東京都）。
	○	スーパー（販売担当）	・年末、クリスマス商戦を控えている。
	○	コンビニ（経営者）	・2～3か月先は年末になるため、クリスマスケーキやお歳暮などの商材が動き、多少は上向く。
	○	コンビニ（経営者）	・政治にも一区切りついて、米国大統領選挙の結果が出る頃には不確定要素は少なくなり、それなりに消費は伸びるのではないかと（東京都）。
	○	コンビニ（エリア担当）	・原価の高騰に伴い商品単価が上がり、客単価も上がっているが、購買意欲にも変化はないため、そのまま売上につながっている。
○	コンビニ（商品開発担当）	・衆議院議員選挙の結果に期待したい（東京都）。	
○	衣料品専門店（店長）	・好調を維持するため、在庫消化を促進し、仕入れをコントロールしつつ売上を確保できるように、今後各種施策を実施していく（東京都）。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	○	衣料品専門店（統括）	・秋冬物の需要が遅れたことによる反動や、ボーナス直前の買物、ブラックフライデーなどのイベントにより、来客数、売上が増加すると予想している。
	○	乗用車販売店（経営者）	・新車の受注量が増加しており、修理部門も順調に伸びてきている。
	○	乗用車販売店（総務担当）	・新型車の投入や、冬場に向けた商品拡販で売上が伸びていくと予想する。
	○	その他専門店〔雑貨〕（営業担当）	・年明け以降は外国人観光客の更なる増加が見込まれる（東京都）。
	○	高級レストラン（仕入担当）	・経済活動が落ち込む大きな要因は見当たらない。例年、年末は繁忙期のため、上向くと予想している（東京都）。
	○	高級レストラン（経理担当）	・法人の業績が好調になれば、労働者への分配が増加し、店の売上も増加する、という経験則があるなか、足元では法人客への販売が好調である。今後は個人客の消費増加により景気が良くなる見込みだが、国内外の選挙結果など不安要素が法人の業績にどの程度影響するか不透明である（東京都）。
	○	一般レストラン（経営者）	・2～3か月先の12月は忘年会やクリスマスディナーなどがあり、売上が少し伸びるため、今より良くなる。1月になるとぐんと悪くなるが、12月は大丈夫である。
	○	一般レストラン（経営者）	・2極化がますます進む。教育された従業員の確保によって、存続できる企業と倒産する企業が明確化される（東京都）。
	○	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・年末に向けて予約や問合せが増えており、景気が良くなる兆しが見られる（東京都）。
	○	その他飲食〔カフェ〕（経営者）	・良くなってほしいというのが正直なところである。スーパーに行っても、日用品が値上がりしており、賃金を引き上げないと生活が成り立たないような状況にあると実感する。大手企業だけでなく、中小企業にも利益が出てくるような政策を、政治に求めざるを得ない（東京都）。
	○	都市型ホテル（経営者）	・これから年末に向かい大型コンベンション施設でのイベントが更に増える。人気テーマパーク等からも客が流れてきて、良い形で年末を迎えられるのではないかと。引き続き客の流れをよく見ながら対応していきたい。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・年末まではある程度の需要が見込める。週末は高稼働で推移しているため、平日の動きが鍵となる。
	○	旅行代理店（従業員）	・2024年のインバウンドが、2500万人で過去最高だった2019年を超える勢いとなっている（東京都）。
	○	旅行代理店（営業担当）	・消費が増えると予想している（東京都）。
	○	タクシー運転手	・11月末辺りから利用が増えてくる。早めの忘年会など、酒を飲む機会が増え、飲食店への送迎も忙しくなるだろう。今年はコロナ禍も多少落ち着きつつあり、飲み会が増えると期待している。
	○	タクシー運転手	・これから年末、特に12月にかけてはやはり忙しくなる。昔は11月、12月と忙しかったが、最近は12月に入らないとなかなか忙しくならない傾向が続いている（東京都）。
	○	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなっている（東京都）。
	○	通信会社（管理担当）	・不確定要素もあるが、賃金上昇や人気スマートフォンの新製品投入等により、B t o Cは緩やかながら回復の見込みである（東京都）。
	○	通信会社（営業担当）	・米国大統領選挙の結果による（東京都）。
	○	通信会社（営業担当）	・商材の抜本的な改革により販売量の増加、単価の上昇を見込んでいる（東京都）。
	○	ゴルフ場（経営者）	・アフターコロナの盛り上がりも一段落したようである。レジャーや旅行の勢いも落ち着き、身の回りのスポーツに戻るようであれば、来客数も戻る。
	○	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（支配人）	・学生や団体の動きや予約、地域イベントの開催などからみて、やや良くなる（東京都）。
	○	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（従業員）	・前年より忘年会予約の件数、参加人数が増加傾向にある（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	○	その他レジャー施設 〔複合文化施設〕（財 務担当）	・衆議院議員選挙の結果が反映される（東京都）。
	○	その他サービス〔学習 塾〕（経営者）	・新規問合せの件数などは依然として前年比でプラスとなっ ている。
	○	設計事務所（経営者）	・選挙の結果から、何か新しい世に変わっていくのではない か。今の仕事の好調さをこのまま維持していけるような人の 集まりができれば良い。
	○	設計事務所（経営者）	・新規案件、新しい種類の仕事を取引先から提案されてい る。
	○	住宅販売会社（経営 者）	・当社はホテルも扱っているが、国内ホテルの宿泊料金は月 に2%程度ずつ上昇しており、ホテル業界は良くなる。しか し、中小企業は建設費の高騰などまだ厳しい環境のなかにあ り、なかなか賃上げができない。政府には中小企業への景気 対策をお願いしたい。
	○	住宅販売会社（従業 員）	・来年度の住宅政策や税制、具体的に補助金の有無などが発 表されれば、動きが出るのではないかと。注文建築の請負契約 数が増えない分、建売住宅や分譲地販売で何とかカバーし て、販売量の確保を狙っている。
	○	住宅販売会社（従業 員）	・物価高ではあるが、当社も含めて賃上げも進んでいる。た だし、中東紛争などによる世界情勢によって、急激に悪化す る懸念もある。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症発生前の数字になかなか戻っ ておらず、80%から85%くらいで推移している。今後良くなる ことを期待はしているが、戻せるかが問題である。
	□	商店街（代表者）	・今月の好調から更に上がることは考えにくい、悪化要素 やリスクもそれほど多いわけではない。ただし、国内の政 権、米国大統領選挙など、政治において激しい変化があり、 為替や株値に異変が生じた場合は、富裕層が多い街だけにマ インドが冷める可能性がある（東京都）。
	□	一般小売店〔家電〕 （経営者）	・悪い状態がずっと続いており、これから良くなることも望 めない。現状のままですととにかく動くしかない（東京都）。
	□	一般小売店〔家具〕 （経営者）	・景気は変わらないだろうが、専門店として少し見直されて いるのか、販売には結び付いていないものの、来客数が以前 よりはやや増えてきている。少しずつ良くなることを期待し ている（東京都）。
	□	一般小売店〔印章〕 （経営者）	・取扱商材の関係だとみているが、非常に低迷している。急 に売上が伸びたり極端に下がったりすることはほとんどない ため、低迷した状態のまま営業している。
	□	一般小売店〔米穀〕 （経営者）	・今のところ大きな動きが見受けられないので、変わらない （東京都）。
	□	一般小売店〔傘〕（店 長）	・天候が安定すると、景気に直結する動きがなくなる。
	□	一般小売店〔茶〕（営 業担当）	・当社の扱っている商材は年末だからといってそれほど伸び るようなものではないため、新規受注でもない限りは変わら ない（東京都）。
	□	百貨店（売場主任）	・年末にかけてのイベントで来客数の増加を見込んでいる が、様々な商材の値上がりの影響が懸念される（東京都）。
	□	百貨店（総務担当）	・徐々に悪化している状況は継続するものと推察する。全体 の売上は前年を捉えているものの、伸び率は縮小傾向にあ る。衆議院議員選挙の結果次第では、政策の変更等により、 更なる物価上昇、株値下落を招く心配もあるため、楽観視は できない（東京都）。
	□	百貨店（総務担当）	・消費による今後の景気の上昇は、訪日外国人による売上の 増加にある程度の上限があるならば、一般的な消費の伸びで の上昇を期待するのはやや厳しいとみている。今後の経済政 策等の変更や進展による影響も大きいと予想され、先行きは 不透明である（東京都）。
	□	百貨店（総務担当）	・国内の政局が不安定になることが想定されるとともに、米 国大統領選挙が近いこともあり、景気動向及び客の消費心理 が様子見状態になる（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	百貨店（広報担当）	・国内客、インバウンド共に大きく伸長する要素も減退する材料も見当たらない。特に、圧倒的多数のシェアを占める国内客の消費については、為替などのマクロ経済の影響をそこまで受けずに推移していく傾向がある（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・インバウンドや高額品は変わらず好調に推移しているため、余り大きな変化はない（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・来客数は増えており、秋冬物への切替え購入が遅れているため、今後は伸びるとみているが、遅れた分を取り戻すまでは期待できない。衆議院議員選挙後の施策を期待したい（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・インバウンドの影響を受けない郊外店では、寒暖差や不安定な天候から端境期の服飾商材が好調なことや、化粧品や食品の物販など、絶対単価が低く手に取りやすい商材が多く出ていることから、これからの繁忙期まで引き続き好調に推移すると見込んでいる（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・インバウンド需要に関しては、大きな増加は見込めないものの堅調に推移すると推察する。一方、国内消費については大きな変化はなく、この状況が今後も続く（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（販売促進担当）	・物価上昇による買い控えが広がっている。賃金上昇とはいわれているものの、実感が伴わない状況では、景気は足踏み状態で、悪化も考えられる。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（販売促進担当）	・直近の傾向より算出している（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（店長）	・年末消費や12月以降の気温低下による冬物衣料のニーズに期待はしているが、現時点では針が動くほどの与件はない。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・基本的にはそれほど悪くないが、値上げなどいろいろな要因が絡んでおり、競合店が中心街に出店してきたので、やや落ち込んでいる。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・最低賃金が上昇したが、可処分所得は大して増えていない。米などの食品価格や他の必要経費の値上げにより、生活がかなり厳しくなっている。当店でも1人当たりの買上点数が減少している。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・10月からまた物価がかなり上がっているため、どうなるかわからない。大変不安定である（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・競合店を見ても、思い切ったディスカウントを仕掛けることは見当たらず、プライベートブランド商品や留型商品で低価格をアピールする状況が続く。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・消費者には節約志向が依然として根付いており、物価と所得のバランスが良くないため、同様の状態がしばらく続く（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（営業担当）	・単価の上昇、来客数並びに販売数の減少という構図は、今後もまだ変わらないのではないかと（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・コンビニ離れが起きているのか、厳しい状況が続くそうである。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・今後も気温が高い予報が出ており、飲料等の販売量が多い状態が続く見込みである（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・政治環境の変化に伴い景気にも変化があるのではないかと（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（従業員）	・今後数か月先も良くなるような要素、雰囲気はない。増税や物価の上昇が続けば、それに伴って消費が冷え込む懸念もある。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（役員）	・食料品、その他の値上がりで、衣料品には手が出ないという客の声が多く聞かれる。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（従業員）	・まだ先行きの見通しが悪く、生活必需品以外の物はなかなか動かないのではないかと（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・物価上昇が収まらないため、この状況はまだ続く。省エネ家電への買換えキャンペーンなどに期待している。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っているが、販売は余り芳しくない。客が買い控えをしているようで、なかなか成約に結び付いていない。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・中古車を取り巻く環境に変化はなさそうである（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・特に目新しい車種もなく、厳しい期間になることが予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・円安傾向が全く止まらない。それに対して政府が具体策を講じていない。円安に加えて、原油や食料品価格の高騰により、我々が消費する物が高くなっている。衆議院議員選挙で最低賃金を1500円にするという政策を掲げていたが、最低賃金を1500円以上にするくらいでないと、現状がずっと続いていくのではないかと（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（渉外担当）	・自動車関連の消費動向に影響する諸環境に変化はない。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・物価上昇による車両本体価格やローン金利の上昇などで、消費者は新車購入よりも安価な中古車にシフトしている（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・商材の価格が更に上がり、年末とはいえ財布のひもは固くなる。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・販売量が余り伸びず、前月と同じで全く変わらない。2～3か月先も変わらないのではないかと。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店〔貴金属〕（統括）	・今後数か月先までは商材の値上げは予定していないので、販売数量が減少する傾向は落ち着く（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・光熱費の負担が増える冬を控え、経済対策又は実感のある賃金上昇が急務である（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・商材の入荷が少ない状況はしばらく続く見込みである（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	高級レストラン（営業担当）	・忘年会、新年会の予約状況は、ほぼ前年と同様の数値で推移している（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・インバウンドにより景気回復との錯覚があるが、物価上昇、最低賃金引上げが経営面に影を落としている（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・3か月後も原材料や電気代の値上げがあるため、景気が良くなるとは考えていない。今と変わらない。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・11月は忘年会シーズンの前であり、今月とそれほど変わらないのではないかと。11月の後半から12月にかけて忘年会が増えてくる（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・衆議院議員選挙後の経済政策にもよるだろうが、米国大統領選挙の結果の方がより強い影響を与えるとみている。結果次第では、新大統領就任までに国際的に大きな変革を予想しておいた方が良く考えている。安定はその後にもたらされるのではないかと。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・前年と比べて変わらない（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（スタッフ）	・近隣競合ホテルの休館に伴い、数字的には上がってきているが、それを除けば例年どおりの推移となっている。特に、宿泊は閑散期となるため、好調なインバウンドをどう取り込むかが大きな鍵となる。
	<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・衆議院議員選挙が終わり、どの党が政権を取るのかによって景気が良くなる、若しくは低迷するということが生じるため、今の段階では良くなるとも悪くなるともいえない。
	<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・例年どおり、団体旅行の閑散期に入るため、仕事自体は落ち着いていく。
	<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・訪日旅行、オーバーツーリズムの影響により、国内ホテルの価格が高騰している上に予約が取りにくい状況にあり、伸び悩んでいる。今後もこの状況は変わらない（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・物価の上昇がまだ収まる状況にはなく、これから年末に向けて更に加速していくとみている。客からも生活が段々と苦しくなってきたという話をよく聞かされる。
	<input type="checkbox"/>	タクシー（団体役員）	・年末の人出を期待したいが、どうなるか分からない。政治が安定しないと先行きが見通せない。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（経営者）	・この先2～3か月は現状が続くため、景気は変わらない（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・物価上昇が継続しており、消費意欲の大幅な回復は見込めない。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（局長）	・政治の不安定もあり、政策不足から消費向上につながる要素が見当たらない（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・良くなると思える材料がない。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・物価が元に戻らない限り、変わらない（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	通信会社（経理担当）	・温暖化で季節による景気の変化が少なくなっている。
	<input type="checkbox"/>	観光名所（職員）	・団体客の減少が続いている（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	パチンコ店（経営者）	・年末に向けて消費が活発になることが期待されるが、衆議院議員選挙後の状況が不透明であり、経済対策が後手に回ることも懸念され、全体的には足踏み状態が続く。
	<input type="checkbox"/>	競輪場（職員）	・客に飽きられないように、新規の取組を実施しなければ難しいと考えている。どうやって価値を上げることができるかが重要である。公営競技のビジネスモデルにお金をつぎ込むような余裕のある社会になるのは、まだ先のことである。
	<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [映画]（営業担当）	・衆議院議員選挙の結果がどう影響するかまだ分からないため、変わらないとしている（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス [立体 駐車場]（経営者）	・近隣に商業施設が少ないため、今のところ大きな変化は望めない。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス [フィットネスクラ ブ]（エリア統括）	・来客数、売上共に前年を割っている。消費が伸びる要素も見当たらない（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	設計事務所（経営者）	・現況を変える要素が見当たらない。元々長期スパンの業務のため、景況感は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	設計事務所（職員）	・衆議院議員選挙の結果にもよるが、有効な景気対策を期待しているものの、急激に上向くことは考えられない（東京都）。
	<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	・情報量に変化がないため、変わらない。
	▲	一般小売店 [家電] （経理担当）	・今までは暮れに向かってテレビ需要に期待するところがあったが、最近は面白い番組がないという話をよく聞く。インターネットテレビなどの方が人気があるようである。省エネ家電に期待している。
	▲	一般小売店 [祭用品] （経営者）	・例年のような盛り上がりが見られない。物価上昇の影響か、買い控えているとみられる。
	▲	一般小売店 [酒類] （経営者）	・実質賃金の減少により節約する人が増えている。周囲を見渡しても、良くなる兆しがみえない。
	▲	スーパー（仕入担当）	・ここ3年原材料価格の高騰による値上げが続き、主食となる米も大きく値上がりしたため、節約志向がますます強まっていく。
	▲	スーパー（ネット宅配 担当）	・大型ディスカウントストアの出店により、近隣競合店も販売促進を強化するなど、より一層競合による影響が考えられる。
	▲	コンビニ（経営者）	・11月中旬より大幅に時給を引き上げる予定である。現在の計算では赤字転落の可能性が大きい。
	▲	コンビニ（経営者）	・最低賃金が上がったことにより、働ける時間が短くなってしまい、従業員も給料が減るため、やはり生活していくのが大変である。
	▲	コンビニ（経営者）	・コンビニは冬に弱いので、季節要因で今よりは売上が減少する。また、前年と比べて光熱費を始めいろいろな物価が上がっているため、買い控えもあるとみている。10月から時給が50円上がっており、2030年までに最低賃金を1500円に引き上げると言っている。もうフランチャイズビジネスは成り立たないような状況にまで近づいていくのではないかと、かなり将来を憂えている。
	▲	コンビニ（経営者）	・衆議院議員選挙の結果にも大きく左右され、先が読めないのが正直なところである。与野党どちらが勝っても、最低賃金の引上げが見込まれ、厳しい経営環境が続くそうである。
	▲	コンビニ（エリア担 当）	・物価上昇と賃金の上昇幅が見合っていないため、景気が悪くなるのではないかと。
	▲	コンビニ（エリア担 当）	・毎月のように商材の価格変更の通知が来ているため、徐々に来客数が減少することが見込まれる。
	▲	衣料品専門店（経営 者）	・年末にかけて、買回り品は新規オープンした大型商業施設に買いに行く客が増えて厳しくなる。
	▲	衣料品専門店（経営 者）	・円安がますます進み、繊維関連の輸入額、原材料価格が上がっている。今後も値上がりが続くことと、衆議院議員選挙期間中ということで、順調な状況ではないため、これから消費が上向くかは疑問がある。そのようなことから、やや悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	家電量販店（店長）	・実質賃金が伸び悩み、消費に向かっていない。引き続き物価が上昇していることから、消費にも影響がある。
	▲	乗用車販売店（営業）	・いまだ販売量を正確に確保できていない。
	▲	住関連専門店（営業担当）	・リフォーム業においては補助金政策による需要押し上げ効果が大きい。今年度の補助金締切り以降については現状良い材料がなく、見通しは不透明である（東京都）。
	▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（団体役員）	・燃料油価格激変緩和対策事業が継続している限り不変ではあるが、消耗品などがかなり値上がりしており、コストが増加する（東京都）。
	▲	高級レストラン（役員）	・本来ならば秋から年末に向かう良い季節でもあり、上向く傾向にある時期だが、国内や米国の選挙動向も鑑み不安感もあり、外的要因から先が読めない状況である（東京都）。
	▲	旅行代理店（営業担当）	・物価高により料金が高いまま据置きになっているようにみえる（東京都）。
	▲	タクシー運転手	・3か月先の2月は利用が少なくなり、売上もやや減るのではないかと（東京都）。
	▲	通信会社（社員）	・前月と同様、案件が決まらず、保留、様子見の状態が続いている（東京都）。
	▲	通信会社（社員）	・引き続き人材不足による獲得低迷が続いている。加えて、既存客の節約志向に伴う売上低迷により、改善の糸口がみえない（東京都）。
	▲	通信会社（経営企画担当）	・年末年始を挟むことにより、商談数、受注数が減少する時期となる（東京都）。
	▲	通信会社（経営企画担当）	・円安傾向が見え始め、仕入価格の上昇傾向が加速しそうである（東京都）。
	▲	通信会社（管理担当）	・時間的経過は客の獲得にはマイナスのため、純減傾向が継続するという事は、悪化するという事である（東京都）。
	▲	ゴルフ場（経営者）	・物価高の影響はまだ続くとみられる。今後も値上がりする物が増えそうなこともあり、レジャーに掛ける費用は厳しい状況にあるのは間違いない。
	▲	その他レジャー施設〔総合〕（経営企画担当）	・衆議院議員選挙の結果により株価や為替の変動が大きくなることで、景気への影響が出てくる可能性がある（東京都）。
	▲	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・物価が上がる一方で、生徒の冬期講習の申込みも少なくなっている。聞いてみると、やはり食費が高いためということである。景気は下がってくる。
	▲	その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・客の購買意欲が損なわれる。節約志向に陥る傾向がみえてくる。
	▲	住宅販売会社（総務担当）	・政権政党が決まらないなか、税制等、消費を喚起する政策決定が遅れる懸念があり、影響が大きい。
	▲	その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・建材需要の一服感が際立っている。一部大型案件で補うことができたとしても、先行きは良くない（東京都）。
	×	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・円安の加速により物価が上昇する。
	×	衣料品専門店（店長）	・物流経費や人件費の上昇が止まらず、商品価格への反映が追い付かない。
	×	その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・10月からの最低賃金の引上げ、8割以上という米価の大幅な引上げ等が重なり、人件費、原材料コストが大幅に増加することが予想され、利益水準は予定の3分の1になる可能性がある。価格転嫁、コスト削減の両面からの対応が急がれる（東京都）。
	×	通信会社（管理担当）	・物価上昇により販売量は横ばいとなる。
	×	ゴルフ場（経営者）	・与野党どちらも適切な経済対策を打ち出していないため、更なる不景気に見舞われる。
	×	ゴルフ場（従業員）	・政権争いで、各党がいろいろ公約を述べているが、消費税廃止、減税、最低賃金の引上げなど目先のことばかりである。第三次世界大戦への恐怖、国の財政への不安、年金財政への不安、そして物価上昇等による家計への圧迫など、国民の不安は増えるばかりである。これで政権が変われば国会は混乱し、平和で豊かな生活は遠ざかってしまうのではないかと。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	ゴルフ場（経理担当）	・3か月後に当たる1月は、雪さえ降らなければ、例年は一定のプレー需要があり、集客に関するマイナス要因は限定的とみられるが、寒い冬季はプレーを忌避するため、ある程度の稼働率低下が予想される。一方、素材、エネルギー価格の高止まりや業務要員不足の長期化などの構造的問題は、解決の見通しが立たず、固定費の回収に苦慮する環境は変わらない。価格転嫁も容易ではなく、利益を創出できるような状況ではない。10月から最低賃金が4.95%上昇し、今後も人件費負担は一層重くなることに加え、物価上昇圧力も継続するものと考えており、景気改善の足かせとなることは不可避である。
企業 動向 関連 (南関東)	◎	その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・今年の冬季ボーナスも増額できそうである。
	○	食料品製造業（経営者）	・良くなっていくとみているが、原材料の餅米、卵、栗の値上がりが心配である。
	○	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・原材料費の値上がり分を価格転嫁できている（東京都）。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・既存の内示では、来年の春頃まで増加傾向が続く見通しである。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・この先、職人不足に対応した省力化商材について、大型の再開発や半導体工場物件の受注につながると見込んでいる（東京都）。
	○	電気機械器具製造業（企画担当）	・AI関連製品の需要が徐々に拡大してきており、半導体製品事業も成長しつつあるため、我々の景気に直接的に影響してくると考えられる。
	○	精密機械器具製造業（経営者）	・受注量の内示等が毎月2%程度増えているが、確証は持てない。ただし、2025年問題が露呈してきたため、残った企業では新規案件や引継ぎ案件が増えてくると予測している。
	○	建設業（従業員）	・良くなることを期待したいが、現実には物価上昇が止まらない状況である。新総理に、良い世の中、良い日本にしてもらいたい。
	○	その他サービス業〔警備〕（経営者）	・年内はこのまま順調に推移する。
	○	その他非製造業〔商社〕（従業員）	・受注予定より、やや良くなる（東京都）。
	□	食料品製造業（経営者）	・停滞感が出てきている（東京都）。
	□	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・来月からの年賀状の発売に絡んで、年賀状印刷の注文を例年受けているが、今年は10月1日からはがきが85円になったことで、年賀状自体を出さない、あるいは年賀状印刷の注文の減少が見込まれる。例年なら上向きになるはずだが、変わらないか、場合によってはやや下がる見通しである（東京都）。
	□	化学工業（従業員）	・年末に向けて、取引先から良い話がなくて、状況が好転する要素はない。
	□	プラスチック製品製造業（経営者）	・細かい部分で値上げ等があるかもしれないが、基本的に大きな変化はないとみている。
	□	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・当面、自動車メーカーの販売は順調に推移することが予想される。下請企業の生産状況も順調に推移することが見込まれている。
	□	その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・日米の政治の混乱など、景気が好転する材料がなかなかみえない（東京都）。
□	建設業（経営者）	・物価が上がっているものの、収入が増えていないため、消費意欲が衰えている。この先もそれほど景気が良くなるとは考えられない。	
□	建設業（経営者）	・材料単価が上がり、客の計画に合わない物件が多くなっている。	
□	輸送業（経営者）	・徐々にではあるが取扱量が減少しつつあり、低量安定基調に変化はないものとみられる（東京都）。	
□	輸送業（総務担当）	・荷主の国内出荷量が増えてきているが、輸出は全くない。今後もこの状況が続く予想である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	金融業（従業員）	・不動産価格の上昇が続いているが、不動産業者からは、戸建て住宅の売行きが悪く、在庫として長く持っている物件が増えてきたという声も聞かれ、業界全体で取引が鈍くなっているとの見方もある（東京都）。
	□	金融業（従業員）	・必要経費の増加に伴う価格転嫁、いわゆる値上げが容易でないなか、物価、材料の仕入価格、人件費の上昇はとどまるところを知らず、上昇の一途をたどっているため、中小企業の経営環境はますます厳しくなる。
	□	不動産業（経営者）	・物件確認から内見問合せもインターネットのところが増えてきている（東京都）。
	□	不動産業（経営者）	・景気がどこに向かうか心配だが、この先しばらくはテナントの変化はないものとみている。
	□	不動産業（総務担当）	・ビル管理に関するメンテナンス費用が高くなっており、中には便乗値上げではないかと疑いたくなるケースもある。身の回りの景気は悪くないため、多少の出精値引きはお願いするが、値上げに応じているのが現状である（東京都）。
	□	広告代理店（従業員）	・今月の衆議院議員選挙に伴う特需は一過性のものであり、次月以降はまた元に戻ると予測している（東京都）。
	□	広告代理店（営業担当）	・会社としては、前年売上を下回っている原因を解明し、営業を強化することで少しは巻き返せると考えているが、引き続き円安などもあるので厳しい（東京都）。
	□	税理士	・米国の景気は良いが、中国は不動産不況で、国内景気もその影響を受ける。会計事務所では中小企業をみているが、やはり全体で大きな割合を占める中小企業の業況が材料高、人手不足で悪い。最低賃金1500円などといったことが、中小企業には出せるわけがない（東京都）。
	□	税理士	・米国大統領選挙の動きも複雑に絡んできそうで、国内の政局だけでは景気を推し量れない。物価が上がり続け円安も収まらなければ、消費の伸びは期待できない。
	□	社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない（東京都）。
	□	経営コンサルタント	・好転する状況が見えない。
	□	経営コンサルタント	・政府の大々的な公共事業など、実業界に大きな資金投下をしない限り、経済は上向かない。間接的ではあるが、経済社会に資金を回さなければ、30年間の停滞を立て直すことはできない（東京都）。
	□	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・受注量が増える見込みも少なく、原材料、資材等の値上げもあり、厳しい状況が続く。
	▲	化学工業（総務担当）	・製品の需要は今がピークで、今後は受注減少が予想される。
	▲	プラスチック製品製造業（経営者）	・化粧品容器の状況に全く回復見通しが立たない。医療品容器に関しては新企画の話が舞い込んできている。
	▲	金属製品製造業（経営者）	・利益の出そうな案件や情報がなく、その場しのぎの仕事でつなぐ状態は、3か月では変わらない。
	▲	建設業（営業担当）	・民間工事の案件減少に伴って、公共工事の割合を増やして受注するシフトに替えているが、政治が不安定な状況に陥っているため、公共工事にも影響を及ぼすと予想している。
	▲	金融業（総務担当）	・賃金の上昇幅を電気代や食品、ガソリン代の高騰が上回り、消費は低迷している。観光業は、ホテル等の高騰により国内需要が落ち込んでいる。運送業では2024年問題や人手不足が続いており、経営を圧迫し始めている。建設業では、資材高騰や住宅ローン金利上昇もあり、購買にやや陰りが始めている（東京都）。
	▲	金融業（営業担当）	・原価上昇分を売上増加でカバーできていない企業が多い。特に製造業においては、単価上昇で売上が伸びても、受注数ではそれほど変化がみられず、先の受注見通しからも停滞感がうかがえる。また、郊外の不動産は冷え込み感が強くなってきており、販売価格は下落傾向、プロジェクトもやや長期化しており、採算悪化が懸念される。
	▲	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・人手不足とあいまって、最低賃金引上げの影響がこれから出てくる（東京都）。
	▲	その他サービス業〔ソフット開発〕（経営者）	・久しぶりにファミリーレストランに行ったが、ランチでも2000円近い価格で、サラリーマンには厳しい（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	出版・印刷・同関連産業（所長）	・資材の値上げのため、見積金額を上げるなか、ここ数年で数回値上げしていることが影響し、なかなか了承してもらうことが難しくなっている。ますます厳しい状況になる。
	×	金属製品製造業（経営者）	・中小企業は、取引先に納入単価の上昇などを少しではなくしっかりと認めてもらわないと、仕入価格や人件費ばかり上がってしまい利益率が下がる傾向にある。国内だけでの競争ではないため、納入単価を上げると海外現地調達と比較され、簡単には単価を上げられない。世間はあおるが、実態が追い付いていない現状がある。
	×	建設業（経営者）	・政治が安定しない。
雇用 関連 (南関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	・非常に緩やかであるが、上昇トレンドの継続が考えられる（東京都）。
	○	人材派遣会社（営業担当）	・例年この時期の需要として、年末から年度末に向けて求人数が増加する傾向がある。求職者も流動化し、新規登録者も増えてくる。ただし、ここ最近の傾向として、派遣社員の賃金改定を理由に企業への派遣料金が上がってきていることもあり、求職者側への追い風にもなるとみている（東京都）。
	○	求人情報誌製作会社（広報担当）	・良い人材を採用できれば、景気の良さにあいまって、より業績が伸びる企業が多くなるのではないかと（東京都）。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・年明けということもあり、衆議院議員選挙の結果も受け、少しは良くなるのではないかと。
	○	職業安定所（職員）	・当所における10月の新規求人数は、令和6年2月以来久しぶりに6000人を上回るなど、求人増加の兆しがみられる。
	□	人材派遣会社（社員）	・年末商戦も一段落し、求人数が減少していくことが見込まれる。
	□	人材派遣会社（社員）	・第4四半期に転職する人材は少ない（東京都）。
	□	人材派遣会社（社員）	・賃金上昇が進んでいるものの、コストの増加に応じた求人数の調整はなさそうである。
	□	人材派遣会社（支店長）	・求職者に人気のある在宅可能な仕事が減少傾向にある。場所を問わずマッチングできるオーダーの減少に伴い、人選に苦戦している（東京都）。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・物価上昇に伴って給与が上がっているが、何かをきっかけに消費意欲が上がり、物やサービスが売れ始めるまでは、しばらく変化がないのではないかと。
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	・政治が安定していないため、経済政策の打ち出しも不透明である（東京都）。
	□	求人情報誌製作会社（所長）	・手応えがなく、分かりにくい。
	□	職業安定所（職員）	・最低賃金の引上げを受け、最低賃金ギリギリの賃金で求人を出す中小事業所も多い。
	□	職業安定所（職員）	・どの産業からも、人手不足感が強く人材を確保できないため、納期が遅延したり仕事を断っているとの話が出ているが、現在の人手不足や物価高の抜本的な解決は困難であり、しばらくは本格的な景気回復は難しい（東京都）。
	□	職業安定所（職員）	・人手不足、原材料高及び物価上昇等による業績への悪影響を懸念する声が、多くの産業から聞かれる。今のところ求人数は堅調だが、今後は企業業績の悪化が雇用不安につながる可能性を排除し切れない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・企業からの求人数、職種は幅広く、ある程度の量が出ている。それに見合う人材は見当たらないが、求人の状況としては非常に良い状態が続いている（東京都）。
	▲	人材派遣会社（経営者）	・賃金の上昇もあり、人材確保が困難であることから、雇用せず業務を縮小して、身内だけでの経営に変更した小規模事業者が増えているようにみられる。
	▲	人材派遣会社（社員）	・政治、経済共に明るい話題が見当たらない（東京都）。
	▲	人材派遣会社（社員）	・年末、年度末に向けて、求人状況が改善する見込みがない（東京都）。
▲	求人情報誌制作会社（営業）	・求職者の動きが鈍いが、これから年末に向かうにつれて活発になるとは考えにくい。求職者も徐々に減少しているとみられるが、1人でも多くの方がしっかりとした職に就けるようになるとよい。	
▲	職業安定所（職員）	・円安、物価高で経済が活性化する兆しがみえてこない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	学校〔大学〕（就職担当）	・先行きが不透明である（東京都）。
	×	—	—

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (甲信越)	◎	高級レストラン（経営者）	・秋らしくなり、小旅行や会食の機会も増えてくるとみられ、来月に向かっての予約状況も良くなっている。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・万が一の場合は頼みたいという予約が、たくさん入っている。加速度が付いたような様子である。
	○	商店街（代表者）	・毎年、11月中旬を過ぎて年末になると、商材が多少動くので、今年も期待している。
	○	スーパー（経営者）	・イベントもいろいろとあるが、全てで注文がくるわけではない。多少営業をして、受注していきたい。また、時給1500円は経営者としては大変困る。原材料、光熱費、人件費と高くなっていくのは、経営上、大きな問題である。
	○	乗用車販売店（経営者）	・新車供給の正常化が浸透し始めており、需要期の1～3月には買い控えていた層への販売が増加すると見込まれる。
	○	自動車備品販売店（従業員）	・冬のシーズンは、売上が天候に1番左右されてしまうが、前年暖冬だった分、今期の冬商財の売上に期待したい。
	○	スナック（経営者）	・いよいよ忘年会シーズンに入ってくるので、通常の月よりは売上も上がるのではないかと期待している。相変わらず、客が早く帰る傾向にあるため、昔のような2回転、3回転というようなことはないかとみている。
	○	タクシー（経営者）	・年末に向けて会合等が増えるので、やや良くなる。
	○	遊園地（職員）	・パブリシティの獲得や、イベント開催等、積極的な集客施策の実施や情報発信を行うことで、より多くの来園客を期待している。
	□	商店街（代表者）	・年末に向けて取扱商材の値上げが続き、客の買い控えが心配である。
	□	百貨店（経理担当）	・しばらく現況と変わらないと推測する。ターミナル駅周辺再開発による商業施設開業の影響を引きずっていることと衆議院議員選挙で政局が不安定なことも、消費に影響を与えていると考える。
	□	百貨店（営業担当）	・客の様子をみていると、実質賃金が下がっているなかで、買物は慎重にならざるを得ない状況である。ただし、お金を掛けるものには掛けるため、日用品等はそれほど変わらないのではないか。
	□	百貨店（店長）	・売上は前年実績程度が続いている。以前より旅行者は増えているものの、逆に高齢顧客が減っている。今後もこの流れは継続するのではないかと。店内全ての物が値上がりしており、顧客の購買力が落ちている。
	□	スーパー（店長）	・10月からの値上げもあり、買い回り傾向は直近と変化がないと考えている。
	□	コンビニ（店長）	・10月から最低賃金が若干上がったが、買う物自体、特別変わっていくことはないようなので、今後もそれほど変わっていかないのではないか。よほど、天候の変化が大きくなってくれば、話は変わるが、そうしたことも特別影響がなければ、余り変わらないのではないか。
□	衣料品専門店（経営者）	・物価高で商店街に人の気配がない。	
□	家電量販店（店長）	・物価高の影響もあり、集客が見込めない。	
□	その他専門店〔酒〕（店長）	・暮れは多分忙しいが、3か月後の正月過ぎは、いつもなら売上は落ちる。今年は米国の大統領選挙がもうすぐ始まり、その結果次第で景気は左右されるという記事も見る。なかなか地方ではそういう感覚はないが、空気感に左右されることもあるため、2～3か月後に余り良くないのか悪くなっているのかは分からないが、変わらないのではないか。	
□	一般レストラン（経営者）	・ぬるま湯につかっているような、中途半端なはっきりしない景気動向は、冷めることはないかとみているが、衆議院議員選挙の結果が大きく影響するのではないかと。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	都市型ホテル（スタッフ）	・11月も今月同様、客の動きは鈍るとみている。恐らく、客は12月の年末にかけて、クリスマス、正月等、年末商材にお金を落としていくのではないかと。
	□	旅行代理店（副支店長）	・冬季の旅行受注が少なく、募集旅行等への参加が減少している。天候不順による農作物等の収穫への影響が旅行需要にも影響する地域のため、現状同様で悪い方向にある。
	□	通信会社（社員）	・テレビやインターネットサービスは引き続き横ばいとみている。年末年始の加入者数増加に向けた施策を準備する必要がある。
	□	通信会社（社員）	・新商品発売も定例化しており、結果として前年と大差ない。良くも悪くもないが、上方に傾くのは厳しい。
	□	観光名所（職員）	・人流が戻っても、光熱費の上昇や物価高などが家計を圧迫している。繁忙になっている割に、収入は変わらない。
	□	ゴルフ場（副支配人）	・平日の来場者は高齢者が多く、所得が増えるとは考えにくいいため、今後も変わらない。
	□	その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（経営者）	・冬休みや年末年始に入っていくので、にぎわいをまた取り戻していくのではないかと。
	□	その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・日本では衆議院議員選挙があり、米国の大統領選挙もある。それらによって、世の中が大きく変わるとみている、注視している。
	▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	・衆議院議員選挙も終わり、世の中が不安定で、物の値上がりなどの情報ばかりで、消費者の財布のひもは固くなる一方である。
	▲	スーパー（経営者）	・そろそろ生活防衛意識が強くなりそうである。
	▲	スーパー（副店長）	・寒い地域のため、灯油代やスタッドレスタイヤの買換え等、冬場はお金が掛かる。また、どうしても閉塞感があり、明るく景気の良い話はない。先日の衆議院議員選挙の結果による新たな政治に期待する。
	▲	コンビニ（経営者）	・寒さが非常に厳しくなると、乗客数が伸びず、売上の的にも厳しい。
	▲	コンビニ（経営者）	・秋はスポーツやイベント等が休日のたびにあるので、人が動く。特に、3連休などは売上も前年と同じくらいあった。しかし、その分、平日は今一つといったところである。最低賃金が上がって経営者は大変になっているが、働くパート側も103万円、130万円の壁のせいで、時給の上があった分、就労時間を削られて、結局のところ、手取りは同じであるため、景気が良くなるとは考えられない。
	▲	コンビニ（経営者）	・近隣にもう1店舗、競合店が出店するため、やや悪くなる。
	▲	コンビニ（経営者）	・政治的な問題もあるだろうが、依然として、財布のひもは固くなっている。賃金が上がっても、税金等の控除金額が少なくなるわけではないため、いまだ節約志向から抜け出せないのではないかと。
	▲	コンビニ（エリア担当）	・最低賃金の上昇は中小企業の営業努力では賄い切れない。
	▲	一般レストラン（経営者）	・物価上昇や最低賃金の引上げ等、経営者側が付いていけない。
	▲	観光型旅館（経営者）	・従来より、冬は地元団体の宴会等が主だったが、新型コロナウイルス感染症発生前から、急速に減少傾向が続いていた。今年の秋は団体需要が新型コロナウイルス感染症発生前に近い状態まで戻っていたが、冬の団体は地元企業の集まりや業界団体等が多く、こうした団体はコロナ禍を機に宴会をやめてしまったところが多い。当館の集客の中心は首都圏からの客だが、冬季はノーマルタイヤでは来館できないため、従来より首都圏からの客は冬はほとんど来ないため、今後も大きな増加は見込めない。最近の冬季インバウンド客の増加は好材料であるものの、現状のように新型コロナウイルス感染症発生前を上回るような好調さを維持するには至らないとみているため、現在よりもやや悪くなると予想している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・ここ数ヶ月の減少傾向に関しては、他の食料品やエネルギーコスト高の影響か、ぜいたく品と呼ばれる物に使う金額が減少しているのではないかと、客の様子、来客頻度から推測している。そうしたことから、全体的な景況感が上向きにならない限り、少しずつ悪化していくのではないかと。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・例年1月はビジネスホテルの稼働率は落ち込む。ただし、当地域はかなりインバウンド需要があるようなので、上向きになる可能性もある。
	▲	タクシー運転手	・2～3か月前までは、深夜2時頃までは多少動いていたが、9月、10月は夜12時といえどももう終わっている。非常に悪い。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・別荘の間合せ、現地見学数が減少している。また、所有別荘の売却相談が増加している。
	×	商店街（代表者）	・これから先どうなっていくのか不安である。
	×	コンビニ（経営者）	・エネルギー価格高騰で、先行きが不安である。
	×	乗用車販売店（管理担当）	・賃金格差もあり、物価高のため、悪くなる。
	×	スナック（経営者）	・しばらくは不景気が続くともみている。既に給料の上昇した人たちがお金を使ってくれるようになるまで、良くはないのではないかと。
	×	ゴルフ場（経営者）	・政局が不安定で、悪くなる。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	食料品製造業（営業統括）	・予想より円安が進行しており、輸入品の価格が上昇した影響で、国産品はより有利に働くものとする。
	○	金属製品製造業（総務担当）	・半導体が回復し、やや良くなる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・2～3か月前の受注も入り始めている。例年、年末に向けて受注量が増加するので期待したい。
	○	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・ふるさと納税の注文が徐々に来っており、12月ギリギリまで注文が続くとみている。また、11～12月は催事も多く、売上増加に期待する。
	○	金融業（経営企画担当）	・取引先の業種にもよるが、多くの企業が年末に向けて業務が多忙となるようである。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・相変わらず見込みは未定である。クリスマスに向けて、ワークショップの予約に期待感はある。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・引き続き、新聞購読、折込出稿は前年比微減が予想される。旅行収入も国内旅行は前年比30%プラスが期待できるものの、海外旅行は前年同様に低調となる予想である。
	▲	食料品製造業（総務担当）	・原材料費の値上がりが続いている。
	▲	電気機械器具製造業（従業員）	・10月、11月と部材の値上げが再度あった。まだ完全に仕入価格に転嫁できていないが、原価の値上げにより、やや悪くなるのではないかと。
	▲	建設業（経営者）	・冬季になると、受注が落ち込みそうである。
	▲	金融業（調査担当）	・非製造業は観光関連を中心に需要の底堅さは続くものの、価格転嫁の動向や人手不足から慎重な見通しである。製造業では半導体や自動車関連需要の動向に弱さが残るため、やや悪化の見通しである。産業全体でも、やや悪化の慎重な見通しである。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	職業安定所（職員）	・半導体関連産業の回復が予想されているため、やや良くなる。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・衆議院議員選挙の結果がどう出るかだが、世界情勢も含めて、変わらないのではないかと。
	□	職業安定所（職員）	・観光シーズンや年末に向け消費行動は活発になるが、物価高騰に賃金上昇が追い付いていない。年金生活者も節約を強いられている状況であり、更に衆議院議員選挙の結果、米国大統領選挙の行方、中国経済の動向等、各種不安要素もあり、景気の先行きは不透明である。
	▲	職業安定所（職員）	・有効求人数の前年同月比が、6か月連続で減少している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	民間職業紹介機関（経営者）	・求人を含め引する製造業において、円安による原材料や製品の値上がりが続く、国内での製品販売への影響が著しい。輸出への方針転換の検討をしている。
	×	—	—

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)	◎	商店街（代表者）	・客の様子から良くなるもみる。
	◎	百貨店（販売促進担当）	・相次ぐ商品値上げの影響は限定的とみられる。来客は堅調であり、インバウンドも好調で、緩やかな上向きが続くと予測している。
	◎	タクシー運転手	・毎年、師走は1年で1番多忙になる。
	○	商店街（代表者）	・季節的にイベントが多くなるため、やや良くなる。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・人々は心情的に随分明るくなっている。
	○	スーパー（経営者）	・年末年始の来客数増加は間違いないと期待している。
	○	スーパー（店員）	・米を用いた商品や加工肉など値上げが予定されているが、他店より安く販売しているため売上は増加する。
	○	スーパー（販売担当）	・年末年始に向かって更に来客数が増えるため、売上も増える。
	○	コンビニ（店長）	・今年のクリスマスは平日なので、コンビニにとっては追い風となる。予約も前年と比べてやや多く入っている。
	○	コンビニ（商品企画担当）	・年末に向けて消費行動の活性化が見込まれる。
	○	衣料品専門店（店長）	・今後はある程度寒くなり、これまでの反動による売上増加が期待できる。このまま気温が下がらず物価上昇による買い控えも重なりと足元の状態が続く懸念もあるが、総合的には今より良くなる。
	○	衣料品専門店（売場担当）	・これから繁忙期の本番に入るため、礼服に頼らずスーツの販売を主力としていきたい。チラシや割引キャンペーンも増えていくので、年末から冬期並びに卒業式や入学式、就職活動等に向けて、力を入れていきたい。
	○	衣料品専門店（売場担当）	・年末は一時金の支給時期でもあり、足元よりも景気が良くなる。
	○	乗用車販売店（経営者）	・年始からの決算商談には動きが出ると予想される。
	○	乗用車販売店（従業員）	・これから年末にかけて買わなければならない商品がそれなりに増えてくる。購買に合わせて客の行動機会が増え市場の活気にもつながってほしい。しかし、新車販売に限ってみれば納車に時間が掛かっているため、回復は緩やかと考える。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・年明けに新型車が出そろふ。新年の雰囲気もあいまって販売量も増えるのではないかと期待している。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・物価高の影響次第だが、足元はおおむね堅調であるため、年内にはある程度前年比での回復が見込まれる。
	○	高級レストラン（経営企画）	・年末年始に向けて個人、法人客共に動きが前年並み以上になることを期待している。
	○	一般レストラン（従業員）	・最低賃金が上がり、多少は消費拡大につながってほしい。
	○	観光型ホテル（支配人）	・11月の予約は順調に伸びているが、12月は予断を許さない状況である。1月は正月休みの曜日並びが良く、予約の伸びが期待できる。
○	旅行代理店（経営者）	・12月には大きな選挙も終わり社会が落ち着く。地震、台風や大雨等であった影響も落ち着くとみられ、景気も少し上向く。	
○	タクシー運転手	・秋以降は結婚式やクリスマスのパーティー、忘年会等いろいろなイベントが間違いなく増えてくるため、少なからず良くなっていくと期待したい。	
○	テーマパーク（職員）	・10月に最低賃金の引上げがあり、やや良くなる。	
○	ゴルフ場（支配人）	・2か月先の入場者予約数は、前年同日比で同等に推移している。雪などの大きな影響がなければ、今よりも景気はやや良くなる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	○	パチンコ店（経営者）	・年末に向けては今より良くなるとみているが、乗年からは、増税が控えているためだんだん悪くなる。
	○	美容室（経営者）	・夏の間に来店がなかった分、年末に向けてカラーやパーマをする客が増えて忙しくなると期待している。
	□	商店街（代表者）	・物価高による販売量の減少は続くと考えるが、商店街への来客数は多いため変化はない。
	□	商店街（代表者）	・政治の不安定さや中東情勢の悪化等、景気上昇の希望を見いだせる要素はほとんどない。
	□	商店街（代表者）	・米の値段が前年より5割ぐらい上がっている。どうしても買わなくてはいけない物がこれほど上がってしまうと、ほかに買うことができなくなる。給料が急激に上がるわけでもないため、支出がほかに回らない状況が当分続く。
	□	一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	・衆議院選挙で与党が過半数を割り、米国大統領選挙の結果によっても景気が変わる可能性があり、先行きが見通しにくい。
	□	一般小売店〔結納品〕（経営者）	・来客数がなかなか上向かないため、商店街はもうしばらく景気の悪い状態が続く。
	□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・消費者のアルコール飲料離れが今後も続く。元々アルコール飲料を飲む人の減少傾向に加え、若い人のアルコール飲料離れがますます進んでいる。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・物価の上昇が止まらない限り、なかなか消費に金を回してもらえない。
	□	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・2～3か月では、足元の消費から変わらない。11月以降も値上げ商品が多いと聞き光熱費も高くなるため、個人消費で大きな買物をするマインドは起こらず、賢い使い方をしている。法人客、個人客共に減少はしないものの、財布のひもが固い今の状況から変わらないと考える。
	□	一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
	□	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・物価高のなか、販売につながる明るい材料が見当たらない。
	□	一般小売店〔書店〕（営業担当）	・円安が続くと悪くなるが、どちらに向くか分からない。
	□	百貨店（売場主任）	・10月のセールでは1万円程度の靴は余り売れず、1万5000円以上の商品が売れた。良い物を安く購入したい客が多く、百貨店で1万円では安すぎる印象なのか、その価格帯で用意した商品の動きが悪く売上予算を達成できなかった。今後は、多少価格が高くても品質の良い商品を提供する方針に変えなければいけない。
	□	百貨店（総務担当）	・衆議院選挙が終わり、与党の過半数割れで各種経済対策など今後の動向が非常に気になる。ガソリンや電力への補助の縮減に加え円安傾向で商品の値上がりも続くため、衣料品を中心とした不要不急の消費は一層の減少を想定している。
	□	百貨店（企画担当）	・気温が下がらないため衣料品の動きは特に鈍くなっているが、今後気温の低下に従って売上は伸びると考えている。ただし、消費マインドは一時と比べると落ち込んでおり、今後もこの傾向は続く。
	□	百貨店（営業担当）	・富裕層に関しては堅調に推移しており、物産展など食品は好調に推移しているが、季節物など主力商材の動きが鈍い。インバウンドの売上も伸びが鈍化傾向にあるため、今後状況が大きく好転していくことはない。
	□	百貨店（営業企画担当）	・物価や商品単価の上昇で、更なる買い控えにならないか懸念している。
	□	百貨店（販売担当）	・ギフト需要が高まるのは間違いなく、やや良くなる可能性はあるが、大きな変化までは期待できない。
	□	スーパー（店長）	・物価上昇を上回るくらい賃金が上昇する人も増えてくるため、生活困窮者との格差はより広がるが、全体としての変化はない。
	□	スーパー（店員）	・いろいろな物が値上がりしている以上、景気が良くなる要素がない。
	□	スーパー（販売担当）	・商品の値上げが続いているが、売上予算の達成も続いている。
	□	コンビニ（企画担当）	・景気が大きく後退する要因が生じなければ、今後も現状のまましばらく続くと予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・米や飲料の値上げで物価上昇を体感するが、景気に影響しているようにはみえない。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・暖かな気候は今後も続き、行楽地を中心に来客数が維持できそうである。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・この半年ほど夜間にたばこの購入者が増えているため、周囲の飲食店では来客数が増えている。年末に向かうにつれて更に増えるかは不明だが、足元の状況が続くと考えている。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・来客数は前年と比べて好調で、今の流れは継続する見込みである。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・衆議院選挙も終わり、国民のなかにはわずかな期待感があるものの、早急に政策対応がとられるか分からない。持ちこたえられない国民が心配である。自店としては、宅配新サービスの波に乗れるかどうか懸かっている。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（本部管理担当）	・衆議院選挙の結果、世の中では大きなターニングポイントが発生した。ただし、株価は比較的安定しており、各政党が発信する施策等をニュースで見ても、劇的に何かが変わるようにはみえない。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・元々客層の年齢が高いため、暑すぎて外出控えがあったが、そういう客の冬物商材での爆買いを期待している。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	・政治が安定するまでは、経済がどうなっていくのか先が見えない状態である。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・賃上げや減税により給与の手取額が増えても、食品などの値上げが続いているため実感が余りない。悪くはないが良くもならない。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・良くなる要素が見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・基本的には変わらないが、国の物価対策や米国の大統領選挙など影響が及びそうな要因はあるため、それらの動向次第と考える。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・政治情勢は不安定さを増し、米国の大統領選挙の行方次第で為替も大きく変動する可能性もあり、国内消費は様子見の様相である。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・明るい要素は特にないが、特別に悪い要因もないため、全体的に変わらないとみている。強い悲観も大きな期待もない。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・例年ならば年末に向かって景気が良くなるとみていたが、今は政治も不安定であるため、余り良くない状態がこのまま続く。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・今まで売れていたセダン系の車が売れなくなり、SUV系の車のみが売れる状況になっている。販売側からすると厳しい。
	<input type="checkbox"/>	住関連専門店（営業担当）	・建築資材の値上がりで全般にやや強含みな労務工賃で建築単価が上がっているため、新築案件でも改修現場でも予算の面で時間が掛かっている。ただし、小規模案件については予定どおりに改修工事や店舗の新規オープン等ができています。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・これからの政治や経済の動きに大きく左右されそうである。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店〔書籍〕（社員）	・例年は年末から年度末にかけて販売量増加が見込まれるが、国内外での選挙や為替による輸入商材の価格変動に影響される。
	<input type="checkbox"/>	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・ここに来て政治情勢が不安定になってきたため、様子見の動きになる可能性がある。
	<input type="checkbox"/>	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・値上げに対する消費者の警戒感は強いが、一方で、気に入った商品は変わらず購入する良い消費マインドが続いている。
	<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・2～3か月先は前年並みのペースで予約が入っているが、経済対策等がないと景気は減速してしまう。どのような政権運営になるにしても、景気対策をしない限り景気は良くならない。具体的な即効性のある施策を現実的な財政政策を持って行ってほしい。
	<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（従業員）	・予約数から判断している。
	<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（営業担当）	・先行きも変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（総支配人）	・宿泊の予約時期は早くなる傾向にあり、特に年末は催しがあるため予約が早い。様々な仕入コストが大幅に上がっているが、価格には転嫁できておらず、収益を圧迫している。
	<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・物価高騰が落ち着くまで、このままの状態であると考える。
	<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・年末の旅行は直前での客足を望みたいが、前年も直前の予約は余りなかったため年始の予約に期待している。コロナ禍以降はパスポートの取得率が落ち込んでおり、もっと日本人向けの価格で旅行商品が出てくるとよい。若い人にはもっと海外に旅行してほしい。
	<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	・年末年始の旅行申込みも好調に推移している。自然災害や感染症の流行が生じなければ、足元の景気の良さは継続するとみる。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（企画担当）	・物価上昇に慣れてきた感はあるものの、春先の賃上げ効果は物価上昇に伴い薄れてきており、現状維持が続く。
	<input type="checkbox"/>	テーマパーク（職員）	・これからは閑散期となるため、今以上は難しい。
	<input type="checkbox"/>	テーマパーク職員（総務担当）	・今後の気候状況が秋季イベントの成否を含め集客にかなり影響を与える。集客が回復傾向にあるか否かは、現時点ではまだ正確に判断できない。
	<input type="checkbox"/>	観光名所（案内係）	・天候の影響は懸念される。当地域でもインバウンドを対象とする商売が増えているが、良いのか悪いのかよく分からない。
	<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 〔鉄道会社〕（職員）	・インバウンドの利用客は回復傾向にあるものの、一般利用者数は伸び悩んでいる。
	<input type="checkbox"/>	美顔美容室（経営者）	・12月末までセット商品販売とキャンペーンがあるため、現状が続く。
	<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・物価の上昇に伴って賃金が上がっていないため、当分はこの状況が続く。
	<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・首相が変わり不安定なので、これからも変わらないとみる。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・秋が短く、すぐに販売量の落ち込む冬が来る。年末の繁忙期に影響がなければよい。
	<input type="checkbox"/>	設計事務所（経営者）	・種まき案件が多くなれば希望は持てるが、少ないままでは状況は変化しない。
	<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	・資材価格がかなり高騰しており、それに伴い販売価格の上昇もみられる。
	<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	・後押しになる要因が何もない。選挙も大事だが早々に景気対策を行う必要がある。
	<input type="checkbox"/>	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・1件当たり販売額の増加で売上は増えているが、顧客数はそれほど多くない。今後も1件当たりの販売額を増やすように努力する。
	<input type="checkbox"/>	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・衆議院選挙後の動きに期待したい。
	<input type="checkbox"/>	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・閑散期と原価高騰が重なると厳しい。
	<input checked="" type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・商品単価は上がってきているが、客の購買力はむしろ下がっている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・政治情勢が不安定になり、消費マインドも少し低下する可能性がある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	・寒くならないままハロウィンイベントが終わってしまった。季節商材の動きが悪く、この先も厳しいとみる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・ブラックフライデーも期待できない状況である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・年末年始の晴れの日には際物やごちそう等が売れると考えるが、11月には電気代の補助もなくなることで、日々の買い控えは更に進む。
	<input checked="" type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・担当カテゴリーの値上げが続くため、金額ベースでは上がるかもしれないが、数量ベースでは前年を下回る可能性が大きい。
	<input checked="" type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・令和の米騒動から2か月ほど経過したが、米の値段は高止まりであるため、客の平均購入額は減少している。9月の台風による影響で野菜の価格も下がる気配を見せない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・国内の政治情勢が不透明で、米国の大統領選も混迷を極めている。海外情勢も非常に不安定なことから流通面での不安が拭えず、今よりも悪くなる見込みである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	スーパー（総務）	・いまだ物価上昇は落ち着かず、消費者は必要最低限に支出を抑えている。年末以降の明るいニュースに期待する。
	▲	コンビニ（エリア担当）	・電気代は補助の終了に伴い上がるため、より一層財布のひもが固くなる。
	▲	衣料品専門店（販売企画担当）	・周りでいろいろ話を聞いてみると、買う物をかなり減らしている人が多い。
	▲	家電量販店（店員）	・客には良い商品が欲しいというニーズが余りみられない。
	▲	家電量販店（フランチャイズ経営者）	・猛暑のお陰で夏場にエアコンがよく売れた反動が出てきている。残暑も長く冬物の売行きも遅くなっている。暖冬という予報で冬物の販売量、期間共に縮減するため、季節商材の売行きが悪くなりそうである。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・新型車が発売されず、これといったPR材料もなく冬のボーナス商戦に入っていく。最近値引きだけでは購入しない客も多く、希望に沿える車種の品ぞろえの重要性を痛感する。来年まで予断を許さない状況である。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・人気車種が軒並み販売停止になっており、追い討ちを掛けるように新型車種、改良車種の発表が延期になっている。売りたいくても売れない状況が続いている。
	▲	旅行代理店（営業担当）	・団体旅行は、閑散期のため秋に比べると件数は減るが、旅行単価は例年に比べて上がっている。
	▲	タクシー運転手	・為替や株価の動向から判断する。
	▲	理美容室（経営者）	・客との話で、給料は少し上がったものの物価はそれ以上に上がっており大変だと聞く。
	▲	設計事務所（職員）	・新内閣は発足したが、今の政治情勢では経済対策を考える余裕はない。
	▲	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・物価高で材料費や人件費が上がり、施主が二の足を踏んでおり、1番頭の痛い問題である。利益を削ってまで仕事を受けることはできず、まだまだ厳しさが続く。
	×	百貨店（経理担当）	・中間所得層では引き続き物価高や金利上昇に備えた生活防衛的な買い控えが持続する。インバウンドについても、緩やかに進行する円高の影響を受けて、訪日客数、消費額共に落ち込むと考える。
	×	コンビニ（店長）	・大手メーカーが1月からの食パン等の値上げを発表したように、今後もまだ値上げが続くようなので、節約志向が続く。
	×	一般レストラン（経営者）	・家計における支出が収入を上回りそうな勢いで物価が上昇している。外食に掛ける金額は減っていくとみている。
	×	住宅販売会社（経営者）	・円安が進むと建築資材の購入価格が上がり住宅価格も上がるため、今後が心配である。
	×	住宅販売会社（従業員）	・住宅建築に対して、金利上昇等もあって客の要望が減り、夢から断念に変わってきた。今後の需要が見込めなくなっている。
企業 動向 関連 (東海)	◎	—	—
	○	窯業・土石製品製造業（社員）	・急に受注がストップした客は過剰に注文した在庫調整で、来月からは元のペースに戻る見込みである。
	○	一般機械器具製造業（営業担当）	・11月に米国大統領選挙の結果が明らかになれば、今後の方針を決めて設備投資を進める客が出てくる。
	○	輸送業（エリア担当）	・販売動向からみると、やや良くなる。
	○	輸送業（エリア担当）	・取扱品の配送は、高齢化とともに需要が増えることはあっても減ることはないため、足元の配送量減少は一時的と考える。ケータリングの配送は、新規客のリピーターがあり需要はまだ伸びる。
	○	金融業（従業員）	・年末に向けて帰省等による人の移動や購買意欲の高まりにより、景気は良くなる。
	○	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・政治情勢は流動的であるがそれなりに落ち着くであろう。経済面では、しばらく円高にはならないとみている。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・例年なら秋口に景気が良くなっていくが、足元の景気はやや悪く、2～3か月先もやや悪い状況がこのまま続く。
	□	化学工業（総務秘書）	・海外でのプロ野球選手の活躍は日本を明るくしている。衆議院選挙の結果は、新たな変化を求める国民の意思表示に見受けられる。与野党共に生活者を守る施策の内容に違いはなく、景気に悪い影響を及ぼすトピックは特段ない。
	□	金属製品製造業（従業員）	・仕事量が急に減るとは考えられないが、余り仕事が増えるようにもみえない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業 (経営管理担当)	・受注量、販売量の見込みより判断した。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業 (営業担当)	・良くなるような要素は見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業 (経営者)	・取引先の状況では、新たな設備投資は来年度からになるため、2～3か月先の状況は余り変わらない。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業 (経営者)	・販売価格が2割以上も上昇しており、販売量の増加は難しい。ただし、需要が戻った感触があり、価格の割に販売量がある。
	<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業 (品質管理担当)	・なかなか賃金が増えないため生活に困る。
	<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業 (管理担当)	・値上げラッシュをとめてほしい。いろいろな物が値上がりし過ぎである。
	<input type="checkbox"/>	建設業(役員)	・例年、年末年始に向けて客の動きは悪くなるので期待できない。
	<input type="checkbox"/>	輸送業(経営者)	・物価上昇で通過金額だけは維持しているが、荷量は全般的に下落基調が続くと見込まれる。
	<input type="checkbox"/>	輸送業(従業員)	・荷主からの情報等から、次に忙しくなるのは年末と年度末前後とみる。それ以外の動きは全く読めない状況であるが、経費はコンスタントに増えており悩ましい。
	<input type="checkbox"/>	輸送業(従業員)	・実質賃金が物価上昇に伴って上がっていない。国の経済対策も具体的にみえていない。
	<input type="checkbox"/>	輸送業(エリア担当)	・飲料商品は暑い時期や寒い時期に売れるが、気候の変化で売れるべき時期に売れなくなってくると、飲料メーカーは新商品の開発に取り組む必要がある。発売までには時間が掛かるため、短いスパンでの景気見通しとしては、この冬は売れるべき物が売れなくなる。他の業界でも同様で、景気の先行きは少し伸び悩む。
	<input type="checkbox"/>	通信業(法人営業担当)	・これまでの通信用途のままでは需要が劇的に上向きになる可能性は極めて低い。当面、企業は血を流しながらの現状維持が精一杯である。
	<input type="checkbox"/>	金融業(企画担当)	・物価上昇に見合った給与の上げがないと個人消費は活発化しないが、中小企業にとってはそのような状況ではない。当面現状の景気が続くとみられる。
	<input type="checkbox"/>	不動産業(経営者)	・今後は平年並みに晴れの日が多くなりそうで、外出や遠出をする人は増加傾向が続くとみる。今後の売上も増加していき前年を上回る状況となる。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店(制作担当)	・紙媒体と電波媒体の広告出稿量は若干増量の兆しがあるが、価格設定を抑えられているため、ほとんど変わらない。
	<input type="checkbox"/>	公認会計士	・衆議院選挙の結果を受けて、多くの企業は投資等について様子見がうかがえる。米国大統領選挙の結果も景気に大きく影響するとみられるが、現状からは大きく変わらない見込みである。政権政党が協力を求める政党によって、施策は変わる可能性がある。
	<input type="checkbox"/>	行政書士	・先行きも現状維持である。
	<input type="checkbox"/>	会計事務所(職員)	・首都圏でよく利用していたホテルの宿泊費が以前の3倍になっており、2倍程度で泊まれるホテルを探した。支払額が増えたのにホテルの質は下がり、残念な気分になった。消費においては今後もこうした傾向が続く。
	<input type="checkbox"/>	会計事務所(職員)	・客単価の下落は深刻化している。物価は、落ち着いてはきたが依然として高く、利益を削りながら目先の売上を確保している。減税や実質賃金の増加など国内の消費を刺激するような経済政策がなければ、このままの状態が続く。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食料品製造業(社員)	・政治情勢が不安定では有効な経済政策は期待できず、消費は一層慎重になる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食料品製造業(経営企画担当)	・需要期となる年末にかけても、急に消費動向が活発になる要素は見当たらない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食料品製造業(営業担当)	・原材料価格の高騰で販売価格が上がり、受注数は減少している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	電気機械器具製造業 (企画担当)	・衆議院選挙後の政治情勢によって経済政策の停滞を懸念している。米国の大統領選挙の結果によっては輸出産業に影響が出るかもしれない、注視する必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設業(経営者)	・新しい内閣は発足したが不安がある。信頼できる施策を示してほしい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	金融業（従業員）	・インバウンドで経済が回っているように見えるが、物価上昇、円安、新内閣発足に伴う政治情勢への不安等の要因が大きく、将来的には経済の不安が増している。
	▲	新聞販売店〔広告〕（店主）	・そろそろ年末ということもあり、保守的な考え方が先行している。ハロウィーンの効果も消費者の動向としては前年とほぼ変わらない。
	×	鉄鋼業（経営者）	・中小企業の製造業全体が減退している気がする。日本の中小企業によるものづくりは、相当な危機にさらされている。
	×	金属製品製造業（経営者）	・引き合いの減少が続いており、引き続き販売数量が減少傾向にある。
	×	通信業（法人営業担当）	・水道関係の事業者に話をうかがうと、新規需要は減っているが、修理や取替需要が減少分を補って仕事を回しているそうである。知人の建築業者は、仕事が減った隙間時間に新しくバイト等を見つけて働いている。周囲の様子からも景気は良くないと実感している。当地域では住宅の着工数が非常に減っている。
	×	通信業（総務担当）	・企業利益の家計への再配分や税負担緩和の仕組みが継続的ではないため、国民は生活に疲弊し、財布のひもがどんどん固くなっていく。
雇用 関連 (東海)	◎	*	*
	○	人材派遣会社（社員）	・法人利用の忘年会の予約状況が良く、更に良くなるとみる。
	□	人材派遣業（営業担当）	・衆議院選挙が終わり流れは変化すると見込まれるが、すぐには景気回復の兆しは望めない。抜本的かつ国民に好影響を与える改革が必須である。
	□	人材派遣会社（社員）	・足元での好転が上限と考える。
	□	アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車メーカーの生産では、海外輸出が伸びないため生産数においても厳しい状況が続く。残業が見込めず、他業種へ転職者が増加している。下期は自動車生産数の増加に期待したい。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・政治情勢は引き続き不安定のため、数か月では変化はしないとみている。業績が悪い企業がある一方で良い企業もあり、不透明な状況のなかでも2極化が進んでいる。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・期待はしたいが、具体的な好材料は思い付かない。
	□	職業安定所（所長）	・管内企業については、受注状況が安定しているところが多く、今後も継続して求人数の増加が見込まれる。
	□	職業安定所（職員）	・求人が増加傾向にあるのは一部の産業である。全体を見渡せばまだまだ原材料価格の高騰や最低賃金引上げの原資確保への苦慮等、経営に与える影響を懸念する声もあり、しばらくはまだ様子見の状況である。
	□	職業安定所（職員）	・求人倍率からは緩やかな回復傾向がみられるが、物価高や衆議院選挙の結果など不確実な要素がある。
	□	職業安定所（職員）	・今後のエネルギー価格の動向や最低賃金の引上げなどが経営や景気にどのような影響を及ぼすか、先行きが不透明である。
	□	職業安定所（雇用開発担当）	・新規求人数は、4か月連続して前年比減少が続いている。10月からの最低賃金改定に伴い、求人を一時的に控えている企業もある。
	□	民間職業紹介機関（営業担当）	・12月上旬ぐらいまでは年度替わりの転職を目指す潜在活動者が顕在化する。企業も厳選して採用し、競争が激化する見込みである。
	□	民間職業紹介機関（窓口担当）	・衆議院選挙後に一時的な好転は期待できるが、それほど持続力はないという世論から、この先の人材に対する需要も変わらない見込みである。
	□	学校〔専門学校〕（就職担当）	・前月まであった追加求人依頼も今月に入り落ち着き、今年度の求人は一段落した印象を受ける。この流れは前年とほぼ同じで、例年と変わらない採用状況である。
□	学校〔大学〕（就職担当）	・新卒生の求人について、短期的に変化があることは考えづらい。	
▲	人材派遣会社（営業担当）	・衆議院選挙の結果を経て政権運営が新たな形になると、混乱が避けられない。	
▲	人材派遣会社（営業担当）	・求職者数の減少傾向に加え、求人内容の条件や求めるスキルのかい離が大きく、採用難になっていく。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	職業安定所（職員）	・物価高や資源価格高騰などコストが上昇しているなかで、最低賃金の大幅上げが事業継続に大きな影響を及ぼし始め、廃業等が徐々に増えている。
	▲	職業安定所（職員）	・求人への動きには足踏みがみられる。
	×	—	—

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北陸)	◎	タクシー運転手	・この先、年末にかけて外出が増え、酒を飲む機会も多くなり、タクシーを利用する人が増えると考えられる。
	○	商店街（代表者）	・円高が進み一時はどうなるかと思ったが、円安に揺り戻しがあったので、引き続きインバウンドに期待を持てるようになった。反面、日本人の財布のひもは変わらず固いため、政府の政策に期待したい。
	○	衣料品専門店（経営者）	・既に12月の忘年会シーズンは店の予約が困難であるという話を聞くので、外に出る人が更に増えると考えられる。また、予報では12月は気温が低くなるようなので、衣料品の買換えが進むとみている。
	□	一般小売店〔精肉〕（店長）	・物価高などで消費が低下しているが、ゴルフ用景品などの贈答品の売上に期待をしている。
	□	一般小売店〔事務用品〕（店長）	・まだ価格上昇が続くと考えるため、客の買い控えも続くとみている。
	□	百貨店（売場主任）	・1月1日が能登半島地震の発生から1年となるため、初売りは例年と違ってめでたい雰囲気ではない。初売りは地域に寄り添いながらの営業となる見込みである。
	□	百貨店（販売担当）	・11月以降に気温低下が進んでも、ファッション需要が大幅には回復しないとみている。極寒予報を見越した防寒商材の売上拡大を期待しているが、予報が外れた場合は、セール期まで購入が延び、最大の商戦期である12月に苦戦すると考える。年末に外出需要が拡大すれば、更に物の消費は減少する可能性もある。
	□	コンビニ（店舗管理）	・好転する材料が見当たらない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・客の節約志向が定着しているため、急に売上が上がることはないと考えられる。
	□	家電量販店（店長）	・店舗での販売単価も下がっているが、ECサイトでの販売単価も大きく低下しており、全体の客単価が減少している。
	□	家電量販店（本部）	・来客数が前年と比べて良くない。また、長期予報では、今年の冬は降雪量が多くなりそうなので、来客数に影響が出ると考える。
	□	乗用車販売店（経営者）	・異業種交流会等に参加して客の状況について意見交換をしているが、変化がないため、しばらくは景気も変わらないとみている。
	□	乗用車販売店（従業員）	・特に大きな変化があるとは考えられない。
	□	乗用車販売店（役員）	・一部の車種で新車の配車が促進され、新車販売においては改善された部分もあるが、これから先もこの状況が続くかどうかは不透明である。
	□	自動車備品販売店（役員）	・気温が急に下がってきたが、冬季用品の動きは鈍化している。様々な販売イベントを実施しているが、客の反応は鈍く、改善の兆しすらない。
	□	住関連専門店（役員）	・物価高による家計圧迫で客の買い控えや低価格志向が定着している。販売数が大きく伸びない。
	□	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・直近の暖冬傾向、生活インフラコストの上昇により消費動向は鈍化しているが、国内投資の状況は活発になりつつあり、期待を持てる。
□	高級レストラン（スタッフ）	・景気が回復しつつあり、企業などの利用は継続するとみているが、個人利用は減少傾向が続いている。	
□	一般レストラン（店長）	・政局は先が読めず不安定である。行楽シーズンの入込はある程度見込めるが、プラスアルファの要因が見当たらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	一般レストラン（一括）	・10月の良い状態がそのまま年末年始まで継続するとみている。しかし、国内政治の不安定さや米国大統領選挙の結果によって、経済にも何らかの影響が出ると考えられ、年明けからは状況が不透明である。
	□	観光型旅館（経営者）	・11月以降も順調に団体、個人予約が入っている。
	□	観光型旅館（経理）	・能登半島地震以降、現在休業中で、再開までにかかなりの期間を要する見込みである。
	□	都市型ホテル（スタッフ）	・物価高で生活必需品の購入が優先され、旅行や外食に対しては節約志向がみられる。
	□	都市型ホテル（役員）	・行楽シーズンのレジャー客に加え、マラソン大会や学会などイベント開催による宿泊需要が見込まれるため、好調を維持するとみている。
	□	タクシー運転手	・景気が上向いているわけではないため、この後は出費を控える傾向になるとみている。特にタクシーのようなぜいたく費に当たるものへの出費は厳しくなると考える。
	□	通信会社（職員）	・景気が上向く要素が特にならない。
	□	通信会社（営業担当）	・販売数と乗客数は前年と比べて大きく変わらず、景気が大きく変化する要素が見当たらない。
	□	通信会社（役員）	・年末商戦が始まる時期ではあるが、契約数は前年と同水準で推移するとみている。
	□	通信会社（役員）	・景気の大きな変動要因は見当たらない。
	□	テーマパーク（役員）	・予約状況をみていると、2～3か月先も現在の状態が続くと考える。
	□	パチンコ店（経理）	・景気が変わる兆しはないが、衆議院選挙の結果によっては政策の変更があり、景気動向に影響があるかもしれない。
	□	その他レジャー施設 [スポーツクラブ] (総支配人)	・季節的に乗客数が減少してくる時期だが、この夏の異常な暑さから解放されてこれから利用者数が伸びてくることも想定できるため、全体としては変わらないとみている。
	□	住宅販売会社（従業員）	・需要は特に変化がなく、契約件数は横ばいだが、1件当たりの契約金額が高くなっており、着実に売上は上がっている。
	□	住宅販売会社（従業員）	・能登半島地震の影響で奥能登での受注や商談が増えているが、施工体制が安定せず、完工に向けて不安材料が多い。
	□	住宅販売会社（営業）	・良くも悪くも変化をもたらす要素が思い当たらない。
	▲	商店街（代表者）	・今後に期待したいところだが、やや悪くなるとみている。
	▲	百貨店（販売促進担当）	・お歳暮やクリスマスなどの年末需要で売上を伸ばすタイミングだが、全体的に客の低価格志向が強く、売上を伸ばせる要素が少ない。富裕層向けにラグジュアリーブランドや資産価値のある美術品の企画を実施する予定だが、厳しい状況が続くとみている。
	▲	スーパー（店長）	・物価はまだ上がる傾向にある。時給上昇により給与は増えつつあるが、税制上の103万円の壁、社会保険における130万円の壁が変わらないため、労働者の時間短縮や出勤日数が減少するだけで根本的な解決にはなっておらず、店の負担が増えている。
	▲	スーパー（仕入担当）	・能登半島地震の影響で人口の流出、帰省客の減少が懸念され、年末に向けた商材の予約や当日の売上に不安がある。
	▲	スーパー（店舗管理）	・商品の更なる値上げが控えているため、景気は悪くなるとみている。
	▲	衣料品専門店（経営者）	・アパレル産業の婦人服の売上は、社会情勢や気候変動の影響を大きく受ける。これまでの状況から景気回復は余り期待できない。
	▲	家電量販店（店長）	・暖冬になると冬物の家電が苦戦しそうである。
	▲	乗用車販売店（総務担当）	・物価上昇による生活の苦しさを訴える声が、消費者から聞こえてくるが増えている。
	▲	その他専門店 [酒] (経営者)	・消費者の収入が増えない限り、景気の悪いこの状態は永遠に続くと考えられる。
	▲	競輪場（職員）	・物価高により、消費動向が低減している。
	▲	美容室（経営者）	・衆議院選挙では政権政党が敗退する可能性が高くなっている。しばらくは消費者の購買意欲が上がらないとみている。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・能登豪雨による被害が景気全体に影響を及ぼし、景気回復のめどが立たない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	商店街（代表者）	・応援割やプレミアム付商品券などに慣れすぎて、割引がないなら買い控えるという客の雰囲気を強く感じる。消費自体を底上げするような政策が必要だと考える。
	×	一般小売店〔書籍〕（従業員）	・多品目で値上がりがあり、景気が良くなる状況ではない。
	×	コンビニ（店長）	・経費削減が当面の課題となる。少しでも無駄な使い方をすると赤字になってしまうため、景気は確実に悪化すると考える。来年度に無人化に向けた機器の更新を実施し、従業員数を削減する予定である。売上は犠牲になるが、事業所の収支はプラスになると見込んでいる。
企業 動向 関連	◎	—	—
(北陸)	○	食料品製造業（経営企画）	・能登半島地震で被災したダメージはまだしばらく消えそうにないが、年末年始の需要期を迎え、一時的な受注量の増加が期待できるとみている。
	○	化学工業（総務担当）	・今後は売上が増加傾向になるとみている。
	○	一般機械器具製造業（経理担当）	・自動車関連部品は、新興国向けと北米向けが伸びてきており、輸出中心に売上が増加傾向である。産業機械用部品は、国内需要が低調な一方で、北米向けの需要が伸びてきていることから、こちらも輸出中心に売上が増加していく見込みである。
	○	不動産業（経営者）	・個人客、法人客共に、問合せが少しずつ増えている。
	○	税理士（所長）	・衆議院選挙の影響がどこまであるかは分からないが、政権政党が大敗し、何かが変わりそうな期待感がある。年末に向けて飲食業や観光業は更に業績が伸びるとみている。
	□	金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の分の注文の入り具合から、景気は変わらないとみている。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・車載関連製品の売上の伸びはある程度期待できるものの、民生品と産業機器向け製品の動向については全く先の見えない状況が続いている。総合的に考えると、ここ数か月での伸びは期待できない。
	□	建設業（経営者）	・年末にかけて完成工事が増えるものの、大型工事の収支は芳しくないかとみている。
	□	輸送業（経理）	・物価高の傾向は変わらず、むしろ更に上昇する可能性が否定できないため、合理化の策を常に考えておかなければならない状況である。
	□	通信業（営業）	・選挙の情勢により変動要素はあるが、投資意欲は引き続き高いため、現状レベルの好調は維持するとみている。
	□	金融業（融資担当）	・衆議院選挙や米国大統領選挙の結果などによっては、株価や為替が変動し、取引先の受注や業績に影響が出てくる可能性がある。
	□	司法書士	・駅周辺での新規営業や建物建築もあるが、一方で閉店、退去、取壊しの事例も多い。
	▲	繊維工業（総括）	・一部には在庫調整が一段落し明るい兆しが出始めたところ期待する声があるものの、引き続き先行きが不透明だという声が多く、ほとんどである。
	▲	一般機械器具製造業（総務担当）	・機械の国内向け受注が前年同月と比べて減少し続けており、この先も復調する要素が見当たらない。
	▲	建設業（役員）	・人手不足のため、先行きが懸念される。
	▲	金融業（融資担当）	・コロナ禍を底に売上は回復傾向にあるが、原料、物流コスト、人件費等の上昇を売上で吸収できていない企業が多い。そのようななかで、国内外の政治状況、ロシアやイスラエルの不安定な情勢といった悪材料が多く、景気は悪化すると考える。
×	—	—	
雇用 関連	◎	—	—
(北陸)	○	人材派遣会社（役員）	・しばらく止まっていた自動車部品製造企業からの派遣依頼が復活したので、やや景気が上向くと考えている。
	○	職業安定所（職員）	・求人数は横ばいだが、求職者数の減少は続いている。そのなかで企業の採用活動は広域になり、高齢者等幅広い年齢層の採用を検討するようになっている。
	□	人材派遣会社（社員）	・欠員補充と期間限定の求人はあるが、新規や増員等の積極的な案件は変わらず少ない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	新聞社〔求人広告〕 (営業)	・実態として最低賃金を守れる企業がどの程度あるのかが読めず、衆議院選挙を経た新政権の景気対策もみえないため、良くなるとも悪くなるともいえない。
	□	職業安定所(職員)	・求職者数、求人倍率等に目立った変動や新たな動きの兆候はみられない。原材料費、燃料費、光熱費等の高騰や最低賃金の大幅な引上げなど企業経営環境は依然として厳しい。
	□	民間職業紹介機関(経営者)	・求人動きに変わりがなく、求職者数は頭打ち状態で、中小企業における人手不足が続いている。
	□	学校〔大学〕(就職担当)	・物価上昇、円安傾向、能登半島地震と奥能登豪雨の影響が続いており、状況が好転する要素や気配がない。
	▲	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・求人広告総数の見込みが減少している。
	▲	職業安定所(職員)	・業績悪化による事業縮小や事業所廃止の情報が増えてきている。
	×	—	—

8. 近畿(地域別調査機関:リソナ総合研究所株式会社)

(—:回答が存在しない、*:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)	◎	その他レジャー施設 〔球場〕(経理担当)	・10月はプロ野球の試合が開催されず、乗場者数は前年比で減少しているが、11月から来年1月には多くのコンサートが開催されるため、集客の増加を予想している。
	○	一般小売店〔花〕(経営者)	・年末に向かって行事も増え、購買意欲が高まる時期となる。生活必需品の値上げが気になるものの、多少の景気回復が期待できる。
	○	一般小売店〔珈琲〕 (経営者)	・直営店の利用者を見ると、円安の影響か、欧米からの旅行者が急増している。
	○	一般小売店〔衣服〕 (経営者)	・気温が下がり、秋の行楽シーズンやクリスマスに向けて、ニットやコートなどの高額商品が売れる時期となる。今年は暑い時期が長く、秋物商材を余り購入していない人が多い。夏服からいきなり冬服に移る客も多いため、冬物商材のまとめ買いが期待される。
	○	一般小売店〔鮮魚〕 (営業担当)	・インバウンドの団体客の予約が入っているなど、少し明るい兆しがみられるが、国内需要は相変わらず停滞気味である。
	○	一般小売店〔菓子〕 (営業担当)	・天候が落ち着き、人の動きも活発になれば、商品の動きが良くなることを期待している。
	○	百貨店(売場マネージャー)	・気温の低下とともに、季節商材の動きが活発化することで、紅葉シーズンやクリスマス、年末商戦の盛り上がり期待できる。
	○	百貨店(販促担当)	・今月は異常気象の影響が顕著であったが、今後は通常気温に戻ることで、需要もある程度回復すると予想される。ただし、寒い時期が減ることで、ファッション関連の需要にどう影響するのか、値下げのタイミングを含めて、今後の気温の推移を元に検討する必要がある。
	○	百貨店(マネージャー)	・コロナ禍の収束後、初めてとなった前年のクリスマスや年末年始に対し、今年の需要は更に伸びることが予想される。今年のお盆期間の売上も好調であったため、期待がもてる。
	○	百貨店(外商担当)	・中国からの旅行者が増えているため、インバウンド売上は再び増加に転じる可能性が高い。国内の富裕層を中心とした客も、高級海外ブランドや美術品への旺盛な需要が見込まれる。
	○	スーパー(企画)	・今後は気温の低下とともに、秋冬商材の動きが良くなることが期待される。
	○	コンビニ(経営者)	・値上げの発表された商品が増えたため、今後は客単価が少し上昇する見込みである。
	○	コンビニ(店員)	・年末年始の長期休暇もあるため、売上は少し増える。
	○	家電量販店(経営者)	・補助金効果と冬物商戦の盛り上がりで、省エネ型給湯器や浴室リフォームの販売量の増加を期待している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	○	家電量販店（店員）	・決算終了後の下半期の10月は、単価の高いエアコンの販売量が伸びないため、別の家電で売上を伸ばす必要があるが、冷蔵庫や洗濯機の値上がりで、購入には慎重な動きがみられる。ただし、11月から12月はボーナスの支給もあるため、少しだけ景気は上向くと予想される。
	○	家電量販店（営業担当）	・狭い業界であり、1つの競合先の動きが変われば、予想以上の影響があることを実感している。変化に合わせた対応をとることで、実績の若干の増加につなげることができる。
	○	乗用車販売店（経営者）	・少しずつ新車の販売予約も増え、一般修理も予約がたくさん入っている。
	○	乗用車販売店（販売担当）	・12月商戦に向けて、客の動きが活発になる時期であるため、どれだけ販売促進策を実施できるかが重要となる。
	○	乗用車販売店（支店長）	・年内は良くなると予想されるが、来年の動きは不透明である。
	○	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・年末商戦にかけており、ボーナス支給や賃金の増加を背景に、新商品の発売などによって差別化を図ることで、新規客の獲得が期待される。
	○	高級レストラン（スタッフ）	・ここから年末までは、予約数や客単価が上向くことを期待している。
	○	高級レストラン（企画）	・インバウンドの来客数、客単価が引き続き上向いており、国内旅行の需要減をカバーする状態が続く。
	○	一般レストラン（店員）	・年末に向けてのおせちの間合せが、例年よりも早まっている。予約が前年よりも増えることを期待している。
	○	一般レストラン（企画）	・来客数の回復が好材料となっているが、利益面では引き続き材料費が高いほか、10月からの最低賃金の上げで人件費が増え続けている。必要な費用ではあるが、経営が圧迫されている。
	○	観光型ホテル（経営者）	・11月以降の3か月の先行予約状況も、団体客、個人客共に好調である。12月は大人数の忘年会などは減少傾向であるが、少人数のグループや個人客の動きは引き続き活発である。
	○	観光型旅館（経営者）	・政局も落ち着くことで、消費が上向くことを期待したい。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・年末年始の需要は例年並みであり、レストランと併せた企画での、高単価の商品も想定どおりの販売となっている。
	○	都市型ホテル（客室担当）	・客室稼働率、客単価共に、順調に推移している。
	○	都市型ホテル（客室担当）	・主に季節的な要素により、やや良くなると予想される。
	○	都市型ホテル（販売促進担当）	・今は好調を維持できており、今後の客室予約状況をみても、上昇の波に乗っている。レストランは先行き不透明であるが、客が選ぶメニューの料金もアップしているなど、何もなければ好調を維持できる。
	○	タクシー運転手	・季節的な動きにかなり左右される。今の時期は歩いて汗をかかないが、飲食店で飲酒する機会が増えるため、少しずつ利用が増えると予想される。
	○	通信会社（社員）	・年末年始の冬物商戦では、総販売額がアップする見込みである。
	○	ゴルフ場（支配人）	・来場者数が季節要因の影響を受ける時期となるが、予約状況は順調であるため、今後はやや良くなる。
	○	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・冬になれば、雪目当てのインバウンドの増加が予想される。
	□	商店街（代表者）	・客の意識が安値志向となっているため、大きな変化は見込めない。
	□	一般小売店〔時計〕（経営者）	・諸物価の上昇により、暮らしにくくなった実感があるほか、客からは治安が悪くなったとの声も増えている。今の景気が良くないことを示したものであり、今後についても期待はできない。
	□	一般小売店〔化粧品〕（経営者）	・商材が枯渇するなか、化粧品は生産に半年掛かるため、年内の供給は難しい。結果として、しばらくは品切れ状態で推移することが予想される。ただし、クリスマス向けのコフレ商材はふんだんにあるため、ギフトマーケットには期待を持てる。客の購買意欲もそこまで下がっていないと考えられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	一般小売店〔衣服〕 (経営者)	・ 今後は政治がどのように落ち着くのか見通せないほか、米大統領選挙の結果による日本経済への影響も分からない。先行きは不透明ななか、決して楽観視できず、不安ばかりが募る。
	<input type="checkbox"/>	一般小売店〔野菜〕 (店長)	・ 衆議院選挙での政権与党の敗北で、景気が冷え込むなか、今後は米大統領選挙の結果次第で、景気は更に悪くなる。
	<input type="checkbox"/>	一般小売店〔呉服〕 (店員)	・ ようやく客が店外催事に参加してくれるようになったが、急激に良くなるとは予想していない。これからも催事に少しずつ客が参加するようになれば、景気も良くなる。
	<input type="checkbox"/>	百貨店 (企画担当)	・ 好調であったラグジュアリー商品も他地区では陰りが出てきたと聞いている。当社はまだ売上を維持しているが、いつまでも続くとは考えていない。また、10月に大きく悪化した衣料品が、今後劇的に回復してくるとも考えられない。
	<input type="checkbox"/>	百貨店 (企画担当)	・ 為替と株価の変化による影響が大きいため、衆議院選挙後の動きに注目している。
	<input type="checkbox"/>	百貨店 (サービス担当)	・ 年末商戦の開始による来客数の増加に加え、集客催事の強化やショップのリニューアルオープン効果により、売上の前年実績は確保できそうである。
	<input type="checkbox"/>	百貨店 (管理担当)	・ 競合の激化や、インバウンドの頭打ちが予想されるなど、今後は一進一退の状況が続く。
	<input type="checkbox"/>	百貨店 (販売推進担当)	・ 涼しくなってきた10月下旬も、秋物衣料の動きは低調であった。こうした動きをみていると、冬物コートなどの動きにも余り期待できない。
	<input type="checkbox"/>	百貨店 (外商担当)	・ インバウンドの動きは、様々な地域に分散する傾向がみられ、これから更に増える見込みは薄い。国内の富裕層についても、現状維持の傾向が続くと見込まれる。
	<input type="checkbox"/>	百貨店 (マネージャー)	・ これまで良かった要因は来街者の増加であり、その中心はインバウンドであった。ただし、これらは数か月前から落ち着きをみせ始めており、直近に大きく増減することはない。中国人客の増加は予想されるものの、中間層の増加が中心となるため、百貨店業界に大きなインパクトを与えるものではない。
	<input type="checkbox"/>	百貨店 (商品担当)	・ 国内外の選挙結果や、為替相場のほか、海外情勢の変化に左右される状況が続く。
	<input type="checkbox"/>	百貨店 (宣伝担当)	・ 冬物の実需期となるため、客の購買意欲が高まることが期待されるものの、賃上げ効果の顕在化は遅れている。さらに、関西はなかなか気温が下がらないこともあり、国内客の売上は今後も苦戦が予想されるなか、インバウンド頼みとなる。
	<input type="checkbox"/>	百貨店 (マネージャー)	・ インバウンド消費の一巡で大きな期待はもてないが、堅調には推移すると予想される。富裕層の消費も、クリスマスや年末商戦で特選品や時計などが一定の動きとなりそうである。中間層はコストパフォーマンスを意識し、選択消費が続くと予想されるなか、おせちの受注の出足は良いため、消費を喚起する仕掛けや内容が問われる。
	<input type="checkbox"/>	百貨店 (売場マネージャー)	・ 10月に入っても気温の高い状態が続いているため、ファッション関係の動きが厳しくなると予想される。特に、コートやアウター、マフラー、ストール、帽子などへの影響が出ており、11月中旬までは現状の傾向が続く見込みである。また消費環境としても、衆議院選挙や米大統領選挙などの外的要因の影響が予想される。
	<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・ 食品スーパーでの消費の増加につながる要素が見当たらないため、厳しい状況が続く。
	<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・ 物価の上昇に賃金の上昇が追い付かず、特に衣料品関係の厳しい状況は続くと予想される。
	<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・ 現状は季節商材の動きが非常に悪い。今後は気温次第で販売状況は変化するものの、衣料品を中心とした季節商材は定価販売の期間が短くなり、利益の減少につながる事が予想される。
	<input type="checkbox"/>	スーパー (店員)	・ 例年どおり寒くなれば、鍋物野菜も売れ始める。ただし、暑さが続けば夏物野菜の価格も高いままとなるため、その場合は厳しい。
	<input type="checkbox"/>	スーパー (企画担当)	・ 競合先の出店もなく、来客数、売上共に大きな変化はないと予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	スーパー（経理担当）	・国政の混乱が経済政策にどのような影響を及ぼすかは不透明であるが、ばらまきの傾向が強まりそうである。中長期的には悪影響があるものの、短期的には景気にとってプラスになると予想される。
	□	スーパー（企画）	・今後2～3か月は、最低賃金や給与のアップの予定はなく、新たな補助金などもないため、状況は変わらない。
	□	コンビニ（経営者）	・インバウンドの最近の傾向として、連泊が増えている。また、寒くなってくるため、おでんや肉まんなどの温かい商品を中心に、多く買ってもらえるように工夫していく。
	□	コンビニ（経営者）	・当面は暇な状況が続くことが懸念されるなか、11月は景気の回復を期待したい。
	□	コンビニ（店長）	・傾向としては、様々な商品の価格が上がるなか、求めやすい価格の商品に客が流れるのは仕方がない。高額な商品に手が伸びることは期待しにくい。
	□	コンビニ（店員）	・給料も上がっていないため、自分たちで何とか対策を採るしかない客も多い。削減が可能な出費を減らしながら、日々やりくりしている。
	□	コンビニ（店員）	・この先も景気が上向く要素は見当たらない。
	□	コンビニ（店員）	・手作りパンやプライベートブランド商品、弁当などの新商品は出ているが、価格が以前よりも上がり、客からもその指摘を受けている。様々な事情で値上げは仕方がないものの、物価上昇の流れに、自分も客もついていけない。
	□	衣料品専門店（店長）	・価格の上昇などの影響はまだ続く一方、収入は上がらないという声も多い。政治の動向も踏まえ、もう少し長いスパンで判断する必要がある。
	□	家電量販店（店員）	・どの商品も価格が上がり続けているが、手取りが増えないため、買い控えが続いている。今後も劇的に変わることはない。
	□	家電量販店（企画担当）	・住宅省エネ2024年キャンペーンにより、省エネ型給湯器が売れている。これから冬物商材が動き出すなか、今年は来客数の増加が見込めないため、浴室のリフォームや太陽光発電、蓄電池などのセット提案、グレードの高い商品への振替販売を行い、単価を上げていく必要がある。
	□	乗用車販売店（経営者）	・新車の生産、販売の動きは一巡したと考えられる。今後は生産調整もあり、市場では品薄状態が続くと予想される。
	□	乗用車販売店（販売担当）	・生産台数に応じた販売量となっており、今後も当面は安定が続く。
	□	その他専門店〔宝石〕（経営者）	・円安の影響で物価の上昇が続いている。3か月後もこの状態が続くため、現状と変わらない。
	□	その他専門店〔食品〕（経営者）	・インフレに慣れてくるのは、もう少し全体の所得が上がってからである。
	□	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・今後は衆議院選挙後の政局の動向や、為替、株価の動きなど不透明な部分は多いが、景気は現在と大きく変わらないと予想される。
	□	その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・客の年齢層が相変わらず高いなか、今後も若年層が宝飾品に興味を持つ可能性は低い。
	□	その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・化粧品やスキンケア用品は順調に動いているが、気温の低下に伴う、秋冬商材や風邪薬などの売上の変化はない。一方、食品の値上げで客単価の上昇や買上点数の減少が進んでおり、今後も同様の動きが続く。
	□	その他小売〔ショッピングセンター〕（総括）	・衆議院選挙、米国大統領選挙には不確定要素が多く、結果次第で状況が変わることになる。国内客の消費も先行きは不透明ななか、大きく消費が増えるイメージはもてない。
	□	その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・暖冬のため、冬用の作業服やユニフォームなどの売上は期待できないが、マスクなどの販売増でカバーする。
	□	一般レストラン（経営者）	・物価の上昇がまだ続くなか、高齢者は年金生活であるため、買い控えの傾向が続く。
	□	一般レストラン（経営者）	・人材確保の難しさや物価の上昇、安定供給が難しい材料の仕入れなどで、まだ振り回されることが多く、景気が上を向いているとは言い難い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・良くなることはなく、悪いままの状態推移する。ただし、実感としては値上げに慣れてきた部分もあり、以前と比べると危機感が薄れてきている。金利の変動もあり、これからも生活は徐々に苦しくなることが予想される。
	□	観光型旅館（経営者）	・物価の上昇や品不足、人手不足といった問題に対し、政治的に手が打てなければ、今の状況は打開できない。
	□	都市型ホテル（管理担当）	・冬のオフシーズンの予約も徐々に入り、まだ需要があると考えられる。
	□	都市型ホテル（総務担当）	・予約状況を見ると、宿泊利用は引き続き堅調である。一方、宴会は年末年始の利用を期待しているが、レストランは特にディナー帯の集客が苦戦しそうである。
	□	旅行代理店（支店長）	・今年の年末年始は日並びが良く、連休になるため、客の旅行マインドも高まると期待される。ただし、まだその気配はなく、状況に大きな変化はない。
	□	通信会社（役員）	・客の需要を喚起するような商品やサービスはないが、底堅く一定の需要は見込まれる。
	□	通信会社（営業担当）	・インフラとしてのサービスであるため、短期での景気の影響は受けにくい。
	□	観光名所（企画担当）	・インバウンドを含む来場者がほぼ戻り、3か月前と同様の推移が続くと予想される。
	□	遊園地（経営者）	・現時点では、個人消費に大きな影響を与える要素が見当たらない。衆議院選挙もあり、消費喚起策などが出てくるのは、もう少し先になると予想している。
	□	競輪場（職員）	・例年であれば、年末年始の時期は良くなる傾向にあるが、不安定な政局や物価の上昇を考えると、状況は変わらない。
	□	競艇場（職員）	・全国発売のSG、G1競走の売上は、インターネット投票を中心に好調を維持している。今後も大きな変化はなく、安定的な推移が予想される。さらに、年末年始にはビッグレースが予定されているため、若干の伸びが期待できる。
	□	その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・様々な場面で、モノの価格の上昇が痛感される。当社の事業では、売上、経費共に増えているが、利益は減っている。経費をいかに抑えるかを工夫し、少しでも利益を増やす努力が求められている。
	□	その他レジャー〔スポーツ施設〕（業務担当）	・衆議院選挙後の政治動向によって大きく変わる。
	□	その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・物価の上昇が止まらず、不景気のなかで、教育費は最低限の支出で対応する意図がみられる。
	□	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・景気がどうなるか、実際のところは推測が難しい。
	□	その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・政治を変えなければ生活が変わらないとすれば、この先も変わらない。
	▲	百貨店（売場主任）	・現時点で客から前向きな声がないほか、取引先も更なる合理化を進めており、退店の話題が多い。
	▲	百貨店（売場主任）	・中東情勢の不安定化によるエネルギー価格の高騰や、ウクライナ情勢の混迷によるインフレ懸念が絶えないなか、賃金の上昇が追い付いていない。
	▲	百貨店（企画担当）	・11月も気温が高めとなる予想であり、秋冬衣料が動くことで売上をばん回する期待は薄い。一方、先日の衆議院選挙の結果に伴い、先行きの不透明感が強まったことで、消費の活性化も不透明となっている。
	▲	百貨店（商品担当）	・今秋の新ショップの集客効果も数日のみで、店全体への効果も限定的である。集客イベントも人は集まるが、売上全体への影響は限定的となっている。購買意欲の低下がみられるなか、唯一の例外は物産催事であり、北海道や九州などの食に特化したものが人気となっている。
	▲	スーパー（経営者）	・燃料や資材価格、製品の原価が高騰している影響で、消費者の買い控えが目立つ。
	▲	スーパー（企画担当）	・競合店が2店舗オープンする予定であり、関連店舗の売上減少は否めない。今のうちに店舗の管理レベルを上げておき、リピーターを増やす準備を進めておくことが必要である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	スーパー（販売促進担当）	・気温が低下してくれば、商品も動くようになるが、冬物商材の動き出しが遅れている分、販売期間としては短くなる。それに伴い、10月の落ち込みを回収するほどの伸びは見込めない。
	▲	スーパー（開発担当）	・毎月の物価上昇の影響で消費が冷え込んでいる。賃金が上がらないなかでの物価の上昇は厳しい。
	▲	スーパー（社員）	・今年に入ってから、商品価格の上昇と、客の買上点数の減少傾向が続いている。今月から社会保険料負担も増えており、当面は厳しい状況が続くと予想される。
	▲	衣料品専門店（経営者）	・家賃の下落が止まらない。空き店舗が埋まっても、すぐに新たな空き店舗が発生する。最近では周辺で買取り店の出店が相次いでおり、個人の持ち物を現金化する商売が好調のようである。その一方で、新しい商品を販売する店が減少している。
	▲	衣料品専門店（店員）	・業界は閑散期に入るため、景気はやや悪くなる。
	▲	家電量販店（店員）	・新内閣発足を経て、これからどうなるのかが見通せない。先行きには不安しかないなか、景気は悪くなると予想される。必要最低限の商品しか購入に至らないなど、厳しい状況は今後も変わらない。
	▲	乗用車販売店（経営者）	・消費者物価が予想以上に上昇している。
	▲	乗用車販売店（役員）	・車両単価が上昇するなか、販売台数は横ばいか微増となっているため、ここ数か月は売上が好調に推移してきた。ただし、数か月先の受注台数は少ないほか、限定車の人気による恩恵も薄くなっている。国産車の生産が回復しつつあり、高級輸入車との競合も少ないとはいえ、こうした状況の影響が懸念される。
	▲	住関連専門店（店長）	・来年の購入計画を相談に来る新規客が増える時期にもかかわらず、来客数や問合せが前年よりも減っている。その一方、予算が少ない客の割合は高まっている。
	▲	都市型ホテル（フロント）	・11月から12月は引き続き好調となるが、閑散期である来年1月はインバウンドが減少し、国内客の動きも鈍くなる。
	▲	都市型ホテル（客室担当）	・需要の閑散期に入るため、客室稼働率が下がる。円安と海外需要で、客室の販売価格は比較的高い水準で推移しているが、先行予約は伸び悩んでいる。仮に低価格商品で販売室数を増やすと、経費とのバランスがとれなくなるなど対応が難しい。
	▲	旅行代理店（店長）	・本来であれば、カニを中心とした冬の味覚目的の旅行が増える時期であるが、日帰りを含めて価格が高騰しているほか、残暑が続いた影響もあり、販売が伸び悩んでいる。また、衆議院選挙で政権与党が大敗し、政治的混乱につながるため、漠然とした先行き不安による個人消費の停滞も予想される。
	▲	旅行代理店（役員）	・衆議院選挙の影響もあって人の動きが少なくなり、旅行需要にも影響が出ると予想される。また、再び円安の動きが出てきたため、海外旅行への影響が懸念される。
	▲	タクシー運転手	・老後の不安や、政治への不安に加え、安定や余裕、ゆとりが少なくなっている。こうした不安要素が、生活を守る動きにつながっている。
	▲	通信会社（経営者）	・政情不安により金融政策も停滞することになる。
	▲	通信会社（社員）	・コロナ禍を経て、まだ需要が戻ったとはいえない。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・依然として建築コストは上昇しており、利益の減少も続いている。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・衆議院選挙で政権与党が敗北した影響が出ると予想される。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・新築分譲マンションの販売に関しては、金利の上昇や工事費の高騰といった逆風のなか、売行きはますます鈍化しそうである。
	▲	住宅販売会社（総務担当）	・価格の上昇に伴って買い控えが発生するなど、様子見の客が増えている。
	▲	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・建築単価の上昇による消費マインドの低下傾向は、当面続くと予想される。
	▲	その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・衆議院選挙の結果を受けて、政権運営が不安定となることで、消費者の心理面にも悪影響を及ぼす。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	商店街（経営者）	・物価の上昇による悪影響が出る。
	×	一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	・米国大統領選挙の影響で悪くなることが予想される。
	×	衣料品専門店（経営者）	・気候条件や周囲の状況が悪く、現状は客が買物する気になっていない。
	×	家電量販店（店員）	・様々な商品価格の上昇が、不調の大きな要因である。補助金などの対策は、国、自治体が実施するため安心感があり、そのときは一定の効果が出るものの、やはり一定の層しか動かない。また、需要の早期刈取りにつながるため、期間終了後は需要の枯渇が避けられない。
	×	その他飲食〔ジャズバー〕（店員）	・物価の上昇で、節約する人が増えてきている。
	×	その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・オイルマッサージで服を脱ぐため、夏よりも冬の方が来客数は減少する。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	木材木製品製造業（経営者）	・為替は再び円安傾向にあるが、冬の期間は取扱商材の需要が増えるため、先行きには期待している。現在は在庫が増えるなど厳しい状況であるものの、改善が進む予定である。
	◎	化学工業（企画担当）	・インバウンド需要が堅調なほか、年末年始は食品需要の最盛期となるため、先行きが期待される。
	○	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・年末年始に向けてイベントの動きも活発化するため、受注量の若干の増加を予想している。
	○	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注残が順調に増えている。
	○	建設業（経営者）	・年末にかけては、駆け込みを含めた案件の増加が予想される。これまでの受注残もあるため、限られたマンパワーでいかに対応するかは悩ましい問題である。
	○	広告代理店（営業担当）	・今年に入り、Web媒体、紙媒体共に、広告売上が前年を上回る状態が続いている。
	○	経営コンサルタント	・インバウンドに支えられた現在の景気や物価が、国内消費をどう変えるのかに注目したい。
	○	その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	・衆議院選挙が終わり、内閣が安定感を持つてくると、徐々に円が買われる地合いとなる。1ドル130円程度の円高を予想しているが、そうなれば輸入物価が安定し、日用品の価格が徐々に下がるため、購買意欲も増す。給与の増加とうまく組み合わされば、消費の増加サイクルが動き出すため、先行きには期待している。
	□	食料品製造業（従業員）	・年末にかけては商品も動くため、現状が維持できればよい。
	□	食料品製造業（営業担当）	・クリスマスや年末年始に向けての催事が行われるが、物価上昇の影響で、消費者の購買動向は余り変わらない。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・状況が変化する材料がない。
	□	化学工業（管理担当）	・自動車向けの出荷量が堅調に推移する見込みである。
	□	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・円安傾向や物価の上昇により、実質賃金は前年比でプラスになっていないが、賃金自体は上昇傾向にある。ただし、2～3か月先の景気は一進一退の動きで、大きな変化はないと予想される。
	□	金属製品製造業（経営者）	・秋物需要や海外からの需要に期待している。
	□	金属製品製造業（営業担当）	・ある程度の仕事は確保できているが、忙しくなる様子はなく、先行きの不透明感は拭えない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・小口案件は引き続きコンスタントに受注できる見通しであるが、大型案件の引き合いが少なく、ここ数か月では景気の大きな改善は見込めない。
	□	一般機械器具製造業（設計担当）	・マスコミが景気の悪化をあまり過ぎて、全体的に悪いようにみえるが、仕事量などをみると、現状維持がしばらく続きそうである。さらに、徐々に好転していく気配も出てきている。
□	電気機械器具製造業（経営者）	・今のままでは海外に負けっぱなしに終わるおそれがあり、国内企業の創意工夫が求められる。	
□	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・政局も不安定であり、先行き不透明である。	
□	電気機械器具製造業（営業担当）	・衆議院選挙の結果次第で変化する。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・衆議院選挙の結果、政権与党の体制作りで手一杯となるため、景気対策が打たれることはない。
	□	輸送用機械器具製造業（役員）	・原材料価格が下らず、高止まりとなるが、受注額はそれに見合った水準にはならない。
	□	建設業（経営者）	・一部の建設資材価格の高騰や、不確定な納期の問題も続いており、受注の動きに影響が出ている。また、残業や休日出勤の問題は価格転嫁が難しい部分があり、その点でも苦労している。
	□	輸送業（商品管理担当）	・例年10月は売上が減り、そのまま年内は同じような動きとなるため、今年も大きくは変わらない。
	□	金融業（営業担当）	・受注状況の改善も、大阪・関西万博の特需もないため、余り変化はないと予想される。
	□	広告代理店（営業担当）	・年末までは今の状態が続くと予想される。
	□	司法書士	・国内外に様々な問題はあるが、当分は現状と変わらない状態が続く。
	□	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・全ての物価が上がっているため、景気が上向いていない。
	□	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・今年の冬は平年並みの寒さで、冬らしい気候となるため、冬物商材が通常どおりに売れることを期待したいが、物価の上昇による影響が気になる。
	□	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・例年は10月になれば冬物商材の注文が増えてくるが、今年は夏が暑く、今も暑さが続いているため、動きが悪い。
	▲	繊維工業（総務担当）	・消費者による呉服の使用頻度が減っているため、購入意欲の減少につながっている。
	▲	プラスチック製品製造業（経営者）	・業界にも良い話が少なく、単発的な仕事をかき集めている状況で、しばらくは現状の厳しい環境が続く。
	▲	建設業（経営者）	・物価に加えて、金利の上昇もあり、ますます住宅の新築に対する意欲は低下が予想される。国による住宅減税等の対策が望まれる。
	▲	通信業（管理担当）	・物価の上昇が続く一方、収入は増加しないため、景気は冷え込む。
	▲	金融業（営業担当）	・政局の今後の動向や米国大統領選挙の結果により、状況が大きく変わると予想される。
	▲	不動産業（営業担当）	・今後もネット販売が増えることで、1階のアパレル店舗の撤退が増える。賃料の低下や空室率の上昇につながることで、街の活気が失われ、景気も悪くなる。
	▲	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（営業担当）	・政情不安により、やや悪くなる。
	×	繊維工業（総務担当）	・今までにない猛暑や豪雨の影響で、秋物、冬物商材の売行きが悪い。新規の生産や販売が止まっている状況が続いている。
	×	化学工業（経営者）	・月間の売上、受注額は過去10年間で最も悪く、当面は良くなる要素が見当たらない。
	×	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・そもそも1ドルが150円を超える状況が続くなかで、業績が良くなる業界ではない。
×	輸送業（営業担当）	・全ての運送会社が、人件費の引上げに必要な財源を確保できていない一方、まだ値下げ競争が続いているため、社員は減っていく一方である。	
×	金融業〔投資運用業〕（代表）	・先行きにはただ1つ、積極財政を期待したい。	
×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・物価対策が講じられておらず、消費者物価を下げる対策が早急に求められる。	
雇用 関連 (近畿)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（役員）	・年末を迎えるほか、大阪・関西万博の求人や求職者の動きが活性化すると予想される。
	○	人材派遣会社（支店長）	・年度末に向けた、駆け込み受注が予想される。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・2025年卒の新卒採用で、今の時期でも大手企業による追加募集が行われている様子から、2026年卒では採用数を更に増やす企業が出てくる。それに伴い、求人広告などの露出も増えることが予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	○	その他雇用の動向を把握できる者	・金利の動向などからも円安傾向となる見込みであり、インバウンド需要の増加は続くと予想される。
	□	人材派遣会社（管理担当）	・世界情勢の不安定化、物価の上昇といった不安要素はあるが、しばらくは今の状況が続く。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・引き続き、事務や経理などの事務職の求人は減少し、DX対応ができるOA事務や、顧客対応ができる人材といった、機械に代替されない職種の求人が増える。それに伴い、仕事を探している求職者とのマッチングが難しくなると予想される。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・衆議院選挙や米国大統領選挙など、世の中が大きく変わる要素はあるが、家計の余裕資金が増えない限り、消費は増えないため、景気が今よりも良くなることはない。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・関西の地元産業の商品プロモーションといった新聞広告費の推移は、今後も変わらないと予想される。ただし、衆議院選挙の結果や、大阪・関西万博の開催気運の醸成状況によっては、良くなる可能性もある。
	□	職業安定所（職員）	・9月の新規求職者数は前年比で増えたが、雇用保険受給者の新規求職登録は、前年比で10か月連続の減少となっている。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数は増えているが、最低賃金の引上げによる人件費の増加が、中小企業にとって負担になっているという声が多い。
	□	職業安定所（職員）	・慢性的な人手不足であるものの、最低賃金の引上げによる人件費の増加が経営に大きな影響を与えており、求人を控える動きが依然としてみられる。
	□	職業安定所（職員）	・今年度の求人動向は一進一退の状況が続いている。今後も大きな状況の変化はないと予想される。
	□	民間職業紹介機関（職員）	・中小建設業の求人条件は、元請企業からの請負額がなかなか上昇せず、賃金に反映できていない。求人募集を行っても、募集条件が他業種よりも悪く、求職者が集まらない。また、元請企業から下請従業員の雇用形態に対する要望も、近年は特に厳しくなっており、中小建設業者は今後の事業存続に危機感を持っている。
	□	民間職業紹介機関（営業担当）	・求人数は増えても求職者が少ないため、景気に大きな変化はないと考えられる。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・2026年卒の求人も動き出しているが、求人数は特に増えていない。
	▲	学校〔大学〕（就職担当）	・不安定な海外情勢や、衆議院選挙での政権政党の過半数割れによる株安への不安などが、景気に悪影響を及ぼすとみられる。その一方、好材料は余り見当たらない。
	×	*	*

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (中国)	◎	－	－
	○	一般小売店〔印章〕（経営者）	・年末年始を挟んで多少は良くなると期待する。
	○	百貨店（広報担当）	・冬のボーナスが支給されることでの購買意欲の増加が期待される。
	○	百貨店（営業担当）	・式典の開催が次第に復活していることで、物の需要が回復しつつある。
	○	百貨店（総務・経理担当）	・年末に向けてハレの日イベントが続くので、景気は良くなる。
	○	スーパー（店長）	・10月にパート、アルバイトの時給が上がったが、扶養の場合の収入の壁は変わらず、収入としては増えていない家庭が多い。そのため、景気が良くなるとは考えにくい。
	○	コンビニ（副地域ブロック長）	・年末に向け、イベントや観光客も更に期待できるので、売上は少しずつ回復していくとみられる。加盟店のオーナーの収益は、人件費や電気代の高騰が懸念案件である。
	○	衣料品専門店（経営者）	・景気が良くなると期待する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	○	衣料品専門店（経営者）	・単価の高い物の購入や複数購入が目立つようになった。
	○	家電量販店（企画担当）	・寒くなれば売上が伸びる可能性はあるが、そこまで良くならない。新政権が経済対策を打たないと考えられるため、景気は悪くなる。
	○	自動車備品販売店（経営者）	・年末までは冬季商材が活発に売れるとみているが、前年比では悪くなる見通しである。これ以上の人件費高騰は地方の中小企業には非常に厳しい。
	○	自動車備品販売店（経営者）	・希望的観測だが、今後いろいろなことが落ち着いてマイナス要因が少なくなれば、景気は好転するかもしれない。
	○	その他専門店〔土産物〕（経営者）	・野菜や果物の売行きが以前より良くなりつつあり、物価高を現状として受入れ、購買行動につながっているように見受けられる。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・今後気温が下がり、冬物が一気に動き出すことが見込める。年末年始の休日の並びが良いため、多少期待できる。
	○	高級レストラン（事業戦略担当）	・クリスマスや年末年始を控え、来客数の増加に期待が持てる。
	○	一般レストラン（店長）	・企業や個人の予約が増加傾向で、年末は期待できる。インバウンドと合わさって伸びると考えられる。
	○	バー（経営者）	・年末年始なので期待できる。
	○	観光型ホテル（営業担当）	・観光シーズンの秋に入り、宿泊、食事共に先行予約が好調である。
	○	旅行代理店（経営者）	・3月の決算がそこそこ黒字となる予定である。
	○	タクシー運転手	・人通りが増え、繁忙期にもなるため、タクシーの利用が増える。観光目的でタクシーを利用する客も増えることが期待できる。
	○	通信会社（工事担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたため、景気はやや良くなる。
	○	テーマパーク（営業担当）	・11月から繁忙期のイルミネーションがスタートする。
	○	テーマパーク（業務担当）	・秋から冬に向かい、イルミネーションが始まるので、予約は好調に推移している。
	□	商店街（代表者）	・年末年始にかけて、購買意欲が高まる時期となるため期待している。しかし、地方ではインバウンドの影響を余り感じない。
	□	商店街（理事）	・物価高で生活防衛意識が働いている。気温の影響で我が国の四季がなくなり、身につけるものの変化するなど、様々な要素が絡んでくるため、一概に景気が良くなる、悪くなるとはいえない。
	□	商店街（代表者）	・5重苦にさいなまれているベビー、子供服の専門店であるが、客は商品を購入する様子はない。状況は非常に悪く、今後は予想がつかない不況になる。
	□	商店街（代表者）	・景気が良くなる気配はなく、現状のまま推移すると考えられる。
	□	一般小売店〔食品〕	・今後も客の節約志向は続くものと予想され、販売数量を維持することは厳しいとみられる。
	□	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・人出は増えているが、なかなか売上に繋がらない。
	□	百貨店（営業担当）	・気温が異常で四季がなく、定価品で売れる期間が短くなり、バーゲンセールを待つ状況は続く。
	□	百貨店（営業担当）	・少し気温が下がり、衣替えとなるが、前年と同様で重衣料の売上が厳しいとみられる。物価高の影響もあり、大きくプラスになることは考えにくい。
	□	百貨店（売場担当）	・猛暑が一段落したものの、来客数、販売金額等に大きな変化はない。また、高額商品の動きも前年と同様の動きで推移している。今後も、インパクトのある事象が起こらない限り、年末まで淡々と進んでいくような雰囲気である。
	□	百貨店（外商担当）	・美術品や高額ラグジュアリー品の動向次第であるが、高額品の買い控えが続くと商況は更に厳しくなる。
	□	スーパー（店長）	・商品の値上げ基調が変わらないなかで、収入面が増えていく見込みがない。年末年始商戦に向けては読めない部分はあるが、大きく期待はできない。現状の流れがそのまま継続すると考えられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・特に割引日に客が集中しているため、節約意識は高く、景気が回復する見通しが立たないと考えられる。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	・気候変動の影響は改善されても、景気回復の要素が見つからない。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（業務開発担当）	・節約志向は相変わらずである。ここ2～3年の販売点数の前年割れも回復基調にみえるが、はっきりとは分らない。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・物価高騰で今後も厳しい状況は続く。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・食品関連の値上げが続いており、客の購買意欲がなかなか上がってこない。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（営業システム担当）	・今年の冬は例年どおりの寒さとの予報が出ているため、冬物関連商品が売れることを期待している。暖房等で光熱費が掛かるため、食料品に対する買い控えは続くものとみられる。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・気温が下がり、鍋物商材の動きが少し良くなるとみられる。また、秋祭りのシーズンとなり、若干の売上増加は見込めるものの、年末を控えているので、例年どおりであれば買い控えも発生すると思われる。10月より最低賃金の上げがあったが、消費に大きく回らないと考えられる。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・今後も大きな変化は期待できない。現状どおり必要最低限の購買にとどまり、買上点数の上昇につながるとは考えにくい。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（代表）	・気温が下がってくれば販売量は増えるとみられるが、物価が上がっているため、減税でもしなければ消費が増えるとは考えられない。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・景気が回復しなければ状況は悪くなる。新政策での景気回復策に大きく期待する。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（販売担当）	・年末年始に寒くなることを期待する。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（副店長）	・現状、景気がかなり悪いため、これ以上は悪くならないと考えられる。ただし、改善の兆しはみえていない。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・景気は悪くなるかもしれないが、悪くなると思うと本当に悪くなってしまう。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（統括）	・メーカーの供給が足りないため、この状況がしばらく続く見込みである。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・選挙の結果で何かが大きく変わる期待感がないといった声ばかりである。物価高もまだ続くと考えられ、消費を抑える傾向は続くとみられる。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（業務担当）	・新型車はまだ先送りになりそうで、現状が続く見込みである。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店〔時計〕（経営者）	・単価の高い商材はなかなか販売することが難しいが、客単価を上げる販売促進を打ち出していかなければならない。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・今以上には望めない。
	<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・商品や外食の値上げもあり、積極的に買物を楽しむ風潮が余りない。家計的にも米を含む食品の高騰が目につき、財布のひもは固いようである。参加型イベントに合わせて集客を増やしながらか購買意欲を高める必要がある。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・忘年会、新年会といった宴会需要のシーズンとなり、金曜日の利用が期待できる。しかし、米や生鮮食品の値上がり、加工食品やし好品といった一般食品の値上がり、これに加えて電気・ガス代の補助金の打ち切りにより、家計の支出が増えることから、一般客の外食利用の頻度が低下し、利用金額の抑制が更に進む。特に子育て世代のファミリー層のディナータイムの利用が落ち込み、休日前と休日の利用の減少が懸念される。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・新店がいろいろとオープンしているため、周りの景気は良いとみられる。
	<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（副支配人）	・年末年始の宿泊の予約は例年どおり順調であるが、年始以降は動きが鈍い。
	<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（宿泊担当）	・11月から12月の前半にかけて紅葉等、レジャーの動きが良くなると予測しているが、閑散期においては大きな需要の動きはないと考えられる。
	<input type="checkbox"/>	旅行代理店（支店長）	・急速な回復は見込めないが、政局や円相場が安定してくれば気運は高まると期待する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	タクシー運転手	・悪くなる要因が見当たらず、好調に推移すると考えられる。時期的にも繁忙期になる。
	□	タクシー会社（営業所長）	・各種割引サービスの見直しやDX投資などの効果を期待しているが、いずれも天候、イベントなどに頼る部分があり、明確な見通しは立っていない。
	□	通信会社（営業担当）	・好転、暗転を判断する要因がない。
	□	通信会社（企画担当）	・物価上昇に対して、代替商品やサービスで値上げを回避することが難しい状況になっている。経費節減の傾向は大半の客層において続くと予想される。
	□	放送通信サービス（総務経理担当）	・ここ数か月は横ばいが続いている。
	□	観光名所（館長）	・今のところ回復材料が見当たらない。
	□	観光名所（観光振興担当）	・良くなる要素が見当たらない。
	□	競艇場（企画営業担当）	・売上がほぼ横ばいである。
	□	設計事務所	・客の話しぶりから、しばらくは新規物件が順調に進む感覚を受ける。
	□	設計事務所（経営者）	・建設会社の人手不足から、今後も工事発注に時間が掛かることが予想される。
	□	住宅販売会社（従業員）	・今月末の選挙による政局の動きにもよるが、しばらくは大きな変動はないものと想定している。
	□	住宅販売会社（事業推進担当）	・新総裁になり、政界変化の好影響を期待したいが、何か抜本的な変革がない限り、しばらく市況の回復は難しいと考えられる。
	□	住宅販売会社（住宅設計担当）	・今年度の国の補助金の恩恵を受けられる時期の谷間に差し掛かり、来年度補助金の予測のもと説明する時期になっているため、販売量の増加は見込めない。
	▲	一般小売店〔茶〕（経営者）	・先の見通しができない。まちづくりなど動きがあるが、その結果が本当に出るのかわからない。しかし、何かアクションを起こさなければならぬので、大変苦しい思いである。
	▲	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・来年以降、円高になると、企業収益の低下と利上げが家計を圧迫して、消費が冷え込むことが懸念される。
	▲	百貨店（営業担当）	・駅側に新規商業施設が開業したため、影響を受けることが考えられる。
	▲	百貨店（売場担当）	・物価の上昇が進んでおり、可処分所得の減少がじわじわと効き始めている。我慢できるものへの消費は抑えられる傾向が続くと考えられる。
	▲	スーパー（店長）	・10月に入り販売量が低下している。1品単価の上昇により買い控えが発生していると推測される。
	▲	スーパー（店長）	・今までは来客数が前年の100%であれば売上は104%程度で推移していたが、10月の値上げで来客数と販売点数が減少し、値上げの部分ではその減少分をカバーできない状況が続く。
	▲	スーパー（財務担当）	・物価上昇が今後も続き、消費者の節約志向がますます強まり、買上点数及び来客数の減少により売上が低下する。
	▲	コンビニ（支店長）	・人件費を含めたコスト高が経営を圧迫している。最低賃金の引上げには耐えられない。
	▲	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、お茶会や邦楽と舞踊の会など催事が再開されたが、新型コロナウイルス感染症発生前と比べて規模が縮小している。
	▲	乗用車販売店（リース担当）	・購入希望はあるが、財布のひもが固い。日用品や食料品の高騰で厳しい状況は続く。
	▲	乗用車販売店（営業担当）	・高価格帯の車両が増え、新規客層を獲得しない限り、厳しい状況は続く。
	▲	乗用車販売店（店長）	・今後も販売の制限は変わらず、新商品も出ないため、良くなる要素がない。
	▲	乗用車販売店（営業担当）	・期が変わり、市場の動向が戻ってこなければ、今期は厳しい状況に追い込まれるとみている。動きが戻れば後れを取り戻すことも可能である。この1～2か月が踏ん張り時と捉えている。
	▲	都市型ホテル（総支配人）	・12月の予約ペースが過去と比べて10%以上鈍化している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	都市型ホテル（総支配人）	・例年、正月明けから2月にかけてオフシーズンを迎えるが、当地の空港を発着する既存路線や1月から新規就航する路線など、旧正月期間のインバウンドに期待する。
	▲	通信会社（広報担当）	・価格高騰もあいまって、しばらくは購買行動は活性化しそうにない。
	▲	美容室（経営者）	・物価高が継続し、客の節約意識が高まっており、ボーナスが出るまで景気は悪くなる。
	▲	美容室（経営者）	・客は余り金を使いたくないのか、節約ムードになっている。
	▲	美容室（経営者）	・インフレ傾向が強く、消費者の財布のひもが固くなっているのに加え、最低賃金の上昇や燃料費高騰で中小企業の成長投資に充てる財源確保が難しくなっている。
	×	コンビニ（エリア担当）	・工事関係の客が若干増加していたが、10月に入り店の前の通りが片側交互通行になっている。1月まで工事が続くので、売上は下がり、非常に厳しい状況になる。
	×	住関連専門店（営業担当）	・来客数が以前よりも減少しており、改善される要素がない。
	×	一般レストラン（経営者）	・政治がどのように変化するか分からない状況であるが、良くなる方向には向かっていない。
	×	ゴルフ場（営業担当）	・3か月先は冬季営業となるため、天候に左右されることが多く、直近で増減する。予約状況としては例年と変わらない。
	×	設計事務所（経営者）	・年末に向けて来場が落ちてくるため成約が難しい。
企業 動向 関連 (中国)	◎	輸送用機械器具製造業（経営者）	・秋から冬にかけて忙しくなる予定である。
	○	金属製品製造業（総務担当）	・客先が中国向けの大型案件を受注すれば、当社への発注量も多くなると見込まれる。
	○	輸送業	・受注が増えている。
	○	輸送業（営業担当）	・海外向けの問合せが多く、景気が上向き兆しがある。
	○	通信業（企画担当）	・年度内に予算計画されたデータセンターやICT関連について、実施時期が遅れていたものが年度末に集中する可能性がある。特にICT関連機器については、来年1～3月に掛けて集中的に実施される可能性がある。
	○	会計事務所（経営者）	・車両に関連する業務が少し動き始めた。長期にわたり低迷した新たな需要が期待される。
	□	農林水産業（従業員）	・好転する要素がない。
	□	食料品製造業（経営者）	・11月から12月で不足分の売上ばん回を図りたいが、11月も暖かいとの予報が出ており、計画どおりにいかない状況が続く。
	□	食料品製造業（営業担当）	・政策によってすぐに景気が良くなることはない。
	□	繊維工業（財務担当）	・株価、為替が先行き不透明である。
	□	木材木製品製造業（経理担当）	・まだ、景気予測としては読めない状況だが、季節要因として年末に向けて少し良くなっている。
	□	化学工業（総務担当）	・自動車産業の回復には相応の時間を要するとみられ、もうしばらくは変わらない程度で推移すると考えられる。
	□	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・輸出受注、大型工事案件といった生産量が増加する要因がなく、現在の生産水準が続く見込みである。
	□	鉄鋼業（総務担当）	・受注環境が好転していない。
	□	鉄鋼業（総務担当）	・人手不足、物価高騰により低調、横ばいで推移するとみられる。
	□	非鉄金属製造業（業務担当）	・製品の出荷見込みはほぼ予算どおりとなっている。
	□	一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きに変化はない。
□	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・取引先の内示情報から判断すると、景気に変化はない。	
□	建設業（総務担当）	・技術者がいれば受注を更に増やせる状況に思える。その反面、受注物件を現状の技術者でこなすことができるかが、現時点での最大の課題である。当面はこのような状況が続くとみられる。	
□	輸送業（業務推進担当）	・特に大きなプラス・マイナス要素もなく、取引先の動向も目立った様子はない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	不動産業（総務担当）	・賃貸住宅の需要が落ち着く時期のため、余り変わらないと予測する。
	□	広告代理店（営業担当）	・全体的に景気の上がる要素がない。当面は厳しい状況が続くとみられる。
	▲	一般機械器具製造業（管理担当）	・身の回りの販売、受注状況は大きく変わらないと予測しているが、衆議院議員総選挙において政局が不安定になるという見方がされており、その影響で円相場や株価の動きが悪い方向に進むことが見込まれる。
	▲	建設業	・物価上昇が続いており、政治も不安定である。
	▲	建設業（経営者）	・世界情勢、国政の先行きが不透明である。
	▲	金融業（支店長）	・域内の大手企業の業績停滞の影響を受け、取引先の状況は悪い方向にある。大手企業の業績改善の兆しが見られれば好転する図式となっている。
	▲	金融業（経済産業調査担当）	・円安進行によりインフレが加速する懸念がある。
	×	電気機械器具製造業（総務担当）	・賃上げや値上げの動きがあるが、当社は他社との競争等により、なかなか値上げが困難で、差額を自社吸収している状況である。このまま物価高や賃上げ、円安が続くと、事業継続にも影響が出ることが懸念される。
雇用 関連 (中国)	◎	民間職業紹介機関（人材紹介・派遣担当）	・人材紹介事業において、登録者数が前月比106%と引き続き増加傾向である。年内での就職希望者及び年明けや新年度に向けた転職活動が徐々に活発化している。採用する企業側も同様に、組織変更を視野に入れた新規採用の動きが徐々に見受けられる。
	○	人材派遣会社（事業部長）	・新規受注のうち、長期案件の増加率が高いことから、先行きを楽観的に捉える企業が多くなっていると考えられる。
	□	人材派遣会社（社員）	・今後の政権状況次第だが、現状は通年どおり推移していく。
	□	求人情報誌製作会社（総務担当）	・飲食店の予約件数は増加傾向にあるが、1グループ当たりの予約人数が少ない。金額ベースで考えると大きく増減はせず、横ばい、ないし多少の減少傾向と考えられる。
	□	求人情報誌製作会社（広告担当）	・新卒、中途共に慢性的な人手不足感は更に強まっている。若年層を中心に終身雇用制度を望む声は減少し、有給休暇の取得率はアップし、ワークライフバランスが重視される。企業も時代の変化に伴い、社内制度を整えるなど変化に対応している。業種や職種により変化が難しい会社も多く、今後企業の人材獲得競争は更に激化するとみられる。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・車両や住宅などは受注が芳しくない状況が続いており、百貨店の来客数も減少している。当面現状が続くものと予測する。
	□	職業安定所（職員）	・10月の最低賃金引上げ後も引き続き賃上げの気運は続いている一方、事業所に対する明るい材料は当面なく、状況が好転するとは考えられない。
	□	職業安定所（事業所担当）	・賃上げが大企業だけでなく、中小企業にも徐々に浸透していると考えられるが、各種商品の値上げのため、消費活動が活発になるとは考えにくく、2～3か月先の状況が、今より良くなるとは考えられない。
	□	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・一般企業の採用活動が一段落し、来年度以降の採用へとシフトしている。事業拡大による新規求人などもみられないため、景気の動向は今後も変化がないとみられる。
	▲	人材派遣会社（求職者対応）	・例年、年明けまで企業と求職者の動きは鈍くなる。
	▲	人材派遣会社（経営企画担当）	・衆議院議員総選挙で政権政党が大敗したことにより、派遣業界にネガティブな風が吹くことを懸念している。また、最低賃金が大幅に上昇し、派遣スタッフへの支払時給は高騰する一方で、求人先への請求にその全てを転嫁できない可能性があり、利益率の低下を懸念する。
	▲	民間職業紹介機関（職員）	・衆議院議員総選挙の政権政党敗北を受け、今後の見通しの予測が立ちにくい状況になった。選挙翌日の株価は続落から始まっていることが、今後の不安を物語っている。
▲	その他雇用の動向を把握できる者	・政権政党が過半数割れしたことから政治の混戦が生じることになり、景気にも悪影響を及ぼすと思料する。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	—	—

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)	◎	その他専門店〔酒〕 (経営者)	・年末が近づいていることに加え、11月末からお歳暮商品が売れ出すため、景気は少し良くなるとみられる。
	○	商店街（常務理事）	・総選挙が行われ、政局が不安定化しても、経済は底堅く、むしろ、消費に前向きの展開を期待する人も多い。米国大統領選挙の行方が今後の為替や経済、消費動向にも影響をもたらすと考えるが、大きな地政学的リスクが顕在化しなければ、年末年始の景気見通しは明るいと思われる。
	○	商店街（代表者）	・デフレからインフレに切り替わることは、デメリットとメリットを共に有するが、株式市場の上昇で可処分所得の増加が期待できる。うたい文句だけではなく、実質的に貯蓄から投資へ変化する時代が着実に進むことにより、景気上昇が起こるとみられる。
	○	コンビニ（商品担当）	・新内閣発足などの兆しがみえれば、景気は良くなるとみられる。
	○	衣料品専門店（経営者）	・これから年末にかけて少し景気が良くなるとみられる。
	○	家電量販店（店員）	・ボーナス商戦で景気が盛り返すことを期待したい。
	○	タクシー運転手	・2～3か月先は、12月の忘年会シーズン、1月の新年会シーズンにより、やや良くなると判断できる。市内の状況としては、ライドシェアの申請を6社ほどが国土交通省に提出しており、また、クルーズ船の来航が新型コロナウイルス感染症発生前の状態に戻っており、多いときには月に45回程度来航している。
	○	通信会社（支店長）	・景気も少しずつ持ち直すと想定しており、冬物商戦期に入るため、エリア特性により、多くの来店や販売が期待できる。
	○	競艇場（マネージャー）	・物価が安定するには時間が掛かる見込みだが、遊興に関しては、しばらく順調に推移する見通しである。
	○	美容室（経営者）	・12月、1月は客も動くため、ある程度の売上アップが見込める。
	□	商店街（代表者）	・商店街内はかなり人が増えている。また、商店街内の退店した店も飲食中心に新店舗が入っており、新陳代謝が活発になっているため、それが目当ての外来客も増えてきている。
	□	商店街（代表者）	・ガソリン価格の高止まりや物価高騰が続いており、厳しい状況である。多少でも賃金上昇が望めれば良い方向に向かうと考えるが、少し時間が掛かるとみられる。
	□	一般小売店〔文具店〕 (経営者)	・現在の中東又はウクライナ紛争の状況次第では、過去にあったような輸入原材料価格の高騰により、今後の仕入価格に影響が出るとみられる。例年、年度末には売上が増加するが、今年は少し様子が違っているように感じている。
	□	百貨店（マネージャー）	・インバウンドは前年比プラスで推移しているが、国内客は前年比マイナスとなっている。
	□	スーパー（店長）	・値上げにより消費が伸び悩むとみられる。
	□	スーパー（店長）	・今後も商品の値上がりが続く事が予測されており、景気が良くなる要因が見当たらない。
	□	スーパー（企画担当）	・年末に向けてまだ値上げの情報が続いており、地方でもドラッグストアの出店が続いていることから来客数を伸ばすことは難しいとみられる。単価の低い店舗への買い回りは更に増えると推定している。
	□	スーパー（企画担当）	・現状、売上が増加しているものと減少しているものがあるが、全体としては物価高の影響を受けている。今後の消費者マインドがどのようになるのか、先行きは不透明である。
	□	コンビニ（店長）	・当面は現状の景気状況で推移するとみられるが、後は電気料金、ガス代等の生活費が上昇すれば、生活防衛のための買い控えが増えるとみられる。
	□	コンビニ（総務）	・値段が高いコンビニは消費者に敬遠されて、来店頻度が悪化している。消費者は日々少しでも安く買物ができるように様々な業種、店舗を自分で調べて利用している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	衣料品専門店（経営者）	・期待値は非常に高いが、衣料品の売上は気温の影響が相当大きい。10月はそこそこ暖かいとみられていることから、11月後半から12月にかけて寒くなり、購入単価が上がれば売上は増加するが、暖かい気温が続けば、売上は変わらないとみられる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・引き続き物価高が多くの商材でみられており、影響が出ている。
	□	衣料品専門店（営業責任者）	・顧客との会話から、物価上昇の影響により衣料品購入への余力が減っていることを顕著に感じており、景気が上向く気配が少ないとみられる。
	□	乗用車販売業（営業担当）	・販売停止車両の再開の見込みがない。
	□	乗用車販売店（従業員）	・メーカーからの納車は安定しているが、販売できる車種に制限があり受注が苦戦している。
	□	乗用車販売店（役員）	・米国大統領選挙の行方など海外状況に不透明な要素もあるが、底堅く推移するとみられる。
	□	その他小売〔ショッピングセンター〕（館長）	・前年の全国旅行支援の影響で昨対比では悪くなる見通しだが、引き続き来県者も多い状況が続いており、大きく変化する要因は見当たらない。
	□	観光型旅館（経営者）	・地域の集客キャパシティには限界があるが、現状では需要と供給が均衡している。今後の集客の大幅増加も見込めないがインバウンド効果もあり、災害等の特殊要因がなければ底堅く推移するとみられる。
	□	都市型ホテル（経営者）	・日本、米国の選挙動向次第だが、先行きが不透明で、経済の動きが弱くなっている場合は大きく流れが変わり、景気が悪くなる可能性もあるとみられる。
	□	旅行代理店（部長）	・インバウンド効果による景気上昇は期待できるが、国内企業及び日本人のレジャー消費が不透明である。
	□	通信会社（営業担当）	・来客数は増加傾向だが、客単価はまだ厳しい傾向である。
	□	観光遊園地（主幹）	・当面の間は、現状が続くと予測される。
	□	設計事務所（所長）	・飲食代や生活必需品の価格が上がってきているが、賃金も徐々に追い付いてきている。
	▲	一般小売店〔生花〕（経営者）	・商品価格が上がってきているため、じっくり検討してから予約や購入する傾向にある。
	▲	百貨店（販売促進）	・止まらない物価高に賃金上昇が追い付いておらず、閉塞感がある。
	▲	スーパー（人事）	・電気料金補助の終了などにより、これからの生活に不安がある。
	▲	スーパー（財務担当）	・物価高で実質賃金が改善される可能性は低く、節約志向が続くとみられる。
	▲	スーパー（統括担当）	・物価高が最大の不安材料になっている。
	▲	コンビニ（店長）	・来客数が減少している。
	▲	家電量販店（副店長）	・寒さも徐々に強まっていくなか、光熱費高騰により節約志向が懸念されるため、景気の回復は期待できない。
	▲	一般レストラン（経営者）	・8月と12月は例年売上が良くなる傾向にあるが、今年の8月は下火だったため、年末も余りにぎわうこともないとみられる。
	▲	美容室（経営者）	・物価高の影響により美容室に行かず、自分でできることは自分でする客が増えてきているように感じている。
	×	一般小売店〔酒〕（経営者）	・社会全体が不安要素しかないなかで、消費者の財布のひもは固く、景気は更に悪くなるとみられる。
企業動向関連 (四国)	◎	電気機械器具製造業（経営者）	・大きな選挙が、今、世界で行われているが、我が国では地方も選挙に対する意識が高くなっており、この度の政権政党の大敗は非常に良かったとみられる。経済的には、これで我が国もゼロから出発できると感じており、景気は必ず良くなると確信している。
	○	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・年末の大掃除に使用するウェットクリーナーの需要が高まるため、売上が増加するとみられる。一方で、円安等により製造原価が上がっているが、売価に転嫁できておらず、利益が出にくくなっている。卸売や小売に値上げ要請しているが、断られることもあり、うまく交渉が進まないため、数量を減らすなどの対策をとり、今後利益を確保していきたい。
	○	建設業（経営者）	・来月は、受注できそうな工事が数件出てきている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	○	通信業（企画・売上管理）	・冬場は在宅率が高いため、視聴率が上がる。それによりCM受注が増えることを期待している。
	□	農林水産業（職員）	・消費者の財布のひもは固く、食費を抑える傾向は続いている。経済の改善は期待できず、現状の取引環境が続く見込みである。
	□	食料品製造業（商品統括）	・食品値上げは、生活に直結することではあるが、マスコミの食品値上げをあおるような報道が目に見える状況であり、懸念している。買い控えが発生していることで大手スーパー、外食店の一部で値下げをするようであるが、報道では弱い消費者を守ることが強調されすぎており、利益の少ない食品業界には大きなマイナスイメージとなっている。
	□	木材木製品製造業（営業部長）	・一時的な回復は見込めるが、材料費や配送費の高騰で住宅販売は更に落ち込む見込みである。来期も人口減少と価格高騰の影響により、住宅販売は減少傾向が続くとみられる。
	□	化学工業（所長）	・消費者の意識は、買い控えに慣れていくとみられる。大きな要素がない限り、景気の変化はないとみられる。
	□	鉄鋼業（総務部長）	・変動要因が見当たらない。
	□	輸送業（経営者）	・政治の変化が怖いとみている。
	□	通信会社（総務担当）	・下期の受注の積上げが目標を達成する見込みが立たず、営業部門が苦戦している。
	□	広告代理店（経営者）	・人手不足に伴う採用関連広告や観光関連広告は増加傾向であるが、小売流通関連の紙媒体等の広告は減少傾向であり、全体としては余り変わらないと予想される。
	▲	食料品製造業（経営者）	・最低賃金が大幅アップとなり、人件費、労務費が増加し、利益を圧迫することが予想される。
	▲	電気機械器具製造業（経理）	・相変わらずの物価高、円安基調に今回の総選挙で政権政党が過半数を割り込んだことによる政治の不安定感加わるため、良化の糸口が見込めない。
	▲	建設業（経営者）	・政治の動き、金利の動向、物価上昇等が懸念される。
	▲	金融業（副支店長）	・地方は物価高騰に対して、給料の引上げが追い付いてきていない。
	▲	税理士事務所	・人件費の高騰に対して企業の売上が追い付いておらず、雇用することが難しくなり逆効果となっている。
	×	—	—
	◎	—	—
雇用 関連 (四国)	○	求人情報誌（営業）	・各業種での人材採用数が増えることにより、売上増加につながりやすくなっており、景気はやや良くなると判断できるが、人件費の高騰は避けられず、既存社員の人件費増加により利益が下がりつつある企業も増えてきており、大幅に景気が良くなるとは想像しにくい。
	○	求人情報誌制作会社（経営者）	・年末年始のアルバイトの求人数の増加が予想される。
	□	人材派遣会社（総務部長）	・物価高などにより、今後しばらくは景気が良くならないとみられる。
	□	職業安定所（求人開発）	・今後の為替が円高か円安のどちらに傾いても産業や業態によって明暗が分かれることや最低賃金額の大幅な引上げについても、企業規模や人手不足の状況で影響に差が出るため、全体の景況は不透明な状況が続くとみられる。
	□	民間職業紹介機関（所長）	・求人の動きに変化がみられない。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・人手不足感は構造的な要因が大きいとみられる。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・明らかに物価が上がってきており、支出を抑えざるを得ない状況である。今後は更にその傾向が強くなるとみられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	—	—

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)	◎	一般小売店〔生花〕 (経営者)	・12月には正月の花やお供えの花の需要がある。卒業シーズンの次に忙しい時期となるため、今年も準備万端で望みたい。
	◎	住関連専門店(従業員)	・高単価消費の後押しとなっているプレミアム付商品券はまだ予算枠があるためしばらく追い風が続くと予想される。加えて、長引く夏日の影響で高単価な秋冬商材の需要の波が遅れていたが、ようやく気温も下がり需要が高まると考えている。
	○	商店街(代表者)	・日常の食料品など消費物資の価格が高騰しているため買い控えはあるが、過ごしやすい気候になると購入の動きは良くなると考えられる。
	○	商店街(代表者)	・年末に向かうため忙しくなることに期待している。
	○	商店街(代表者)	・景気が良くなるように販売促進を仕掛けることを考えている。
	○	商店街(代表者)	・寒くなると秋冬物商材が出回るため、商品単価の上昇を期待している。
	○	一般小売店〔茶〕(販売・事務)	・今から日本茶がおいしい季節となり売上の増加に期待できる。しかし、年末年始には生活必需品の高騰が予想されるため、出費を抑える傾向になると考えられる。
	○	百貨店(企画担当)	・年末年始になり旅行者などの乗客数増加が見込め、さらに、クリアランスセールが一斉スタートとなるため、景気はやや良くなると予想している。
	○	百貨店(リーダー)	・気候の変化で厚手の衣類の需要が高まり、また、お歳暮などの需要が見込まれるため景気は良くなる。
	○	コンビニ(経営者)	・年末に向けて催事行事は活発になるため、コンビニエンスストアのニーズも拡大する。
	○	家電量販店(従業員)	・寒くなってきたため、暖房器具の需要が増加する。
	○	乗用車販売店(従業員)	・初売りで乗客数が増えることが見込める。
	○	乗用車販売店(役員)	・来年にかけて、受注残からの販売量が確保できている。認証不正問題の影響で新車発売の延期などに影響はあるが、今後の安定した受注環境への改善に期待したい。
	○	乗用車販売店(総務担当)	・今年度は前年を上回る新車配給があると見込んでおり、予想外のトラブルがない限り今期は好決算が見込まれる。
	○	乗用車販売店(役員)	・年末年始の商戦に加えメーカーの生産が回復基調にあるため、登録・納車等の販売が増えると予想される。
	○	その他専門店〔コーヒー豆〕(経営者)	・これから気候が寒くなるため、年間を通して11～12月はコーヒーの売上が伸びる時期となり、一般の乗客数が増加する傾向にある。外国人客の増加もあり、店頭や冬の需要の売上は増加し景気は良くなっていく。
	○	高級レストラン(経営者)	・11～12月の忘年会の予約は、20人以上の団体客は少ないが、20人までのグループの予約は増えている。
	○	一般レストラン(スタッフ)	・年末需要で一時的に消費拡大傾向になるため、景気はやや良くなる。
	○	観光型ホテル(支配人)	・宿泊利用は前年との比較では横ばいで推移しているが、宴会利用は同業他社で稼働を制限していることもあり増加傾向となっている。
	○	観光型ホテル(専務)	・紅葉のシーズンに入るため団体客、個人客共に増加する。
○	観光型ホテル(管理)	・複合施設がオープンしており、観光客の増加を期待している。	
○	都市型ホテル(販売担当)	・忘年会や新年会シーズンでは、売上増収が見込める。	
○	旅行代理店(統括者)	・政府や自治体における物価高対策や賃上げ対策、比較的好調な企業業績、インバウンド拡大政策等で引き続き景気は上向きになると予想している。	
○	旅行代理店(統括者)	・9月に冬休みの旅行の申込みが多かったため、10月は乗客数が減少している。しかし、11月以降は、春休みの申込みが増えると予想している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	○	タクシー（統括者）	・競合他社も同様に採用増加が継続している。そのため、客の奪い合いが見受けられるようになり、総収入の増加傾向は間違いないが、その伸び方は鈍化すると予想している。
	○	通信会社（企画担当）	・引き合いは途切れていないが、割合は直近よりも来年度の引き合いが多くなっている。そのため、販売量は緩やかに増加するとみている。
	○	通信会社（社員）	・代理店手数料等を考えると、景気は良くなる傾向にある。
	○	通信会社（営業担当）	・観光業やイベントが復活している。
	○	観光名所（従業員）	・通年秋の紅葉シーズンや雲海、神楽等、観光客が多くなる季節であるため、景気は上昇傾向になる。
	○	観光名所（職員）	・高速道路の災害により一部区間が不通となっていた期間は店舗の売上が20%減になっていたが、復旧したことにより見通しが明るくなっている。
	○	ゴルフ場（従業員）	・11月の予約は埋まりつつあり、しばらくこの状況が続く。
	○	美容室（経営者）	・2～3か月先は晩秋となり、ファッション業界は少しずつ緩やかな上昇とともに景気回復に向かうと考えている。気候も涼しくなるとおしゃれの仕方も変化し、新製品も出るため、客の購買意欲が上向いてくると予想している。
	○	理容室（経営者）	・例年、業界では12月に向かい少しずつ来客数が伸びる傾向にある。客は、全般的に物価高などの影響で単価が安い方に流れており、年末には期待をしたい。
	○	美容室（店長）	・旅先では人があふれ、ホテルが満室となっているため、徐々に景気回復をすと考えられる。
	□	商店街（代表者）	・街ではにぎわいが戻っているが、消費にはつながっていない。地方は大企業が少なく、中小企業や小規模な小売業が多くを占めており、物価が上昇しても賃金は据置きが多い。食料品以外の物販小売業は厳しくなっていくと予想している。
	□	商店街（代表者）	・消費が上向く要因が見当たらない。
	□	商店街（代表者）	・物価等がかなり上がっており、今の状況から景気が良くなる要因が全く見つかからないため現状が続く。
	□	一般小売店〔精肉〕（店員）	・売上は引き続き好調を維持できそうであるが、仕入れや販管費などが高騰しており、営業利益が伸び悩みそうである。
	□	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・競りで欲しい魚が高額になっていることがあり、どのような販売をしているのか気になっている。現在様々な商品が値上がりをしており、消費者は魚を選ぶ余裕がないと予想している。小売店や飲食店では来客がないと嘆いている。
	□	百貨店（企画担当）	・客単価の上昇はあるものの、その伸び率は鈍化している。現状は来客数が減少傾向にあり、短期間で景気が良くなるとは考えられない。
	□	百貨店（経理担当）	・物価高の影響で衣料品等を購入しようとする消費マインドは依然として弱い。食品等は今後も好調に推移すると考えられる。外商においては、時計・宝飾の高額品も若干ではあるが伸びている。
	□	百貨店（営業担当）	・恒例の大型物産催事を3週間開催し、全店催事に合わせ友の会の買物券交換と新年度入会促進で来店増加が見込める。お歳暮商戦の活発化や祭り、スポーツ大会開催で関連商品への関心が増大し、加えて、クルーズ船寄港の増便により周辺の街を含め、国内外の観光客増加が見込める。店頭では新規店舗の利用浸透やアプリ浸透による催事案内で来店促進が見込める。また、堅調な自家需要商材や紳士雑貨、インテリアやし好性の高いブランド品・舶来雑貨の購入意欲は継続しており、クレジットやコード決済による客単価、商品単価の伸びを見込んでいる。
	□	百貨店（営業企画担当）	・年末年始の需要拡大に期待するものの、国内消費の冷え込みが大きく変化する好材料は見当たらない。
	□	百貨店（経営企画担当）	・年末年始の最も売上が大きい時期ではあるが、物価高の影響がより強くなっていくことに加え、気温が高いことから衣料品の動きが鈍くなると予想される。
	□	百貨店（業務担当）	・現状では、買物する心理が下がっている。購入する判断として今後の価値やお値頃感を追求することが増えており、売上の増加は厳しい状況である。
	□	スーパー（店長）	・今年の年末年始商戦については前年と比較しても大きな変動はないと予測している。選挙結果次第では、景気を左右することが考えられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・物価が上がり続けており、賃金が上がらなければ消費を抑えるしかない。最低賃金は実現可能な1200円程度の数字であれば、経営者も賃金の引上げを検討すると考えている。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	・10月下旬までは例年よりも暖かく鍋物商材などがまだ動いていない。11月以降、気温が下がりはじめると生鮮分野にはプラスに働くが、各種商材の値上げの状況によっては生活防衛のための買い控えが起こると懸念している。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・10月に最低賃金の引上げを行ったが同時に商品の値上げもあったため、消費者の購入意欲は拡大しないと予想している。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・今後も市場変化の要素は見受けられないため、現状のトレンドで推移する。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・日本経済の生産性の向上がない限り、所得は上がらないため景気は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・今後の顧客の利便性が向上することに期待している。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・2～3か月後も景気が良くなる気配がない。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（取締役）	・年度も終わりに近づき、政権の先行きも不透明である。景気が上向きとはいえないが、今後の景気が良くなることに期待をして、企業努力を続けたい。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・大胆な景気対策でもなければ金を消費に回す余裕はないため、景気に変化はない。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・業界自体が冷え切っており、現状では販売量が増加する要素が何もないため、しばらく停滞すると予想している。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（代表）	・景気が良くなる要因が見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・今月末に衆議院選挙があり、選挙期間中の売上は余り良くない傾向にある。今後の景気対策に期待したい。
	<input type="checkbox"/>	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・夏日が続いており、3か月予報でも平年並みか、平均気温より高いため商況にはマイナスの影響になると予想している。映画のヒット作の有無や米、ガソリン等を始めとした生活必需品の物価に大きく左右されるため予想しづらいが、当館はポジティブなニュースも少ない時期でもあるため、劇的に良くなることはない想定している。
	<input type="checkbox"/>	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・10月の客足鈍化の要因がつかめておらず、景気は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・ゴルフシーズンになるため期待はしたいが、台風や地震など災害の影響でまだ手が回らない状態である。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（企画担当）	・低迷を脱する機会が見当たらないため、景気は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（役員）	・物価の高止まり等の影響で、地域経済が好転する状況にはない。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（業務担当）	・ネット回線や新電力の代理店として販売しているが、物価高に伴い代理店手数料が上がる話は聞いていない。必要経費が増加している状況でも売上は変わらないため、現状は景気が良くなる認識が持てない。
	<input type="checkbox"/>	テーマパーク職員	・3か月先も今月の業況の良さを維持していると考えられる。
	<input type="checkbox"/>	競馬場（職員）	・販売量には変化がなく、今後も動向を左右する好材料が見当たらないため、現況と変わりはない。
	<input type="checkbox"/>	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・委託請負を行っているが、最低賃金の上昇が想定より多いため、委託契約が更新されるまでは、採算が厳しい状況であると予想する。
	<input type="checkbox"/>	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・取り巻く環境が大きく好転することは想定できない。価格転嫁ができる業界は大幅な賃上げを実施又は来期も予定していることから、公定価格である介護事業は更に人材確保が厳しくなり、経営の好転材料が見えない。
	<input type="checkbox"/>	設計事務所（所長）	・物件の結果が出るのが2～3か月先になり、今月の景気が変わらないため、2～3か月先も横ばいである。
	<input type="checkbox"/>	設計事務所（代表）	・金利の動向によるが、景気は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	・全体的な客の動きに大きな変化はなく、今の状況が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
	▲	商店街（代表者）	・秋のイベントを目の前にして、経済的に効果はあると予想しているが、買い控えがひどくなると考えている。	
	▲	百貨店（企画担当）	・現時点では気候要因を含めて比較できないため判断となる好材料がなく、今後は特に国内消費において上向く要因が見当たらない。	
	▲	スーパー（店長）	・可処分所得の上昇は見込めず、景気が好転する要素は見当たらない。横ばいか下降傾向である。	
	▲	スーパー（企画担当）	・10月から更に値上げになる商品群もあり、また、米不足は一旦落ち着きをみせているものの、価格は依然として高止まりとなっている。そのため、消費者の節約志向はしばらく継続すると考えられる。	
	▲	コンビニ（経営者）	・物価上昇が続いているため景気は悪くなる。	
	▲	コンビニ（経営者）	・今まで客単価は一定であったが、今後買い控えも多くなると予想しており、全体的な売上にも影響が出ると懸念している。	
	▲	コンビニ（店長）	・円安による景気状況を注視したい。	
	▲	家電量販店（店員）	・好転する市場材料がないため景気改善は考えにくく、早急な景気対策を希望している。	
	▲	スナック（経営者）	・これから年末に向け外食産業では売上が増える季節であるが、9月、10月の状況がここまで悪いと景気上昇に期待ができない。物価高による支出の引締めが今後も続くと言われる。	
	▲	観光型ホテル（営業）	・先行受注が芳しくないため、景気はやや悪くなる。	
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・旅行シーズンである今月の動きをみると、この先はやや売上が悪くなると予想している。数か月後の宿泊施設の予約数も国内より海外に動きが出てくると予想される。	
	▲	旅行代理店（職員）	・年末年始の販売次第ではあるが、例年1月は10月より旅行の動きが鈍化するため、景気は悪くなる。	
	▲	タクシー運転手	・選挙の結果により政治の混乱が予想され、警戒感からしばらくは庶民の消費意欲が鈍化すると予想している。	
	▲	ゴルフ場（従業員）	・前年と比較すると来場者数が若干減少傾向にある。	
		▲	設計事務所（所長）	・材料や製品単価の上昇がまだ続くと予想されるため、年末年始も時期的な生活必需品の価格上昇が重なると予想される。仕事の対価はなかなか上昇せず、可処分所得は減少すると考えられる。
		▲	住宅販売会社（従業員）	・選挙は終わったが、経済の期待ができるような公約がなかった。政府は賃上げによる経済対策で景気を活性化させることを考えているようだが、景気は良くならないと考えている。
×		コンビニ（エリア担当・店長）	・売上が落ち込んでいるにもかかわらず、人件費の高騰もあり利益が取れない状態がしばらく続いている。この先も利益を確保するには単価を上げるか利益を取れる商材の販売推奨が必要であるが、それも望めない状態が続いているため、人件費の高騰が頭打ちになることを期待している。	
企業 動向 関連 (九州)		◎	経営コンサルタント（代表取締役）	・10月の経済が停滞していたため、今後2～3か月先は年末年始もあり、徐々に景気は良くなっていくと予想している。
		○	農林水産業（経営者）	・原料不足は11月で終わり、12月からは解消されると予想している。また、12月は年末需要もあり、工場生産や販売活動が回復してくる。しかし、鳥インフルエンザの発生が懸念され、既に3件の発生事例があるため、2年前のような状況になれば原料不足で商品の欠品状態が出てくるのが心配される。
		○	家具製造業（従業員）	・業界では年度末までの期間は繁忙期となるため、案件数は増える傾向である。
		○	化学工業（総務担当）	・損益は前年より回復傾向にあり、この状況が続くと予想している。
		○	一般機械器具製造業（経営者）	・今後の営業の手応えがあり、受注量がやや増えそうである。
		○	電気機械器具製造業（取締役）	・業務が多様化しており、人手不足や倉庫のスペース不足への対応が必須の状況である。
		□	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・11月以降の商品リリースは余り予定しておらず、自治体向けに年度末の受託納期を控えているため景気は変わらない。
		□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・現状のような受注状態では、今後の取引先の景気に変化がないと危惧している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	輸送用機械器具製造業 (営業担当)	・当初の予算計画の生産台数に対し内示されている計画に大きな振れはなく、横ばいが続く。
	□	輸送業 (従業員)	・部品の調達や時間外の規制により、流通の流れが悪くなっている。発注等が多くても流通が追いつかない状態である。
	□	輸送業 (従業員)	・10月は年末に向けて在庫を増やす荷主が多くなるが、荷主は消費低迷の影響により先行き不透明であるため、年末でも輸入量を増加する状況ではない。
	□	通信業 (職員)	・電気工事の受注は良い状況であるが、情報通信工事に関しては今年度も部門としての目標が厳しい状況である。特に入札やプロポーザル案件の競争が厳しい。
	□	通信業 (経理担当)	・モノやサービスの価格がじわじわと上昇しており、すぐに価格転嫁ができない点は懸念しているが、良くも悪くも現状をキープすると考えている。
	□	通信業 (統括者)	・業務効率化等に向けたDXの必要性は感じつつも、実際の投資行動には結び付いておらず、今後の販売量も横ばいが続くと考えている。
	□	金融業 (従業員)	・百貨店やスーパーマーケットの売上は順調に増加しており、自動車の販売もやや回復傾向にある。しかし、住宅や家電の売上は力強さに欠け、物価上昇や人手不足などから先行きについてやや慎重になっている状況にある。
	□	金融業 (調査担当)	・建設業やサービス業などの人手不足に改善の兆しはみられず、物価高に対する消費者の警戒感も強まっていることから、景気は現状程度で推移する。
	□	金融業 (営業担当)	・国政選挙や米国大統領選挙の結果次第で状況に変化が出ると予想されるが、現状では先行き不透明である。
	□	金融業 (調査担当)	・金利や物価上昇の影響による消費の伸び悩みは継続すると予想され、大きな変化はない。
	□	新聞社 [広告] (担当者)	・好材料が見当たらないため、景気は変わらない。
	□	広告代理店 (従業員)	・今後の世界情勢に変化はみえず、加えて、物価は高止まりしているため停滞感がある。3か月後についても大きな変化が起こることは予想しづらく、景気は変わらない。
	□	広告代理店 (役員)	・景気判断をする要因が乏しい。
	□	経営コンサルタント (社員)	・人材の確保に苦勞する顧客や人件費の高騰、IT化への対応などを考慮しながら経営成績を伸ばすのは非常に厳しい状況下である。どのように対応すべきか、解決法が見つからない。
	□	経営コンサルタント (代表取締役)	・自社Webのアクセス数や問合せ件数に大きな変化がない。
	▲	食料品製造業 (経営者)	・当地域で、大型ドラッグストアのオープンが年末に予定されている。取引のある既存の地元ディスカウントストアへの影響は避けられない。
	▲	電気機械器具製造業 (経営者)	・今後の主要取引先の生産計画に下方修正が予想される。
	▲	電気機械器具製造業 (総務担当)	・顧客からの情報では、景気はやや悪くなる。
	▲	その他製造業 [産業廃棄物処理業]	・今の状況が年内続くと予想しており、先行きの不透明感が出ている。
	▲	建設業 (社員)	・県の第3回発注の見通しが発表されたが発注数は多くないため、今後は補正予算等により影響が出ると予想される。また、衆議院選挙の結果も発注に大きく影響することが考えられ心配している。
	▲	輸送業 (総務担当)	・更なる物価高や異常気象、世界情勢の不安定化などマイナス要因が多い。原材料も高くなり、荷主も生産量を抑えており、悪い流れになっている。
	▲	金融業 (営業)	・不安定な政局が懸念され、景気はやや悪くなる。
	▲	不動産業 (経営者)	・当社では経費削減策や経費の見直しを行っており、先行きはやや悪くなる。
	▲	経営コンサルタント (社員)	・食品だけでなく全ての商品に対し節約傾向が進んでいるため、景気はやや悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	その他サービス業 [コンサルタント] (代表取締役)	・建設コンサルタントの協会から地方自治体に対し、工期の末日を1～3月の間に設定しないように要望しているため、当市などからの設計等の業務が今後少なくなる可能性がある。自治体によっては、指名競争入札の通知が行われており、まだ影響は少ないと考えられるが、発注本数が少なければ価格競争が生じる可能性がある。
	×	繊維工業 (営業担当)	・周りの環境に追いついていけない状況にあるが、先に最低賃金対策から行っているため、経済は回っていかなくなる。繊維関係企業の倒産が懸念される。
	×	建設業 (従業員)	・物価上昇に加え、国の補助等も終わる。また、増税や戦争による石油施設への攻撃などの影響を受け、景気は悪くなる。
雇用 関連 (九州)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社 (編集者)	・これから年末に向けて、消費は拡大すると考えている。懸念材料は物価高であるが、新政権の施策を期待したい。
	□	人材派遣会社 (社員)	・政権をどの党が取るかにより経済政策が変わると予想されるが、大きな変化はないと考えている。
	□	人材派遣会社 (社員)	・求人数については3か月前より改善しているが、前月と比べると余り変化がない。ただ、求職者の動きが微増ではあるが活発になりつつある。
	□	人材派遣会社 (社員)	・年末年始などが近づいており、休みも入るため求人案件は横ばいが続く。また、求職者数は良い案件があった場合にすぐに動けるようにと求職活動を急いでいる感じがしない。
	□	新聞社 [求人広告] (社員)	・物価高や衆議院選挙の結果が年末商戦にどのように影響するのか不透明である。
	□	職業安定所 (職員)	・製造関連など一部の企業の求人数は増加しているが、全体的には減少傾向に推移している。景気上昇の要因がみられず、今後も横ばいが予想される。
	□	民間職業紹介機関 (職員)	・景気の良しあしだけでなく、少子化の影響もあるため現状が続く。
	□	学校 [大学] (就職支援業務)	・10月末の衆議院総選挙の結果、政権政党が議席の過半数割れをし、政権運営の先行きが不透明となり、株価や為替相場等も不安定な状況が続くと予想される。今後は物価高騰と大手を除く中小企業の賃上げの先行きが危惧されるが、輸出企業を始めとする好調な企業収益が、物価高騰を上回る賃上げや将来を見据えた設備投資の拡大など前向きな支出につながることを期待している。一方、一部業界では人手不足が続いており、企業の採用意欲は継続している。
	▲	人材派遣会社 (社員)	・物価上昇や最低賃金の改定に伴い、派遣料金が急騰している。求職者を集客するために必要な条件であるが、企業では長期的に人材が必要でも予算を組めない場合もあり、スポットでの依頼にとどまるケースも発生している。
×	学校 [専門学校] (就職担当)	・人材不足によって事業を縮小せざるを得ない企業が出てくると予測しているため、景気は悪くなる。	

12. 沖縄 (地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター)

(－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	観光型ホテル (企画担当)	・10月の販売室数は前年比22%増加に対して、10月末時点での1月の予約室数は前年比35%増加と、プラス幅が大きくなっている。
	○	百貨店 (経営担当)	・店内のイベントや催事などで来客数が増加するとみている。
	○	コンビニ (経営者)	・週末、祝日にイベントが多くなるため、来客数の増加が期待できる。
	○	その他専門店 [陶器] (製造)	・年末年始に向けて忙しくなるとみている。
	○	一般レストラン (代表者)	・年末に向けて来客数が増加するとみている。
	□	商店街 (代表者)	・現在、飲食店が増加しており、飲食を目的とした来客数は増加している。しかし、小売は、売上につながっていないため、大変危惧している。良くなることを期待している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	□	一般小売店〔酒〕(店長)	・全ての商品の物価が上昇していることから、買い控えや観光客が減少しないか不安視している。
	□	スーパー(企画担当)	・国によるガソリンなどに対する補助金が年内支援継続と発表されたが、いつまで補助が続くのか分からないことから、今後2～3か月先の身の回りの景気は今年と変わらないとみられる。
	□	コンビニ(店長)	・新型コロナウイルス感染症発生前の来客数に戻り、観光客の増加はあるが、現時点から2～3か月後に更に変化はないとみている。
	□	コンビニ(経営企画担当)	・観光客は引き続き好調に推移するとみている。しかし、増加の主体は外国人にシフトして、国内観光客の伸びは一服した。足元では値上げが続いており、積極的な消費は控える傾向になっていくことを不安視している。
	□	衣料品専門店(経営者)	・今回は例年と比べて気候が暑い日が続いており、季節商材の売上が悪い状態である。現在では、まだ景気が良くなる様子はみられない。
	□	衣料品専門店(経営者)	・物価高にもかかわらず、所得は横ばいのため、財布のひもは固くなるとみている。
	□	乗用車販売店(経理担当)	・受注の動きが鈍いことを不安視している。
	□	その他飲食店〔バー〕(経営者)	・良くなる要素が見当たらない。今までのやり方を変えて対応していく必要があるとみている。
	□	その他サービス〔レンタカー〕(営業)	・売上及び先行きの受注は前年を上回っており、外的な要因がない限りこの傾向は続いていくとみている。
	□	住宅販売会社(役員)	・住宅ローンの金利も上昇局面にあるが、まだ低金利が続いているため購買意欲は変わらないとみている。
	□	住宅販売会社(取締役)	・現状からは大きな変化はないが、賃上げも限界があり、今後の税制や社会保険の負担率などが増加すると、手元に残る資金が減少することから、需要見通しは暗いとみている。
	▲	コンビニ(副店長)	・現時点で更なる景気回復要素が見当たらない。年末に向け売上を伸ばしたいところだが、103万円の年収の壁による人材確保の厳しさと、雇用主の負担を考えると、大変厳しい。
	▲	家電量販店(営業担当)	・エアコン、白物家電などは比較的好調だがパソコン、テレビが前年割れしている。例年であればこれらの月間の指数は高くなるが、下期は全体値を押し下げるとみている。
	▲	観光型ホテル(代表取締役)	・人手不足の影響で、通常の営業ができない。
▲	旅行代理店(マネージャー)	・このままの高単価の傾向が続くと、日本人の需要が減少し、インバウンドを中心とした個人客のマーケットとなる。日本人の相手を中心としている旅行会社は経営が厳しくなるとみている。	
×	—	—	
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	食料品製造業(役員)	・引き続き沖縄の身の回りの経済活動は堅調に拡大傾向が続くとみている。
	○	窯業土石業(取締役)	・受注増加に伴い下半期後半は工事が重複していることから、売上が回復するとみている。
	□	広告代理店(営業担当)	・県内企業の販売促進活動は、物価や人件費高騰の影響もあり相変わらず消極的である。
	▲	—	—
×	—	—	
雇用 関連 (沖縄)	◎	学校〔専門学校〕(就職担当)	・2025年卒は年内までは同様の状況が続くと見込まれる上、2026年卒向けの求人も多く届く時期になる。10月に入り2026年卒に向けての打合せを希望する企業が増えており、軒並み学内説明会への参加を希望している。
	○	求人情報誌製作会社(営業)	・年末年始に向けて繁忙業界での短期アルバイトは増加するとみている。社員採用やレギュラーアルバイト募集などは大きな変化はないとみているが、例年同様に年明け1月初旬の採用は短期的に増加するとみている。
	□	人材派遣会社(総務担当)	・選挙が終わり、今後の政権の動きでどのような影響が出るのか不透明である。
	□	学校〔大学〕(就職支援担当)	・賃金が増えたとはいわれているが、物価高騰が変わらない限り消費行動を抑える生活が続くとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	▲	職業安定所（職員）	・最低賃金は上昇するものの、物価高の影響で生活が苦しい等の声もある。新規の求人数、求職者数が減少傾向にあることも懸念材料とみている。
	×	—	—